

## 第5章 自然科学分析

### 第1節 自然科学分析の目的と概要

#### 1 SN01・SR01の古環境復元

北野遺跡0区で検出した水田SN01とSR01の古環境復元を目的として、2003年の発掘調査時にパリノ・サーヴェイ株式会社に分析を委託した。分析内容は、堆積層の観察、軟X線分析、放射性炭素年代測定、花粉分析、植物珪酸体分析である。

堆積層の観察では、人間活動以前からSN01廃絶までの状況が明らかにされた。SN01は畦畔が確認されたことにより水田として調査された遺構である。SN01畦畔が検出された層には土壤発達を確認されたが、この層相に人為的な営力が関与しているかは不明であった。また、この層からイネ属植物珪酸体は検出されず、花粉化石や珪藻化石もほとんど認められなかった。植物珪酸体組成からSN01が水田である点を検証するのは難しいという結果になったが、一方で畦畔や発達した土壤層の存在からSN01が水田である蓋然性は高い。

SR01河道2堆積層には花粉化石が良好に残存している可能性が考えられたため、周辺環境復元の材料を得るため花粉分析を実施した。その結果、縄文時代晩期後半（突帯文Ⅱb期）～弥生時代前期前半（前期Ⅰc期）の遺跡周辺には、暖温帯林が成立し、開けた草地もあったと推定された。今後も周辺地域での花粉分析を継続して行うことで、平野内における植生の変化などに言及できるものとする。

晩期後半（突帯文Ⅱb期）の縄文土器が出土したSR01河道2下層からは、木材（イヌガヤ）が出土した。SR01河道2の年代を特定する材料を得るため、この木材を対象とする放射性炭素年代測定を実施した。得られた測定値は、 $3940 \pm 130\text{BP}$ と、同層から出土した遺物の年代と齟齬がある。流路開削の上限が縄文時代後期にさかのぼる、または、河道4に含まれる木材をSR01河道2が巻き上げた、などの可能性が考えられるが、本報告書では共伴土器を重視して、SR02河道2の年代を縄文時代晩期後半としておく。

#### 2 焼成土塊・弥生土器の胎土分析

北野遺跡SD24（弥生時代前期後半）からは、焼成された粘土が94点出土しており（SD05、SD07からも3点出土）、本報告書では焼成土塊と呼称している。焼成土塊は、単なる塊状のもの、板状の粘土を折り曲げて重ねたもの、一部に平坦面をもつもの、一部に窪みをもつものなど、形状に複数のバリエーションがある。サイズは、大きなもので約 $7.0 \times 6.0 \times 2.5\text{cm}$ 、小さなものは約 $1.0\text{cm} \times 1.0\text{cm} \times 0.5\text{cm}$ である。これらの焼成は必ずしも良好ではなく、黒斑を有するものが目立つ（註1）。焼成土塊は器形が明確な弥生土器や土製品とは異なり、機能としての目的が明瞭な道具とはいえない。こうしたものが広く流通するとは考えにくいため、焼成土塊は遠方から持ち込まれたのではなく、SD24やSD05、SD07の近傍で製作された可能性がある。肉眼観察によれば、焼成土塊の胎土は共伴する前期の弥生土器のそれと類似する。こうした点から、焼成土塊は土器製作時の粘土の残余が土器とともに焼成されたものと考えた。焼成土塊を土器製作と結びつけるためには、胎土の類似性が問題になる。そこで、SD24から出土した焼成土塊と弥生土器を対象に胎土分析を実施した。

分析の結果、焼成土塊試料 1 (565)・2 (566)・3 (567) と弥生土器試料 4 (559)・5 (560)・6 (561)・7 (562)・8 (563)・9 (564) では、いずれも石英・長石の中粒シルト～細粒砂が目立ち、試料 2 以外の 8 点には深成岩の細粒砂～細礫の深成岩が認められた。すなわち、焼成土塊と弥生土器の胎土は近いといえる。

### 3 サヌカイト製石器の蛍光 X 線分析

香川県内で用いられる弥生時代のサヌカイト製石器は、主に金山産と考えられているが、蛍光 X 線分析が行われた事例は限られる (第 3 表)。北野遺跡出土のサヌカイト製石器も金山産と推測されるが、自然面の産状や、剥離面にみられる斑晶の量に若干の差がある。こうした点を踏まえて、弥生時代前期後半の SD24 出土のサヌカイト製石器 30 点について蛍光 X 線分析を実施した。

分析の結果、試料 13 (580)・14 (581)・19 (586)・26 (593) の 4 点を除く 26 点が金山 (金山東、金山東南、金山南) と判定された。13 (580) は蓮光寺、国分寺、14 (581) は国分寺、蓮光寺、19 (586) は法印谷、来峰第 1 群、26 (593) は岩屋第 2、白峰である。金山以外の 4 点のうち、自然面が残る 13 (580)・14 (581)・26 (593) の自然面には小さな気泡が少量あり、筋が認められないという特徴を共有する。ただし、いずれも自然面の残存面積が多くはなく、金山と判定された試料 1 (569) の自然面の特徴も試料 13 (580)・14 (581)・26 (593) に近いいため、現状では金山と、国分寺や蓮光寺といった国分台周辺地域とを肉眼で峻別できるとはいえない。今後、自然面の残る資料を中心に分析データを蓄積して検討する必要があるだろう。

註 1 同様の特徴をもつ焼成土塊は、弥生時代前期後半～中期初頭の鴨部・川田遺跡 (香川県さぬき市) でも出土している。財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 (2001) の遺物番号 3501～3525 を参照。

#### 参考文献

- 香川県埋蔵文化財センター編 2005『香川県埋蔵文化財センター年報 平成 15 年度』香川県埋蔵文化財センター、pp.17-25  
 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 2001『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 10 冊 鴨部・川田遺跡』香川県教育委員会ほか  
 株式会社パレオ・ラボ 2017「本村中遺跡出土サヌカイト製石器の産地推定」香川県埋蔵文化財センター編『県道紫雲出山線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 1 冊 本村中遺跡』香川県教育委員会、pp.133-136  
 竹原弘展 2012「西末則遺跡出土サヌカイトの産地推定」香川県埋蔵文化財センター編『香川県農業試験場移転事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 3 冊 西末則遺跡Ⅲ』香川県教育委員会、pp.218-221  
 竹原弘展・藤根 久 2016「十川東・平田遺跡出土サヌカイトの産地推定」香川県埋蔵文化財センター編『県道高松長尾大内線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 十川東・平田遺跡』香川県埋蔵文化財センター、pp.106-108  
 竹原弘展 2017「北岸南遺跡出土サヌカイト製石器の産地推定」香川県埋蔵文化財センター編『国道 438 号道路改築事業 (飯山工区) に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 5 冊 北岸南遺跡』香川県教育委員会、pp.69-71  
 有限会社遺物材料研究所 2014「川津六反地遺跡出土サヌカイト製遺物の産地分析」香川県埋蔵文化財センター編『国道 438 号道路改良工事・県道富熊宇多津線道路改良工事・城山川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 川津六反地遺跡 川津昭和遺跡』香川県教育委員会、pp.224-240  
 渡辺正巳 2018a「サヌカイト製遺物の産地同定」香川県埋蔵文化財センター編『香川県立丸亀陸上競技場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 平池南遺跡』香川県教育委員会、pp.219-221  
 渡辺正巳 2018b「汲仏遺跡出土サヌカイト製遺物の産地同定」香川県埋蔵文化財センター編『香川県警察本部機動隊舎建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告』香川県教育委員会  
 藁科哲男 1997「四国横断自動車道建設関連遺跡出土のサヌカイト製遺物の石材産地分析」財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 27 冊 三条黒鳥遺跡 川西北七条 I 遺跡』香川県教育委員会ほか、pp.281-291  
 藁科哲男 1998「サヌカイト製石器石材産地推定分析 龍川五条遺跡出土のサヌカイト製遺物の石材産地分析」財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 29 冊 龍川五条遺跡Ⅱ 飯野東分山崎南遺跡』香川県教育委員会ほか、pp.263-277  
 藁科哲男 2001「中間西井坪遺跡出土石器、石片の原材産地分析」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 37 冊 中間西井坪遺跡Ⅲ』香川県教育委員会ほか、pp.29-56

薬科哲男 2004「林・坊城遺跡、中森遺跡出土サヌカイト製遺物の原材産地分析」財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第53冊 中森遺跡 林・坊城遺跡Ⅱ 東山崎・水田遺跡Ⅱ』香川県教育委員会ほか、pp.254-268

遺跡	報告書 刊行年	時期	点数	分析者	金山	金山または 城山	城山	白峰	国分台	国分寺・ 蓮光寺・ 国分台 みかん畑	法印谷・ 赤子谷・ 米峰第1群	南山・奥池・ 雄山・雌山	双子山	香川県外	不明	文献
三糸黒島	1997	旧石器	30	薬科哲男	2	6	1	10	3				7	1		薬科1997
中間西井坪	2001	旧石器	300	薬科哲男	5		4	201	59		18	10		3		薬科2001
中森	2004	旧石器	22	薬科哲男	3			18			1					薬科2004
十川東・平田	2016	旧石器～縄文	6	パレオ・ラボ											6	竹原・藤根2016
本村中	2017	縄文前期	26	パレオ・ラボ	14	4			3		2	1			2	株式会社 パレオ・ラボ2017
北岸南	2017	縄文中～後期	8	パレオ・ラボ	6			2								竹原2017
川津六反地	2014	縄文	13	遺物材料研究所	5	2	2		2					2		有限会社遺物材 料研究所 2014
西未則	2012	縄文晩期	8	パレオ・ラボ	1				1	6						竹原2012
平池南	2018	縄文晩期	30	文化財調査コン サルタント	21	9										渡辺 2018
林・坊城	2004	縄文晩期	15	薬科哲男				15								薬科2004
龍川五条	1998	弥生前期	35	薬科哲男	33								2			薬科1998
北野	2020	弥生前期	30	渡辺正巳	26			1	2	1						(本書)
汲仏	2018	弥生前期	8	渡辺正巳	11	1				1						渡辺 2018b
汲仏	2018	弥生後期	12	渡辺正巳	6	1										渡辺 2018b

※分析結果で2か所の可能性が示される場合には、確率の高い、または記述が先の産地でカウントした。

第3表 香川県内サヌカイト製石器産地分析一覧

## 第2節 SN01・SR01の古環境復元

はじめに

今回の分析は、畦畔が検出された遺構面の自然科学的な調査・検証と調査地及びその周辺の古環境復元が目的である。畦畔検出面の調査・分析にあたっては、植物珪酸体、珪藻分析と軟X線分析を行った。調査地及びその周辺の古環境復元については、花粉及び植物珪酸体分析と放射性炭素年代測定を実施した。さらに今回は、これらの分析結果についてより精度の高い解析を行うために、現地調査を実施し、遺構面の埋没状況や堆積物の累重状況についても併せて記載を行った。

### 1 層序

北野遺跡において現地調査を実施し、調査区を構成する堆積層断面の観察及び記載を行った。記載にあたっては、堆積層の粒度組成や堆積構造などに着目して、調査区内において9か所の柱状図を作製した。第93図に、記載を行った柱状図及びその対比結果などを示す。

以下に、確認された堆積層の特徴について述べていく。なお、各層において認められる層相から推定される堆積環境については、Miall (1992・1996) の河成堆積相コードや松田 (1999・2000)、人為的な擾乱堆積物の層相については、松田・バリノ・サーヴェイ (1996) の記載を参考とする。

1層：現在の盛土。

2層：盛土以前の耕作土。

3層：流路の中心部にあたる Loc.2・3 付近では、灰白色を呈しトラフ型斜交層理・葉理をなす極粗粒砂～細礫が累重する。Loc.1、Loc.4～6では、Loc.2・3に堆積した砂礫層と同時異相をなす灰白色を呈し水平葉理ないし塊状をなすシルト混じり中粒砂～粗粒砂が累重する。以上のような3層における層相の分布から、Loc.2・3は、流路の滯筋付近を充填した堆積物と判断される。また、Loc.1及びLoc.4～6は、洪水時に流路からオーバーフローして流路側縁や河岸に累重した堆積物であると推定される。本層は、SR01の東側に位置する Loc.4～6 付近で弥生時代前期の遺構検出面となった被覆層Bに、西側で水田跡を埋没させている被覆層Aに対応する。

4層：褐灰色を呈し塊状をなす砂質シルト。本層準からは水田畦畔が検出されている。本層は、耕土A及びCに対応する。Loc.1での軟X線写真の観察から、本層は明瞭に2層準に分かれることが明らかになった。

5層：流路の中心部の Loc.3 では、灰白色を呈しトラフ型斜交層理・葉理をなす極粗粒砂～細礫が累重する。Loc.3は、上位に累重する3層によって上半部が大きく侵食されている。SR01内の西半部では、Loc.3の砂礫層と同時異相をなす灰白色を呈し水平葉理ないし塊状をなすシルト混じり中粒砂～粗粒砂が分布している。以上のような5層内における層相の分布から、Loc.3は流路の滯筋付近を充填した堆積物、Loc.4～6は流路縁～河岸付近で堆積したことが推定される。

6層：褐灰色を呈し塊状をなすシルト混じり中粒砂。Loc.4付近において、5層と7層に挟在するようになっている。

7層：流路の中心部の Loc.3 では、灰白色を呈しトラフ型斜交層理・葉理をなす極粗粒砂～細礫が累

重する。西側に向かって粒径を減じていき、Loc.4では、灰白色を呈し水平葉理をなす中粒砂～極粗粒砂が堆積している。これらの層相変化から、Loc.3は流路の滯筋付近を充填した堆積物、Loc.4は流路縁で堆積したことが推定される。

8層：黒褐色を呈し弱い水平葉理をなすシルト混じり粗粒砂～極粗粒砂。堆積物中には、有機物を多く含んでいる。Loc.4～5にかけて分布する。層相から、流路縁付近の静水域の堆積環境下で形成されたことが推定される。

9層：灰白色を呈しトラフ型斜交層理・葉理をなす極粗粒砂～細礫。SR01の西側に位置する。

Loc.4・5付近に分布する。本層は、SR01の東肩を構成しており、10層、11～12層を侵食して形成されている。層相から、流路充填堆積物であると判断される。本層から検出された材のC14年代値は、 $3940 \pm 130BP$ を示した。

10層：褐灰色を呈し塊状をなす砂質粘土質シルト。層相から、古土壌であると判断される。本層は、11～13層の最上部に形成されている。本層は、Loc.1での軟X線写真ではサンプル3中部に対応する。

11層：灰黄色を呈し塊状をなす細礫混じり粗粒砂～極粗粒砂。SR01の東側のみに分布する。層相から、氾濫堆積物であると判断される。本層は、Loc.1での軟X線写真ではサンプル3下部に対応する。

12層：暗灰色～黒褐色を呈し塊状をなす砂質粘土質シルト。SR01の西岸及び、東岸の中心部付近に厚く分布する。層相から、腐植が蓄積していくような安定した堆積環境下の静水域において形成された堆積物であることが推定される。

13層：灰白色を呈しトラフ型斜交層理・葉理をなす極粗粒砂～細礫。調査区の基盤を形成している堆積層である。層相から、流路充填堆積物であると判断される。

以上、発掘調査によって堆積層から検出された考古遺物やそれに挟在する遺構の相対年代及び抗材のC14年代値から、3～7層は弥生時代前期頃、8～9層は縄文時代後期に形成されたと判断される。また、堆積物の累重状況から、10層以下の堆積層は、縄文時代後期以前に形成されたと推定される。

## 2 試料

試料は、Loc.1、Loc.4、Loc.8～12で採取した。Loc.1では、3層、4層、10層、11層まで柱状試料3点（サンプル1～3）を採取した。これら3点の試料から軟X線分析試料を整形・採取した。また、微化石分析試料を4点（上位より試料1～4）を抽出した。微化石分析試料については、4点全点について植物珪酸体分析を、試料2・3について花粉分析を、試料2について珪藻分析を実施する。

Loc.4では、3層、5層～9層までを柱状試料6点（サンプル1～6）を採取した。このうち、5層～8層までの各層1点ずつ微化石分析試料計4点（試料1～4）を抽出した。これら4点全点について植物珪酸体分析を、また試料1を除く3点について花粉分析を実施する。また、9層で得られた木材について放射性炭素年代測定を実施する。

Loc.8では、5～7層、すなわち河道2の埋積物の下部にみられた腐植土層の上部と下部から2点の試料を採取し、これについて花粉分析を実施する。

Loc.9～11では、各地点とも4層の上部と下部から2点（上位より試料1・2）を採取した。これら全点について植物珪酸体分析を実施する。また、Loc.9から採取した2点については、花粉分析も併せ



て実施する。

Loc.12では、3・4層及び10層に対比される層準の柱状試料4点（サンプル1～4）を採取した。これら4点の試料から軟X線分析試料を整形・採取した。また、微化石分析試料を6点（上位より試料1～6）を抽出した。微化石分析試料については、6点全点について植物珪酸体分析を実施する。

以上、各分析項目の分析点数は、軟X線分析が7点、放射性炭素年代測定が1点、珪藻分析が1点、花粉分析9点、植物珪酸体分析が19点である。第93図に分析試料採取位置を示す。

なお、畦畔検出層準の分析試料は、Loc.1の2・3、Loc.9～11、Loc.12の4に相当する。畦畔検出層準は、耕土A～Cに区分されている。この耕土分類のうち、Loc.1の2・3、Loc.9～11が耕土C、Loc.12の4が耕土Aに相当する。Loc.12では、耕土Aのみが存在する。Loc.1、Loc.9～11では、耕土Aの直下に耕土Cが存在している。Loc.1、Loc.9～11では耕土Aを取り除いた耕土C上面及びそれに相当する層準で分析試料の採集を行っている。

### 3 分析方法

#### (1) 軟X線分析

土層断面より採取したブロック状の試料から、幅7cm、長さ20cm、厚さ1cmの板状の試料をプラスチックケース内に分離、成型して軟X線写真の撮影を行った。撮影はニッテツ・ファインプロダクツ釜石文化財保存処理センターの協力を得た。

#### (2) 放射性炭素年代測定

前処理として、木材は水でよく洗浄して表面の異物を取り除く。乾燥、粉碎後水酸化ナトリウム溶液で煮沸する。室温まで冷却した後、水酸化ナトリウム溶液を傾斜法で除去する。この作業を除去した水酸化ナトリウム溶液の色が薄い褐色になるまで繰り返す。次に塩酸を加えて煮沸する。室温まで冷却した後、傾斜法により除去する。十分、水で洗浄した後、乾燥して蒸し焼き（無酸素状態で400℃に加熱）にする。蒸し焼きにした試料は純酸素中で燃焼して二酸化炭素を発生させる。発生した二酸化炭素は捕集後、純粋な炭酸カルシウムとして回収する。ただし、試料が少量（試料表中で試料少量と記載がある試料）の場合は水酸化ナトリウム溶液による処理を省略する。

先の前処理で得られた炭酸カルシウムから真空状態で二酸化炭素、アセチレン、ベンゼンの順に合成する。最終的に得られた合成ベンゼン3ml（足りない場合は、市販の特級ベンゼンを足して3mlとする）にシンチレーターを含むベンゼン2mlを加えたものを測定試料とする。

測定は、1回の測定時間50分間を20回繰り返し計1,000分間行う。未知試料の他に、値が知られているスタンダード試料と自然計数を測定するブランク試料と一緒に測定する。放射性炭素の半減期としてLIBBYの半減期5,570年を使用する。また、株式会社加速器分析研究所の協力を得て、 $\delta^{13}\text{C}$ を測定する。 $\delta^{13}\text{C}$ の値は、加速器を用いて試料炭素中の $^{13}\text{C}$ 濃度（ $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ ）を測定し、標準試料PDB（白亜紀のペレムナイト類の化石）の測定値を基準として、それからのずれを計算し、千分偏差（‰：パーミル）で表したものである。なお、木材については、その樹種も併せて調べる。

#### (3) 珪藻分析

試料を湿重で7g前後秤量し、過酸化水素水、塩酸処理、自然沈降法の順に物理・化学処理を施して、

珪藻化石を濃集する。検鏡に適する濃度まで希釈した後、カバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、プレウラックスで封入して、永久プレパラートを作製する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸 600 倍あるいは 1000 倍で行い、メカニカルステージでカバーガラスの任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に 200 個体以上、同定・計数する。種の同定は、原口ほか(1998)、Krammer(1992)、Krammer and Lange-Bertalot (1986,1988,1991a,1991b)、Witkowski et al. (2000)などを参照する。

同定結果は、汽水生種、淡水～汽水生種、淡水生種の順に並べ、その中の各種類をアルファベット順に並べた一覧表で示す。なお、淡水生種はさらに細かく生態区分し、塩分・水素イオン濃度 (pH)・流水に対する適応能についても示す。また、環境指標種はその内容を示す。堆積環境の解析は、海水～汽水生種については小杉 (1988)、淡水生種については安藤 (1990)、陸生珪藻については伊藤・堀内 (1991)、汚濁耐性については Asai and Watanabe (1995) の環境指標種を参考とする。

#### (4) 花粉分析

試料を湿重で約 10g 秤量し、水酸化カリウム処理、篩別、重液分離 (臭化亜鉛, 比重 2.3)、フッ化水素酸処理、アセトリシス処理 (無水酢酸:濃硫酸=9:1) の順に物理・化学的な処理を施して花粉・孢子化石を分離・濃集する。処理後の残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製した後、光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数を行う。

結果は同定・計数結果の一覧表及び主要花粉化石群集の層位分布図として表示する。図中の各種類の出現率は木本花粉が木本花粉総数を、草本花粉・シダ類孢子が総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数とした百分率で算出する。なお、図表中で複数の種類をハイフン (-) で結んだものは種類間の区物が困難なものを示す。

#### (5) 植物珪酸体分析

試料を湿重約 5g 秤量し、過酸化水素水・塩酸処理、超音波処理 (70W、250KHz、1 分間)、沈定法、重液分離法 (ポリタングステン酸ナトリウム, 比重 2.5) の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これを検鏡しやすい濃度に希釈して、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プレウラックスで封入し、プレパラートを作製する。これを 400 倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部 (葉身と葉鞘) の葉部短細胞に由来した植物珪酸体 (以下、短細胞珪酸体と呼ぶ) 及び葉身機動細胞に由来した植物珪酸体 (以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ) を、近藤・佐瀬 (1986) の分類に基づいて同定・計数する。

結果は、検出される種類とその個数の一覧表と植物珪酸体群集の層位分布図で表示する。各種類の出現率は、短細胞珪酸体・機動細胞珪酸体とも各珪酸体ごとに、それぞれの総数を基数とする百分率で求める。

## 4 結果

### (1) 軟 X 線分析

第 94・95 図で示した軟 X 線写真は、ポジ写真の色調を反転しており、堆積物の密度が大きい部分がより白く、小さい部分がより黒く表現されている。堆積物の記載にあつては、堆積層の累重や土壌・堆積構造に着目し、撮影試料の目視及びスキャナーによってコンピューター上に取り込んだ軟 X 線写真



の画像から観察を行った。軟 X 線写真については、コンピューター上に取り込んだ画像を中心に観察を行った。画像については、階調や明るさ、コントラストの調整などの簡単な補正を実施しながら観察を行った。

軟 X 線写真については、土壌の基本的構造である粒団（ベッド）や粗孔隙ないし間隙（写真で黒く表現されている部分）の形状や分布に着目して堆積物の微細な堆積構造の記載を行った。記載に当たっては、『土壌薄片記載ハンドブック』（久馬・八木訳監修 1989）を参考とした。

粗孔隙と間隙の用語については、成岡ほか（2000）に従い、粗孔隙が土の乾燥収縮、植物根の腐朽跡あるいは地中動物の通行跡などに相当し、面状や管状などの構造単位の特定が可能な亀裂や管状孔隙に、間隙が粗孔隙を含むすべての隙間に対して使用している。軟 X 線写真撮影サンプルは、Loc.1 と Loc.12 から採取を行った（第 93 図）。採取したサンプルは、サンプル 1～7 までの 7 点である。以下に、各サンプルについての肉眼及び軟 X 線写真の観察結果について述べていく。

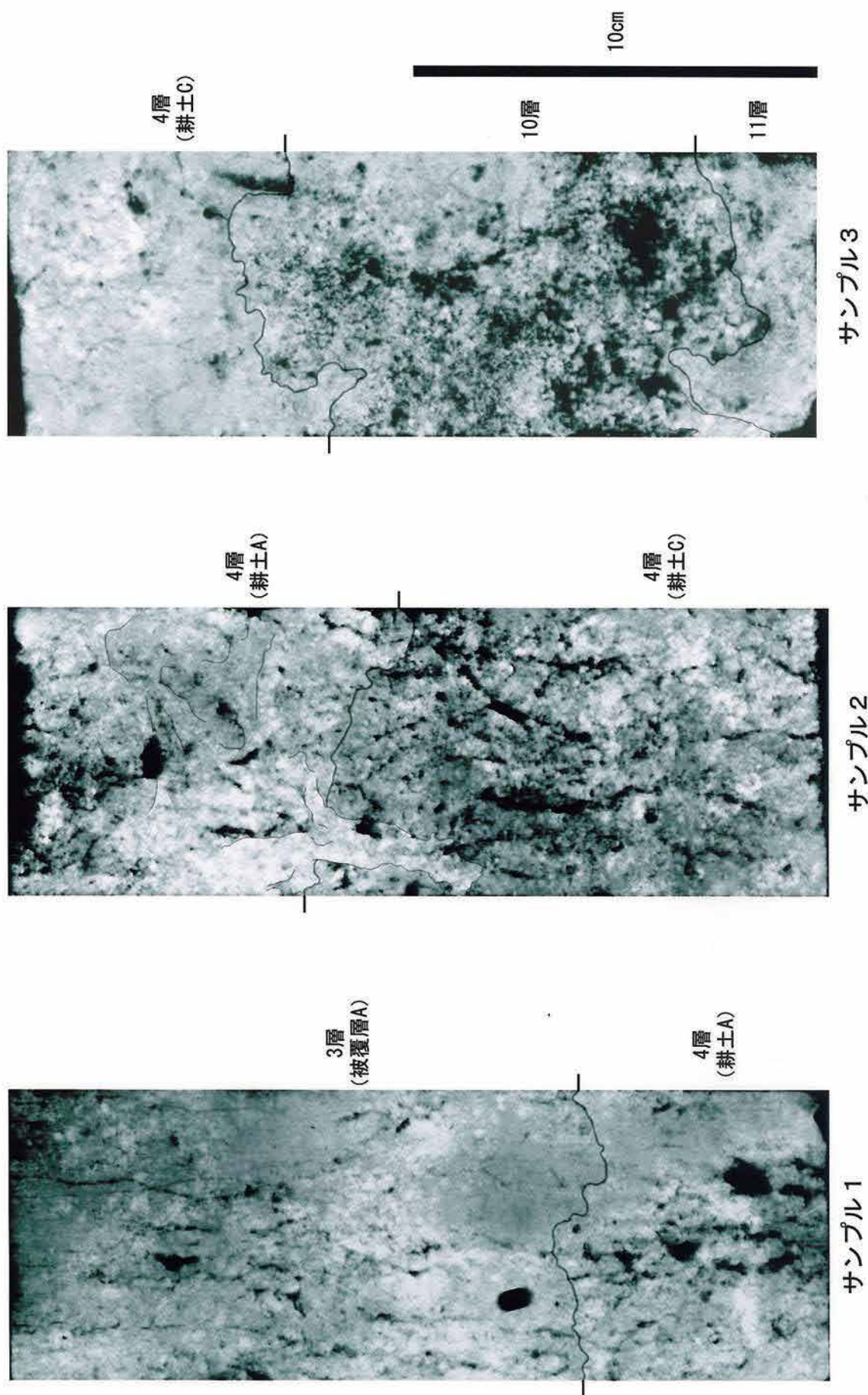
#### a) Loc.1 サンプル

軟 X 線写真観察からは、5 層準の堆積層を確認することができた。これらの層準は、サンプル 1 上部が 3 層（被覆層 A）、サンプル 1 下部～サンプル 2 上部が 4 層（耕土 A）、サンプル 2 下部～サンプル 3 上部が 4 層（耕土 C）、サンプル 3 中部が 10 層、サンプル 3 下部が 11 層に対比される。

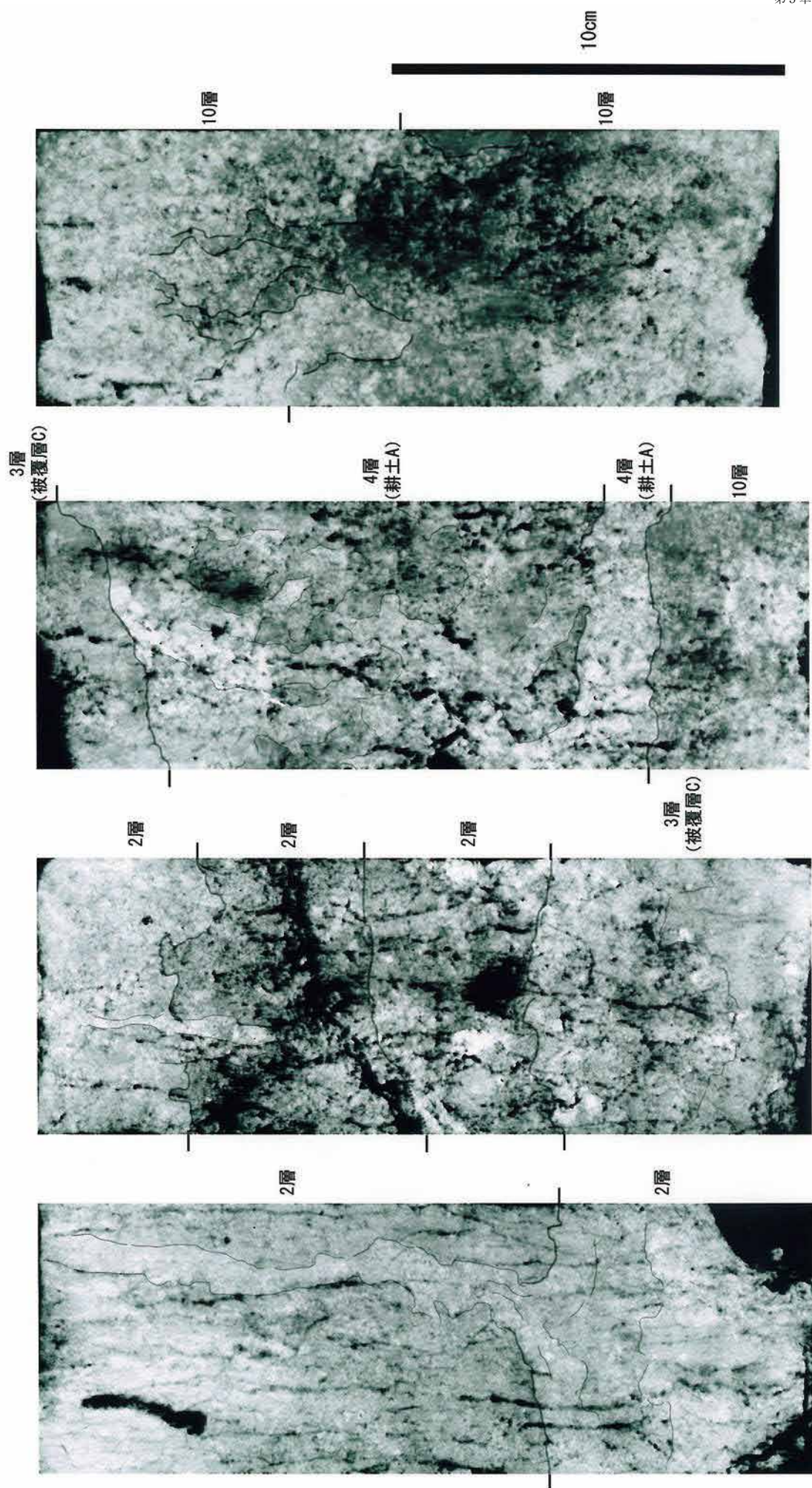
サンプル 1 は、2 層準に区分される。上部の層準は、黒褐色を呈する砂質シルトによって構成されている。本層準では、サンプルのさらに上位から形成された連続性の良い幅 0.5mm 程度の直線的な粗孔隙が顕著に観察される。最下部付近には、直径 3mm 程度を測る塊状の白色粒の集合体が帯状に分布していることが認められる。サンプルの肉眼観察から、これらは酸化鉄の集合体であることが推定される。下部の層準は、上部の層準に比べ泥を多く含む黒褐色砂質シルトからなる。これらの層準では、孔隙に囲まれた直径 5mm 程度の塊状をなす粒団が形成されていることが確認される。粒団間の接合性は、比較的良い。本層準では、上部に比べ孔隙量が少なく、全体的に白っぽい色調を呈していることが特徴である。下部の層準で認められる粗孔隙は、幅 1～1.2mm を測る。これらの粗孔隙は、上部の層準のものに比べ、連続性が極めて悪い。遺構検出面上で検出された畦畔は、サンプル 1 で確認された下部の層準の直上から形成されている。粒団の発達ที่認められることから、本層準には、土壤化作用が及んでいることが考えられる。サンプル 1 の上部の層準は、層相から洪水堆積物を起源としていることが推定される。これらの堆積物には、下部を侵食した痕跡が認められず、土壤化が認められる下部の層準を覆うようにして形成している。このことから、サンプル 1 の下部の層準では、土壤発達が行われた時期の地表面に近い部分が侵食されず、残存している可能性が高いことが推定される。

サンプル 2 は、2 層準に区分される。上部の層準は、サンプル 1 の下部から連続する堆積物である。粗孔隙は、上位の層準とよく似た形態を示す。しかし、粒団の発達は、上位に比べ不良である。上部と下部の層準の層界は、サンプルの中央付近に明瞭に認められる。下部の層準は、黒褐色を呈する砂質粘土質シルトによって構成される。本層準では、直径 2～3mm 程度を測る塊状をなす粒団が発達するとともに、上部の層準に比べ孔隙量が多い特徴が認められる。上部との境界付近には、幅 2～3mm 程度の粗孔隙が密集して分布している。本層準では、直線状の粗孔隙が上部に比べ多く分布している。このような形状の粗孔隙は、植物の根痕に由来するものと思われる。これらの特徴から、サンプル 2 の下部の層準には、上位の層準同様に土壤化作用が及んでいると考えられる。

サンプル 3 は、3 層準に区分される。上部の層準は、サンプル 2 の下部から連続する堆積物である。



第94図 Loc. 田畦畔検出層準の不攪乱サンプルの軟X線写真



第95図 Loc. 1 水田畦畔検出層準の不撈乱サンプルの軟X線写真

粒団の発達状況は、上位の層準と変化はない。しかし、粗孔隙や孔隙の発達は、上位に比べ不良である。中部の層準は、褐色を呈す極粗粒砂～細粒の細礫によって構成されている。上位の層準との層界は、波状であるとともに漸移的である。下部の層準は、褐色を呈す粗粒砂によって構成される。中部と下部の層準は、層序対比図の11層に対比される河川堆積物である。

b) Loc.12 サンプル

軟 X 線写真観察からは、9層準の堆積層を確認することができた。これらの層準は、サンプル1及びサンプル2中部が被覆層Cの上部に累重した2層に対比される層準、サンプル2下部～サンプル3最上部が被覆層C、サンプル3中部が耕土A、サンプル3下部～サンプル4が10層に相当する層準に対比される。

サンプル1は、2層準に区分される。上部の層準は、暗褐色を呈す砂質シルトで構成される。下部の層準は、上部より砂がちな暗褐色砂質シルトからなる。本サンプルでは、さらに上位層準で形成されたと考えられる幅5mm程度の直線状の粗孔隙の発達が顕著である。下部の層準からは、砂脈と推定される脈状の堆積物の吹き上がりが観察される。

サンプル2は、3層準に区分される。上部の層準は、サンプル1下部から連続する堆積物である。本サンプルの中央部付近には、暗褐色をなす粗粒砂や砂質シルトからなる層準が存在している。これらの層準では、粒団が発達しており、葉理などの堆積構造は観察されない。下部の層準は、暗褐色の砂質シルトで構成されている。層準の最上部には、直径8～10mm程度の粒団の発達が顕著である。

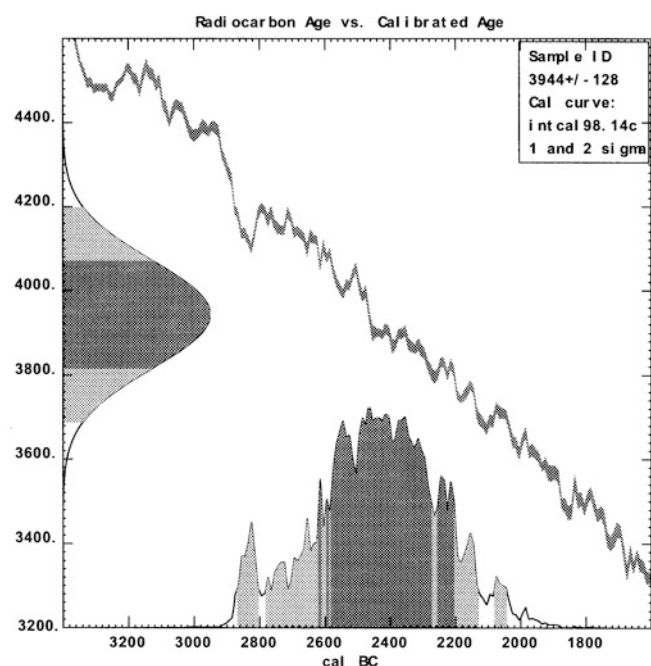
サンプル3は、4層準に区分される。最上部の層準は、サンプル2下部から連続する堆積物である。サンプル中部～下部は、黒褐色をなす砂質シルトと粘土質シルトに区分される。粘土質シルト層は、下部の層準に相当する。砂質シルト層は、中部の層準に相当する。砂質シルト層と粘土質シルト層の境界部には、極粗粒砂～細礫を含む砂質シルト層の薄層が存在している。砂質シルト層では、粒団の発達が顕著であり、根痕状の構造がよく観察される。また、層準には、10～15mm程度の偽礫（ブロック土）が散在しているように観察される。軟 X

線写真の層相からは、他の層準に比べ非常に擾乱されているような印象を受ける。肉眼観察では、砂とシルトや粘土が混ざった層相であることがうかがえる。

サンプル4は、2層準に区分される。上部の層準は、サンプル3下部から連続する堆積物である。黒褐色を呈する粘土質シルトからなるこの層準では、根痕状の構造が顕著である。

(2) 放射性炭素年代測定

結果を第96図に示す。測定年代値は、 $3940 \pm 130$ BPである。測定サンプルの樹種は、イヌガヤと同定された。イヌガヤは岩手県以南の本州・四国・九州・西表島



第96図 暦年代較正結果

から屋久島まで分布する常緑の小高木であり、暖帯から温帯下部の山地の林下に生える。後述する流路充填堆積物の花粉化石群集には本種を含むイヌガヤ科が確認されており、当時の調査地点周辺の植生を構成する要素であったと考えられる。

なお、放射性炭素年代は、測定法自体が持つ誤差や測定的前提条件である大気中の<sup>14</sup>Cの濃度が過去において一定でなかったことから、年輪などから測定されたいわゆる暦年代とは一致しない。そのため、年輪年代による暦年代既知の年輪の材について放射性炭素年代測定を実施することにより、暦年代と放射性炭素年代を両軸とする補正曲線が作られている（Stuiver, M. et al., 1993 など）。そこで、補

遺構	地点	資料名	層位	種類測定年代	δ 13C (0/00)	同位体補正年代	Lab.No.
SR01	Loc. 4	流路底 杭	9層	木材 (イヌガヤ)	3960 ± 130	3940 ± 130	PAL-1073

第4表 放射性炭素年代測定結果

注1) 年代値：1,950年を基点とした値  
 注2) 半減期：LIBBYの半減期5568年を使用  
 注3) 誤差：標準偏差 (ONE SIGMA) に相当する年代  
 注4) δ 13C：試料炭素の13C/12C Y原子比を加速器で測定し、PDBの値を基準とし、それからのずれを計算したものの。  
 注5) PAL-パリオ・サーヴェイ株式会社 (δ 13Cは株式会社加速器分析研究所で測定)

遺構	地点	資料名	層位	補正年代 (BP)	暦年較正年代 (cal)		Code No.
					cal BC	cal BP	
SR01	Loc.4	流路底	9層	3944 ± 128Bp	cal BC 2,619	cal BP 4,569-4,560	PAL-1073
					cal BC 2,597	cal BP 4,547-4,541	
					cal BC 2,583	cal BP 4,533-4,223	
					cal BC 2,255	cal BP 4,205-4,177	
					cal BC 2,223	cal BP 4,173-4,154	

第5表 暦年較正結果

1) 計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV4.4 (Copyright 1986-2002 M Stuiver and PJ Reimer) を使用  
 2) 計算には表に示した丸める前の値を使用している。

正年代値及び誤差の1桁目を丸める前の値についてRADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV4. 4 (Copyright 1986-2002 Stuiver, M. and Reimer, PJ.) を用いて本分析結果の較正暦年代値を求めたものを第4・5表に示す。これによると、本試料の暦年較正年代値は、4569-4560calBP、4547-4541calBP、4533-4223calBP、4205-4177calBP、4173-4154calBPとなる。

種類	生体性			環境指標種	Loc.	1
	塩分	pH	流水			3
<i>Cymbella amphioxys</i> (Kuetz) Grunow	Ogh-ind	ac-il	l-ph			1
<i>Cymbella</i> sp.	Ogh-unk	unk	unk			1
<i>Eunotia</i> sp.	Ogh-unk	unk	unk			1
<i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	ac-il	lnd	RA.U		1
<i>Pinnularia borealis</i> Ehrenbreg	Ogh-ind	lnd	lnd	RA		1
海水生種						0
海水～汽水生種						0
汽水生種						0
淡水～汽水生種						0
淡水生種						5
珪藻化石総数						5

第6表 珪藻分析結果

凡例  
 H.R：塩分濃度に対する適応性      pH：水素イオン濃度に対する適応性      C.R. 流水に対する適応性  
 Ogh-ind：貧塩不定性種              ac-il 好酸性種                                      l-ph 好止水性種  
 Ogh-unk：貧塩不明種                  al-il 好アルカリ性種                              ind 流水不定性種  
    indpH 不定性種                                      unk 流水不明種  
    unk pH 不明種

環境指標種群  
 U：広域適応性種 (Asai and Watanabe, 1995)  
 R：陸生珪藻 (RAA 群、伊藤・堀内、1991)

### （3）珪藻分析

結果を第6表に示す。珪藻化石はほとんど検出されず、好酸性種で好止水性種の *Cymbella amphioxys*、陸生珪藻 A 群の *Hantzschia amphioxys* と *Pinnularia borealis*、種不明の *Cymbella* sp. と *Eunotia* sp. が各1個体検出される程度にとどまった。

### （4）花粉分析

結果を第7表、第97図に示す。全体的に花粉化石の保存状態が悪い。特に、Loc.1の試料番号2・3、Loc.4の試料番号2、Loc.9の試料1・2では、花粉化石の検出個数も少ない。以下、Loc.4とLoc.8の花粉化石の産状を示す。

#### ・Loc.4

試料3・4で花粉化石が検出される。木本花粉では、コナラ属アカガシ亜属が多産し、ツガ属・マツ属・コウヤマキ属・スギ属・コナラ属コナラ亜属・クリ属－シイノキ属などが検出される。この内、マツ属・コウヤマキ属が上位に向かい増加傾向を示し、コナラ亜属が減少傾向を示す。

草本花粉では、イネ科・ヨモギ属が多産し、カヤツリグサ科を伴う。この他、ガマ属・サナエタデ節－ウナギツカミ節・タデ属・ソラマメ属・マメ科・キク亜科・タンポポ亜科などを伴う。

#### ・Loc.8

木本花粉の出現傾向は、試料1と試料2で異なる。試料番号2では、コナラ亜属が多産し、次いでアカガシ亜属が検出される。これに対し、試料番号1では、コナラ亜属が減少し、アカガシ亜属が最も高率に出現する。なお、試料1・2とも、ツガ属・マツ属・コウヤマキ属・スギ属・クリ属－シイノキ属・ニレ属－ケヤキ属・エノキ属－ムクノキ属などが検出されるが、いずれも出現率が低率である。

草本花粉では、ガマ属・サジオモダカ属・イネ科・カヤツリグサ科・クワ科・サナエタデ節－ウナギツカミ節・マメ科・ヨモギ属などが僅かに検出される程度である。

### （5）植物珪酸体分析

結果を第98・99図、第8表に示す。植物珪酸体は、各試料とも良好に検出される。注目される点は、Loc.12の上面で畦畔が検出された耕土Aに相当する層準及びその被覆層（被覆層C層）で栽培種であるイネ属が検出されたことである。耕土Aの直下の耕土Cに相当するLoc.1の2・3では、イネ属がまったく検出されなかった。イネ属の産出の有無を除くと、植物珪酸体群集は、各地点とも層位的な変化がほとんどみられない。但し、Loc.4では、群集組成が異なっている。

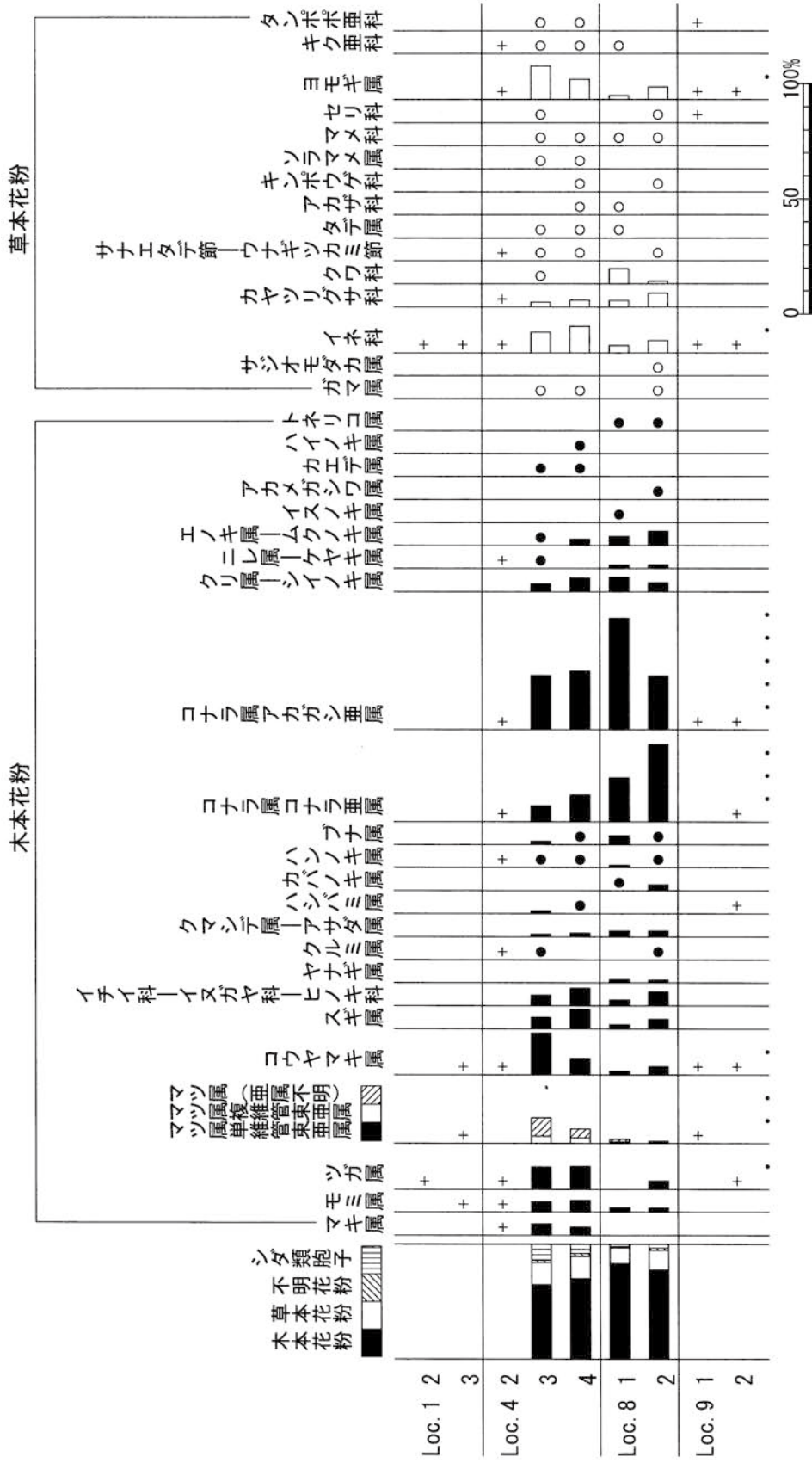
Loc.1・9・10・11では、クマザサ属が最も高率に出現する。この他に、タケ亜科・ヨシ属・ススキ属を含むウシクサ族・イチゴツナギ亜科などが検出されるが、いずれも出現率が低い。一方、Loc.4は、先に示した地点と比べると、クマザサ属が低率であり、タケ亜科やヨシ属の出現率が高い。

なお、Loc.1の試料3、Loc.11の試料11を除く試料では、樹木の葉部に形成される植物珪酸体が検出される。この樹木起源の植物珪酸体は、近藤・ピアスン（1981）の分類に基づく第IVグループに属する形態を示す。

畦畔検出層準を含むLoc.1・12では、植物珪酸体結果について絶対量分析を実施している。イネ属が検出されたLoc.12の試料1～4では、いずれの試料もその含量が数百個/g程度であった。イネ属珪酸体のうち、短細胞珪酸体が試料番号1、機動細胞珪酸体が試料番号1・4で検出されている。すべての試

種 類	試料番号	Loc. 1		Loc. 4		Loc. 8		Loc. 9		
		3	4	2	3	4	1	2	1	2
木本花粉										
マキ属		-	-	1	13	9	-	-	-	-
モミ属		-	2	1	12	13	6	6	-	-
ツガ属		1	-	1	25	25	-	11	-	2
トウヒ属		-	-	-	-	1	-	-	-	-
マツ属単維管束亜属		-	-	-	-	-	1	-	-	-
マツ属複維管束亜属		-	-	-	8	6	1	2	1	-
マツ属(亜属不明)		-	1	-	21	10	3	1	-	-
コウヤマキ属		-	3	2	47	18	4	11	3	4
スギ属		-	-	-	13	21	5	13	-	-
イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科		-	-	-	12	19	7	19	-	-
ヤナギ属		-	-	-	-	-	4	4	-	-
ヤマモモ属		-	-	-	-	-	-	1	-	-
サワグルミ属		-	-	-	1	-	-	-	-	-
クルミ属		-	-	1	1	-	-	1	-	-
クマシデ属-アサダ属		-	-	-	3	4	7	8	-	-
ハシバミ属		-	-	-	3	1	-	-	-	1
カバノキ属		-	-	-	-	-	1	8	-	-
ハンノキ属		-	-	1	2	1	3	1	-	-
ブナ属		-	-	-	4	1	11	2	-	-
コナラ属コナラ亜属		-	-	5	18	29	52	103	-	4
コナラ属アカガシ亜属		-	-	8	61	64	133	72	1	1
クリ属-シイノキ属		-	-	-	9	15	17	12	-	-
ニレ属-ケヤキ属		-	-	1	1	-	4	5	-	-
エノキ属-ムクノキ属		-	-	-	2	7	11	19	-	-
イスノキ属		-	-	-	-	-	1	-	-	-
サンショウ属		-	-	-	-	-	-	1	-	-
ユズリハ属		-	-	-	-	-	-	3	-	-
アカメガシワ属		-	-	-	-	-	-	1	-	-
モチノキ属		-	-	-	-	-	1	-	-	-
カエデ属		-	-	-	1	1	-	-	-	-
トチノキ属		-	-	-	-	2	-	-	-	-
ムクロジ属近似種		-	-	-	-	-	-	1	-	-
ブドウ属		-	-	-	1	-	-	-	-	-
ウコギ科		-	-	-	-	2	-	-	-	-
ミズキ属		-	-	-	-	-	-	1	-	-
ハイノキ属		-	-	-	-	1	-	-	-	-
イボタノキ属		-	-	-	1	-	-	-	-	-
トネリコ属		-	-	-	-	-	2	1	-	-
草本花粉										
ガマ属		-	-	-	1	4	-	3	-	-
サジオモダカ属		-	-	-	-	-	-	1	-	-
イネ科		1	2	11	48	47	11	22	1	4
カヤツリグサ科		-	-	1	11	12	10	25	-	-
クワ科		-	-	-	1	-	23	5	-	-
ギンギン属		-	-	-	-	-	-	1	-	-
サナエタデ節-ウナギツカミ節		-	-	2	1	1	-	3	-	-
タデ属		-	-	-	1	1	1	-	-	-
アカザ科		-	-	-	-	1	1	-	-	-
ナデシコ科		-	-	-	1	-	-	-	-	-
キンポウゲ科		-	-	-	-	1	-	3	-	-
バラ科		-	-	-	-	-	2	-	-	-
ソラマメ属		-	-	-	2	2	-	-	-	-
マメ科		-	-	-	3	1	1	2	-	-
ミソハギ属		-	-	-	-	-	-	1	-	-
セリ科		-	-	-	1	-	-	2	1	-
シソ科		-	-	-	-	1	-	-	-	-
オミナエシ属		-	-	-	-	-	1	-	-	-
ゴキヅル属		-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヨモギ属		-	-	11	78	36	6	23	2	3
キク亜科		-	-	2	3	2	3	-	-	-
タンポポ科		-	-	-	5	2	-	-	1	-
不明花粉		1	1	-	15	16	5	9	-	-
シダ類孢子										
他のシダ類孢子		19	31	59	115	44	7	18	29	31
合 計										
木本花粉		1	6	21	259	250	274	307	5	12
草本花粉		1	2	27	157	111	59	91	5	7
不明花粉		1	1	0	15	16	5	9	0	0
シダ類孢子		19	31	59	115	44	7	18	29	31
総計(不明を除く)		21	39	107	531	405	340	416	39	50

第7表 花粉分析結果

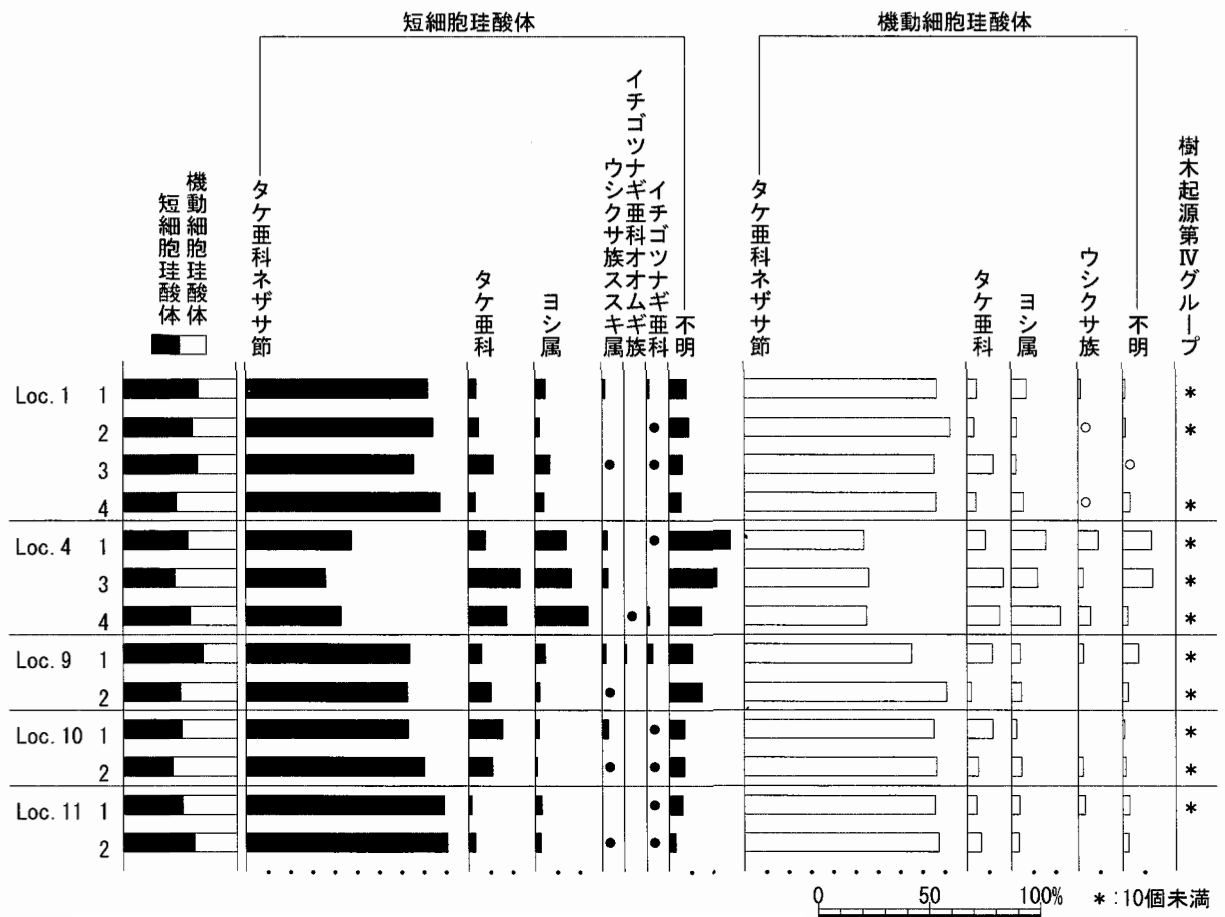


第 97 図 主要花粉化石群集の層位分布

出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、シダ類胞子は総数より不明花粉を基数として百分率で算出した。  
なお●○は1%未満、+は木本花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

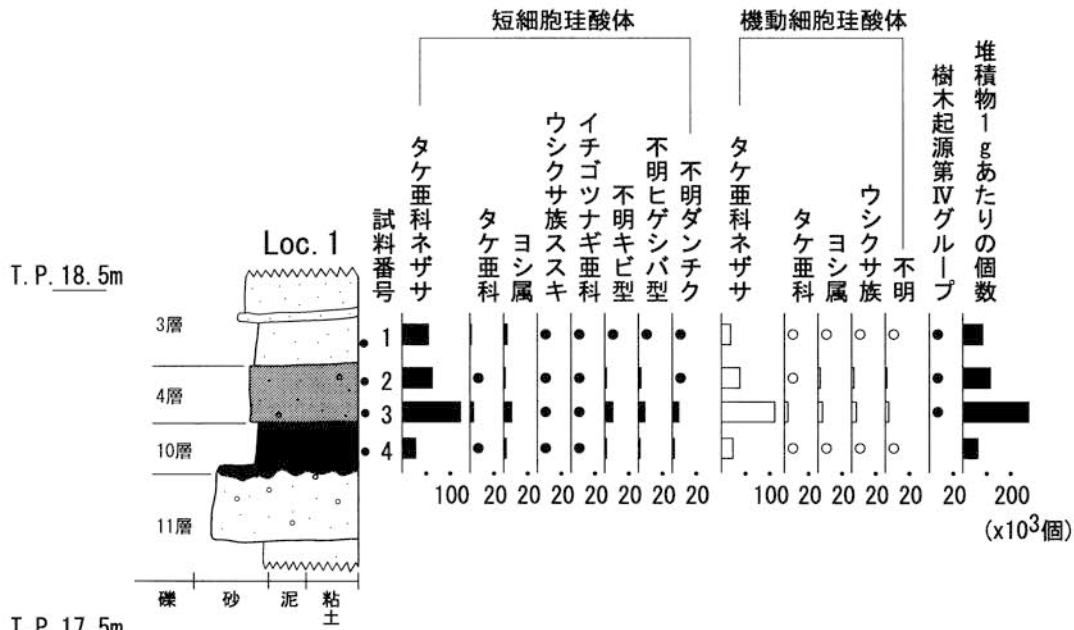


種 類	試料番号	Loc. 1				Loc. 4			Loc. 9		Loc. 10		Loc. 11	
		1	2	3	4	1	3	4	1	2	1	2	1	2
<b>イネ科葉部短細胞珪酸体</b>														
タケ亜科ネザサ節		252	201	202	109	75	51	74	212	108	161	162	176	211
タケ亜科		11	11	30	4	12	33	30	17	15	34	22	3	7
ヨシ属		14	5	18	5	22	23	41	13	3	4	2	6	6
ウシクサ族ススキ属		4	-	1	-	4	4	-	5	1	6	1	-	1
イチゴツナギ亜科オオムギ族		-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
イチゴツナギ亜科		3	1	1	-	1	-	2	8	-	1	1	1	1
不明キビ型		7	6	3	2	10	2	7	9	4	8	5	4	3
不明ヒゲシバ型		13	4	8	4	21	19	14	12	12	4	7	6	2
不明ダンチク型		4	11	5	1	13	10	4	9	6	3	2	2	2
<b>イネ科葉身機動細胞珪酸体</b>														
タケ亜科ネザサ節		139	145	121	124	65	99	67	93	139	182	234	160	124
タケ亜科		7	5	17	6	10	29	18	14	3	25	14	8	9
ヨシ属		11	4	3	8	19	21	27	5	7	5	13	7	5
ウシクサ族		2	1	-	1	11	4	7	3	-	-	6	6	-
不明		2	2	1	5	16	24	3	9	4	2	4	6	4
<b>合 計</b>														
イネ科葉部短細胞珪酸体		308	239	268	125	158	142	173	288	149	221	202	198	233
イネ科葉身機動細胞珪酸体		161	157	142	144	121	177	122	124	153	214	271	187	142
総 計		469	396	410	269	279	319	295	412	302	435	473	385	375
<b>樹木起源</b>														
第IVグループ		1	2	-	2	5	3	2	3	2	2	3	2	-

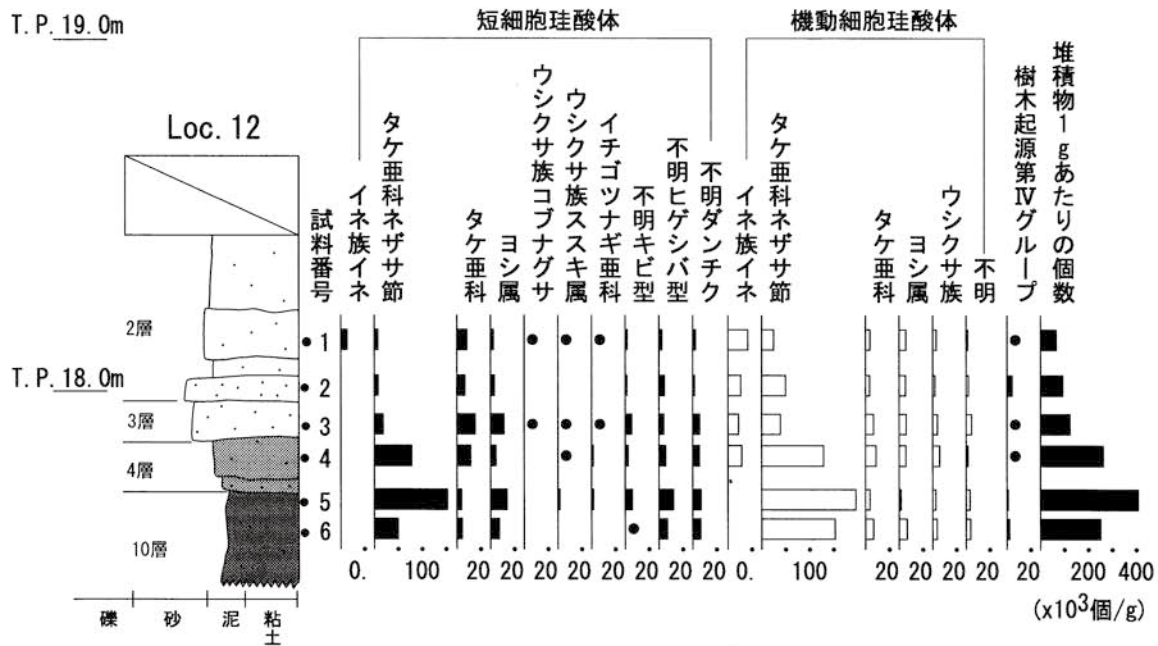


第98図 植物珪酸体分析結果・植物珪酸体群集と樹木起源珪酸体の産状

出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1%未満の種類を示す。また、樹木起源珪酸体の産状を\*で示す。



a) Loc. 1の植物珪酸体含量の層位的変化  
堆積物1gあたりに換算した個数を示す。なお、●○は1000個/g未満の種類を示す。



b) Loc. 12の植物珪酸体含量の層位的変化  
堆積物1gあたりに換算した個数を示す。この図では、イネ属の産状を強調している。なお、●○は1000個/g未満の種類を示す。

第99図 Loc. 1・12 植物珪酸体含量ダイアグラム

(個/g)

種 類	Loc. 1				Loc. 12						
	試料番号	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
<b>イネ科葉部短細胞珪酸体</b>											
イネ族イネ属	0	0	0	0	111	0	0	0	0	0	0
タケ亜科ネザサ節	54,563	62,143	121,003	28,065	7,801	8,529	18,516	77,412	152,304	49,338	
タケ亜科	1,145	665	2,912	886	8,247	6,610	15,134	11,391	3,794	4,181	
ヨシ属	2,862	1,329	6,794	2,216	2,452	3,198	11,217	4,649	13,550	7,108	
ウシクサ族コブナグサ属					111	0	356	0	0	0	
ウシクサ族スキ属	572	997	971	739	334	0	178	697	1,626	0	
イチゴツナギ亜科	954	1,329	6,794	1,329	334	0	712	1,395	1,626	0	
不明キビ型	763	2,326	5,500	1,477	1,672	1,279	5,341	2,325	5,962	836	
不明ヒゲシバ型	763	997	5,500	1,773	2,563	4,478	4,095	5,579	11,924	7,108	
不明ダンチク型	0	0	0	0	2,452	1,706	5,875	5,579	7,046	6,690	
<b>イネ科葉身機動細胞珪酸体</b>											
イネ族イネ属	0	0	0	0	334	213	178	232	0	0	
タケ亜科ネザサ節	19,269	38,217	110,650	23,634	24,963	49,254	38,635	128,787	196,206	152,613	
タケ亜科	382	665	2,912	148	3,678	3,625	6,766	8,834	3,794	6,690	
ヨシ属	191	1,662	3,559	886	5,572	5,330	5,875	5,579	1,626	6,690	
ウシクサ族	191	1,662	3,882	591	2,897	1,919	4,095	5,812	2,710	3,763	
不明	191	1,329	2,912	739	1,449	1,919	4,451	1,627	3,252	3,763	
<b>樹木起源珪酸体</b>											
第IVグループ	191	332	971	0	557	4,264	534	930	1,084	2,091	
<b>合 計</b>											
イネ科葉部短細胞珪酸体	62,004	70,783	150,121	36,633	26,077	25,800	61,424	109,027	197,832	75,261	
イネ科葉身機動細胞珪酸体	20,224	43,535	123,915	25,998	38,893	62,260	60,000	150,871	207,588	173,519	
樹木起源珪酸体	191	332	971	0	557	4,264	534	930	1,084	2,091	
総 計	82,419	114,650	275,007	62,631	65,527	92,324	121,958	260,828	406,504	250,871	

第8表 北野遺跡 Loc.1・12 の植物珪酸体含量

料で、イネ属珪酸体の保存状態が悪く、完形は見られない。

## 5 考察

### (1) 調査地において認められた河道堆積物

今回の調査では、調査区の西半部において発掘調査結果及びC14年代値から、縄文時代後期～弥生時代前期頃に形成されたと考えられるSR01が検出された。現地調査では、このSR01にほぼ直交するようにして設定されたトレンチ01を中心として堆積物の観察を行った。現地での堆積物観察では、一連のトラフ型斜交層理や平行層理のグループからなり、侵食面や再活動面に境され、いくつかの堆積相の組み合わせからなる、より大きなスケールでの堆積相や流路形態の特徴を示す堆積ユニットを見出すことに努めた。その結果、本調査区では、1～4までの堆積ユニットが確認された。これらについては、上位から河道1から4までの名称を与えた。河道1～3は、SR01を埋積した堆積ユニットであり、河道4はSR01の基盤となる堆積ユニットである。考古遺物の相対年代及びC14年代値から、各堆積ユニットの形成年代は、河道1が弥生時代前期、河道2が弥生時代前期頃、河道3が縄文時代後期、河道4が縄文時代後期以前と推定される。堆積ユニットの累重状況については、柱状図の記載及び対比結果を示した第93図に記載している。

調査区の最下部に位置する河道4は、10～13層によって構成される。本堆積ユニットからは、考古遺物がほとんど検出されておらず、その詳細な堆積年代は不明である。上位の堆積ユニットの年代から、河道4は、縄文時代後期以前に堆積したことが推定される。河道4を構成する砂礫層は、調査区の全域にわたって分布している。このことから、河道4を形成した流路幅は、調査区の東西長である20m前

後より大きかったことがうかがえる。SR01の東岸、調査区中心部付近（Loc.7付近）では、有機質泥層である12層が厚く累重している。このSR01の東岸に分布する12層は、北壁及び南壁に向かって層厚を減じていき、レンズ状の形態をなして堆積している。このような累重状況からは、12層が放棄流路を埋積する堆積物として形成されたことが推定される。このことは、流路4が上流側において河道変更によって機能が停止したことを示唆している。

河道3は、SR01の最下部に堆積した河道堆積物であり、9層によって構成される。本堆積ユニットは、最下部から検出された材化石のC14年代値から、縄文時代後期頃に形成されたと推定される。河道3は、上位の堆積ユニットに侵食され、SR01の西側（Loc.4～5付近）のみ分布する。残存している河道3の東西長は5mであるが、本来は、SR01の流路幅と深さの最大規模である幅8.5m前後、深さ80cm前後を有していたと推定される。

河道2は、5～8層によって構成される。水田跡や弥生時代前期の土坑の遺構検出状況及び堆積層の累重状況から、本堆積ユニットは、弥生時代前期頃に形成されたと推定される。河道2の流路幅は3m前後、深さ80cm前後を測る。河道2の上層に形成された5層は、下層の7層に比べ淘汰が悪く上方粗粒化の傾向を示す。5層は、河道2の埋没時に形成された堆積層であると推定され、攻撃斜面側に相当するSR01の東岸に流路からオーバーフローしたと考えられる砂層を広く堆積させている。河道2は、4層上面で検出された水田跡を侵食ないし被覆して形成されている。また、上位の堆積ユニットである河道1からオーバーフローした堆積物上面からは、弥生時代前期の土坑（SK31）が形成されていることが発掘調査によって確認されている。このことから、本堆積ユニットは、水田が造成された以降からSK01の掘削以前に形成された河道であることが確認される。

河道1は、3層によって構成される。本堆積ユニットは、弥生時代前期に形成されたと考えられる。河道1の流路幅は3m前後、深さ60cm前後を測る。上面で畦畔が検出された4層（耕土A・C）は、河道1の流路からオーバーフローした洪水堆積物によって埋没している。Loc.5付近では、流路からのオーバーフロー堆積物の上面から弥生時代前期の土坑（SK31）が検出されている。

本調査区で認められた河道1～4までの堆積ユニットについて概観してきた結果、河道4は、その流路幅から、本遺跡周辺を流下していた流路のうち幹線流路に相当するものであると判断される。この時期は、調査区全体が流路内に位置しており、人間活動の及ぶ領域でなかったことがうかがえる。この河道4を部分的に侵食して形成されたものが調査区西半部で検出されたSR01である。河道4の最上部には、古土壌が形成されており、河道4が埋積された後にSR01が形成されるまでにいくらかの時間が経過していたことを示している。河道4は、断片的な観察結果からではあるが、上流側の河道変更によって、流路充填堆積物による埋積が停止したことが示唆される。堆積物の層相変化から、その後は、調査区中央付近に形成された放棄流路状の凹地に有機質の泥が堆積するような湿地の堆積環境が形成され、さらにこれらの堆積物が離水し、土壌が形成されるような地表面となったことが推定された。SR01は、このような河道4の埋没過程を経た後に形成された流路である。

SR01内では、河道1～3までの堆積ユニットが確認された。これらの堆積ユニットの流路幅や深さは、河道4に比べてかなり小さい。水田跡及び土坑の検出状況と堆積物の累重状況から、SR01内で確認された堆積ユニットのうち、河道2・3は4層での水田造成以前、河道1は水田造成後に形成されたことが確認された。4層で検出された水田は、肉眼や軟X線写真による観察から、SR01からオーバーフローした洪水堆積物を母材として形成されたことがうかがえる河道3内から採取された材のC14年

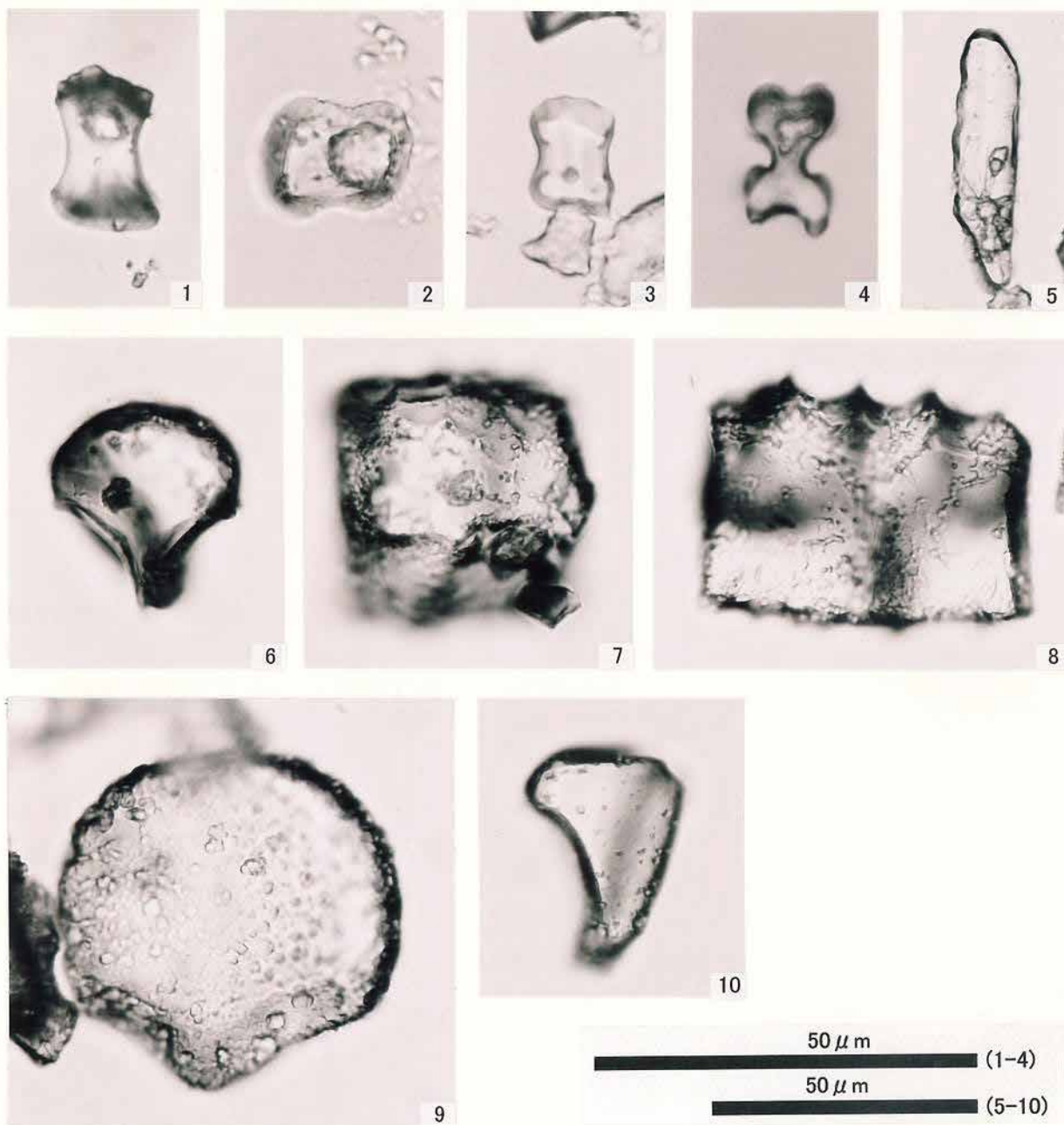
代値やSR01内の堆積物の累重状況から、水田はSR01が河道3などの堆積物によっていくらか埋没して幅を狭めた流路状態の時点で形成されたことが推測される。その後、河道2の流路堆積物の充填に伴い、水田は一部侵食や埋積を受け、最終的に河道1によって完全に埋没したことが発掘調査や堆積物観察の結果から確認される。

## (2) 畦畔検出面における遺構形成過程と植物珪酸体組成

畦畔が検出された層準を挟在する堆積層について詳細な堆積及び土壌構造についての観察を行った。その結果、Loc.1では、畦畔検出層準の4層で、耕土AとCに対応する層準が明瞭に区分されることが明らかとなった。また、これらいずれの層準からも、堆積層上面において土壌発達が認められることも明らかになった。耕土AとCでは、粗孔隙の分布形態が異なっており、これらは互いに不連続である。このことは、耕土C上面において一度、侵食や削平が行われた後に、耕土Aが新たに形成された可能性を示唆している。また、Loc.12においても、耕土Aに相当する層準が上下の堆積層と明瞭に区分されることが判明した。また、耕土Aに相当する層準は、他の層準に比べ擾乱が著しい雰囲気であることも観察された。しかしながら、軟X線写真の解像度では、耕土相当層とその基盤層とで、土壌構造を詳細に比較することが困難である。この点については、土壌薄片を作成してさらに観察を行い、人為的擾乱層と自然層との区分を検討していく必要がある。

畦畔検出層準の植物珪酸体群集は、各地点とも湿った堆積ないし土壌環境下に生育する大型水生植物のヨシ属や水田雑草となりうる分類群を含むコブナグサ属がほとんど検出されず、タケ亜科ネザサ節が優占する。さらに、花粉化石や珪藻化石は、ほとんど検出することが不可能であった。これら微化石の産出状況及び上述してきた堆積物の観察結果から、畦畔検出層準は、好気的な状態が維持されるような土壌環境下において形成されたことが推定される。

イネ属の珪酸体については、Loc.12において耕土A及びその上位の層準で200～300個/g前後とわずかながら検出された。弥生時代やそれ以降の時代において、安定して水田稲作が行われたと推定される水田跡の土壌からは、イネ属の機動細胞珪酸体が5,000個/g以上検出されることが通例であるとされる(杉山2000)。この分析値を基準とすると今回の結果はあまりにも少ない。しかしながら、大阪湾岸や瀬戸内内海沿岸の弥生時代前期の水田跡では、5,000個/gを遙かに下回るような分析結果が多く存在している。岡山平野の津島遺跡では、イネ属機動細胞珪酸体が2,000個/g前後の値を示した1試料を除く他の3試料が150～350個/g前後(パリノ・サーヴェイ2003)、六甲山地南麓地域の戎町遺跡では、イネ属機動細胞珪酸体の含量が高い試料で3,000個/g前後、少ない試料で1,000個/g前後(古環境研究所1989)、河内平野の志紀遺跡では、イネ属機動細胞珪酸体が800個/g(金原2002)、池島・福万寺遺跡では、イネ属機動細胞珪酸体が3,000個/g前後及び1,500個/g前後の値を示すが、400個/g程度の試料も存在している(辻本2001)などの分析結果が得られている。このような弥生時代前期の水田跡におけるイネ属機動細胞珪酸体結果を踏まえると、今回、北野遺跡の畦畔検出層準で検出されたイネ属の含量は、他の遺跡に比べ極端に少ない傾向にあるわけではないことが認識される。珪酸体の評価については、堆積速度や堆積物中に取り込まれる量やその後の風化などを考慮する必要がある。植物珪酸体の風化については、未だ不明な点が多いのが事実であるが、植物珪酸体がPH値の高い場所や、乾湿を繰り返す場所で風化しやすいこと(江口1994・1996)や、種類によって溶解性に違いが認められること(近藤・佐瀬1986)が指摘されている。このような研究結果を踏まえると、上述した畦畔検出層



1. ネザサ節短細胞珪酸体 (Loc. 1;1)

2. ヨシ属短細胞珪酸体 (Loc. 1;5)

写真1 植物珪酸体

準の植物珪酸体組成や肉眼観察結果から推定される土壤環境は、珪酸体の保存にあまり適していなかった可能性がある。また、外山（2002）は、イネ属やその他の植物珪酸体の検出数や量が、耕作地の微地形及びそれを構成する堆積物の粒度組成や一筆単位の水田面積の違いに関連があることを確認した。弥生時代の水田跡では、イネ属やその他の珪酸体の産状にかなりのバラツキがあることも認められている（辻本・辻 2002、辻本ほか 2003）。珪酸体の量比を決定する要因は、上述したような様々な要因が存在している。しかも、比較的狭い空間での分布のバラツキも認められている。このようなことから、畦畔検出層準から検出されたイネ属珪酸体の含量の少なさが、直ちにその層準での水田耕作を否定的に見る根拠とはならないものと判断される。

以上の分析及び観察結果から、畦畔検出層準では、基盤層と明らかに区別される層準が存在しており、その層準の上部付近で栽培種であるイネ属が少ないながら検出されたことが確認される。現在における堆積物観察や植物珪酸体組成から、畦畔検出層準が形成された当時は、半湿や半乾の好氣的な土壤環境にあったことが推定される。畦畔検出層準の基盤をなす堆積物からは、イネ属が検出されていない。このことは、基盤層の堆積時期に周辺にイネ属珪酸体を供給するような場所が存在していなかったことを示唆する。このような産状は、調査地点周辺において、畦畔が検出された層準の時期に初めてイネ属の栽培が行われるようになったことを示している。今回と同様の事例は、池島・福万寺遺跡の弥生時代前期の水田跡で実施された植物珪酸体分析の事例に認めることができる（辻本 2001）。今回の調査・分析及び発掘調査結果を踏まえると、畦畔検出層準において水田が存在していた可能性を示唆することができる。この可能性は、今後の調査や分析でさらに検証していく必要があるものと判断される。

### （3）SR01 内堆積物の古植物学的検討

SR01 内堆積物の花粉化石群集は、先述の堆積ユニット河道 2 層準において、距離的に近い Loc.8 と Loc.4 の 2 カ所の地点で確認されている。いずれの地点も流路縁の堆積物に認められた群集である。両地点の花粉化石群集は、総花粉・孢子の中で木本花粉が高率を占めること、同様な種類（分類群）から構成されている点で類似するが、各種類の出現頻度は地点間で差異が認められる。この出現頻度の違いについては、地点間の距離や堆積環境を考慮すると、堆積物中への花粉化石の取り込まれ方（化石群集の形成過程）が異なっていたことを反映しているものと判断される。

両地点とも木本花粉が高率を占めることから、河道周辺には森林と呼べる林分が成立していたことが推定される。種類構成をみると、多産する要素では落葉広葉樹のコナラ亜属、常緑広葉樹のアカガシ亜属の 2 種類、随伴種では暖温帯林要素であるマキ属、温帯性針葉樹であるモミ属・ツガ属・マツ属・コウヤマキ属、落葉広葉樹のクマシデ属—アサダ属・エノキ属—ムクノキ属・ケヤキ属—ムクノキ属などが認められる。これらのうち、コナラ亜属などの落葉広葉樹の種類や温帯性針葉樹の種類は、アカガシ亜属などの常緑広葉樹に比較して、地点間における出現頻度の格差が大きい。各種類の地点間における出現頻度格差は、先述した化石群集の形成過程の違いに起因する可能性があるが、変動格差の大きい要素である落葉広葉樹の種類は、その多くが河道沿いの河畔林を構成する要素でもあり、格差の小さなアカガシ亜属などは土壤の発達した場所に分布する種類である。これらの生態性を考慮すると、地点間における出現頻度格差は、当時の各種類の分布場所と堆積場までの距離関係を反映している可能性があり、そうだとすると、コナラ亜属やエノキ属—ムクノキ属などは河道 2 の集水域沿いに分布し、アカガシ亜属やクリ属—シイノキ属などは河道より離れた土壤の発達した場所に分布の主体があったことになる。

高松平野では、本遺跡北側 3km に位置する林・坊城遺跡において、縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての花粉化石群集が確認されている（パリノ・サーヴェイ 1993）。そこでも調査区内の 2カ所の地点において花粉化石群集が得られているが、北野遺跡とは異なり、地点間での木本花粉群集の時間層位的な変遷及び種類構成は類似した産状を示している。これは林・坊城遺跡の花粉化石群集が花粉の供給源からの距離が離れており均質化されている群集であることを示唆する。すなわち林・坊城遺跡周辺と本遺跡周辺では植生環境が異なっていたことを示唆し、林・坊城遺跡周辺では北野遺跡周辺に比較して林分の発達が顕著でなかったことを示唆する。

以上、河道 2 堆積期である弥生時代前期には、モミ属・コウヤマキ属などの温帯性針葉樹やナラ類などの落葉広葉樹、照葉樹のアカガシ亜属などが周辺植生を構成しており、暖温帯林が成立していたことが推定される。また、草本花粉や植物珪酸体の産状から、河道沿いには水生植物のガマ属やサジオモダカ属やヨシ属などが生育する場所も存在し、マメ科（ソラマメ属を含む）やヨモギ属などが分布する、開けた草地も認められたものと推定される。今後、さらに調査事例を蓄積することによって、より詳細な時間・空間スケールでの検討が行われることが期待される。

#### 参考文献

- 安藤一男,1990,淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用.東北地理,42,73-88.
- Asai, K, and Watanabe, T.,1995, Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecologic Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa. Diatom, 10, 35-47.
- 江口誠一,1996,沿岸域における植物珪酸体の風化と堆積物の pH 値.ペトロジスト,40,81-84.
- 江口誠一,1994,沿岸域における植物珪酸体の分布 千葉県小櫃川河口域を例にして.植生誌研究,2,19-27.
- 原口和夫・三友 清・小林 弘,1998,埼玉の藻類 珪藻類.埼玉県植物誌,埼玉県教育委員会,527-600.
- 伊藤良永・堀内誠示,1991,陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用.哇藻学会誌,6,23-45.
- 金原正子,2002,志紀遺跡 3区における古環境復元.「志紀遺跡(その 2:3-5:6)大阪府宮八尾志紀住宅建て替え事業に伴う発掘調査報告書」(財)大阪府文化財調査研究センター,209-232.
- 古環境研究所,1989,プラントオパール分析調査報告.「戎町遺跡第 1 次発掘調査概報」.神戸市教育委員会,103 - 110.近藤錬三・ピアスン友子,1981,樹木葉のケイ酸体に関する研究(第 2 報)双子葉被子植物樹木葉の植物ケイ酸体について.帯広畜産大学研究報告,12,217-229.
- 近藤錬三・佐瀬 隆,1986,植物珪酸体分析,その特性と応用.第四紀研究,25,31-64.
- 小杉正人,1988,珪藻の環境指標種群の設定と古環境復元への応用.第四紀研究,27,1-20.
- Krammer,K., 1992,PINNULAR,eine Monographie der europaischen Taxa.BIBLIOTHE CADIATOMOLOGICA,BAND 26,p.1-353, BERLIN・STUTTGART.
- Krammer,K. and Lange-Bertalot,H.,1986, Bacillariophyceae,Teil 1,Naviculaceae.Band 2/1 von : DieSuesswasserflora von Mitteleuropa,876p.,Gustav Fischer Verlag.
- Krammer,K.and Lange-Bertalot,H.,1988,Bacillariophyceae,Teil 2,Epithemiaceae,Bacillariaceae, Surirellaceae.Band 2/2 von : Die Suesswasserflora von Mitteleuropa,536p.,Gustav Fischer Verlag.
- Krammer,K.and Lange-Bertalot,H.,1991a,Bacillariophyceae,Teil 3,Centrales,Fragilariaceae, Eunotiaceae. Band 2/3 von : Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 230p.,Gustav Fischer Verlag.
- Krammer,K. and Lange-Bertalot,H.,1991b,Bacillariophyceae,Teil 4,Achnanthaceae,KritischeErgaenzungen zu Navicula (Lineolatae) und Gomphonema. Band 2/4 von : Die Suesswasserflora von Mitteleuropa, 248p., Gustav Fischer Verlag.
- 久馬一剛・八木久義訳監修,1989,土壤薄片記載ハンドブック,博友社,176p.
- 松田順一郎,2000,八尾市小阪合遺跡における弥生時代～古代の河川堆積作用と地形発達.「小阪合遺跡－都市基盤整備公園八尾団地建替に伴う発掘調査報告書」,(財)大阪府文化財調査研究センター,259-276.
- 松田順一郎,1999,瓜生堂第 40 次調査地における河川堆積作用の変化.「瓜生堂・若江北・山賀遺跡発掘報告書－電気工事予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の調査報告」,(財)東大阪市文化財協会,93-105.
- 松田順一郎・パリノ・サーヴェイ,1996,「北島遺跡の耕作地と古環境－寝屋川南部流域植付ポンプ場土木工事に伴う北島遺跡第 1 次発掘調査報告書－」.(財)東大阪市文化財協会,157p
- Miall,A.D.,1992,Alluvil Deposits, in Walker,R.G. and James,N. P. (ed) Facies Models.Geological assosiation of Canada, p.119-142.
- Miall,A.D.,1996,The Geology of Fluvial Deposits.Sedimentary Facies,Basin Analysis,and Petoleum Geology.Springer, 582p.
- 森 也寸志・滋賀 撰子・岩間憲治・渡辺紹裕・丸山利輔,1992,土地利用による土壌間隙構造の差異－軟 X 線による観察を中心として－.土壌の物理性,No.66,19-27.
- 森也寸志,2000,軟 X 線による非破壊土壌中の排水機構の解明.土壌の物理性,No.83,59-65.
- 成岡市,1992,土壌粗孔隙の形態とその測定法 土壌の不均一性と物質移動の研究前線.日本土壌肥糧科学雑誌,64,190-97.



- 成岡市・岩田幸良・駒村正治,2000, 関東ローム層土における粗孔隙の透水、通気及び排水機能. 農業土木学会論文集, No.208,63-71.
- パリノ・サーヴェイ,1993, 花粉分析とプラント・オパール分析. 「林・坊城遺跡」,239-263, 香川県埋蔵文化財調査センター.
- パリノ・サーヴェイ,2003, 岡山県陸上競技場改修に伴う自然科学分析. 「津島遺跡 4 岡山岡山県陸上競技場改修に伴う発掘調査」, 岡山県教育委員会,523-539.
- 杉山真二,2000, 植物珪酸体 (プラント・オパール). 辻誠一郎編著 考古学と自然科学 3 考古学と植物学, 同成社,189-213.
- Stiver, M., Long, A., Kra, R., (eds), 1993, Calibration 1993. Radiocarbon, 35, p. 1-22.
- 辻本裕也,2001,IFJ97-3 調査区の花粉・植物珪酸体分析. 「池島・福万寺遺跡発掘調査概要 X X VII - IFJ97-3 調査区の概要 -」, (財) 大阪府文化財調査研究センター,120-131.
- 辻本裕也・辻 康男,2002, 池島・福万寺遺跡の古環境復元. 「池島・福万寺遺跡 2 (福万寺 I 期地区) - 一級河川恩知川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書 - 分析・考察編」, (財) 大阪府文化財センター,361-410.
- 辻本裕也・辻 康男・田中義文・馬場健司,2003, 自然科学分析の成果. 「勝部遺跡 大阪国際空港周辺緑地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」, (財) 大阪府文化財調査研究センター,151-192.
- 谷口康浩,2001, 縄文時代遺跡の年代. 季刊考古学,77,17-21.
- 外山秀一,2002, 池島・福万寺遺跡の立地と環境, 「池島・福万寺遺跡 2 (福万寺 I 期地区) 一級河川恩知川治水緑地建設に伴う発掘調査報告書 - 分析・考察編」, (財) 大阪府文化財センター,411-429.
- Witkowski,A.,H. Lange-Bertalot, and D. Metzeltin (2000) Diatom flora of Marine coast I. Iconographia Diatomologica 7: 881 p.,Koeltz Sci. Koenigstein.

辻 康男・辻本裕也・金井慎司・馬場健司 (パリノ・サーヴェイ株式会社 [当時])

### 第 3 節 弥生土器、粘土塊の胎土分析

#### 1 はじめに

北野遺跡は、香川県高松市三谷町字北野地内に所在する。北野遺跡から出土した焼成土塊及び弥生土器について、薄片の偏光顕微鏡観察による胎土分析を行った。

#### 2 試料と方法

試料は、北野遺跡から出土した弥生土器 9 点である（第 9 表）。

試料 No.	遺跡名	器種	番号	遺構	時期
1	北野遺跡	焼成土塊	565	SD24	弥生時代前期
2			566		
3			567		
4		弥生土器	559		
5			560		
6			561		
7			562		
8			563		
9			564		

第 9 表 胎土分析試料の詳細

これらの焼成土塊及び弥生土器は、偏光顕微鏡観察用の薄片を作製した。方法は、一部をダイヤモンドカッターで切断した後、エポキシ樹脂で固化処理を行い、精密岩石薄片作製機及び研磨フィルムを用いて厚さ 20～30  $\mu$  m の土器薄片を作製した。

薄片は、粒子を微化石類（植物珪酸体化石など）、鉱物、岩片に分けて、粒度区分毎に同定・計測を行った。計測は、メカニカルステージを用いて 0.5mm 間隔におけるポイント法により中粒シルト以上の粒子 200 個体について同定・計数した。また、薄片全面について微化石類、鉱物、岩石片等の特徴について観察・記載した。なお、本ポイント法は、松田ほか（1999）の方法を参考にした。土器胎土中の粒子の分類群は以下の通りである。

#### [珪藻化石]

珪酸質の殻をもつ微小な藻類で、大きさは 10～数百  $\mu$  m 程度である。珪藻は、海水域から淡水域に広く分布する。小杉（1988）や安藤（1990）は、現生珪藻に基づいて環境指標種群を設定し、具体的な環境復原を行っている。ここでは、種あるいは属が同定できる珪藻化石（海水種、淡水種）を分類した。

#### [骨針化石]

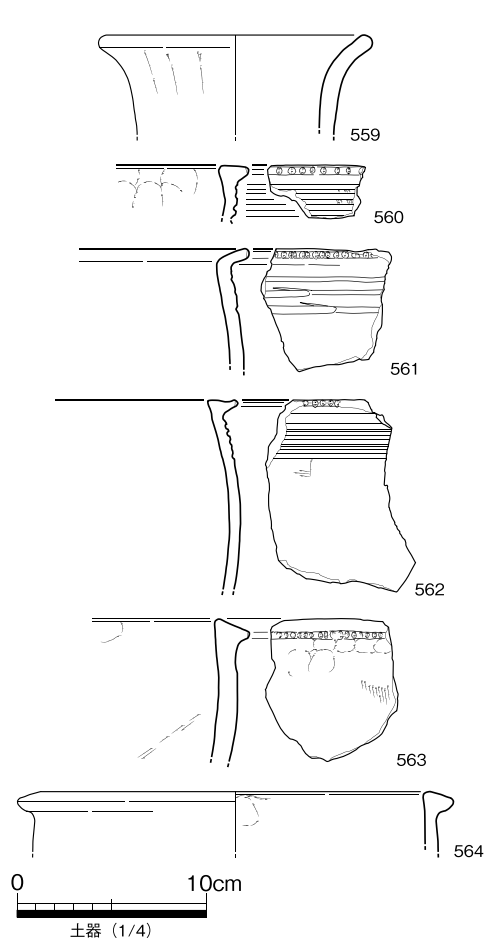
海綿動物の骨格を形成する小さな珪質、石灰質の骨片で、細い管状や針状からなる。海綿動物の多くは海産であるが、淡水産としても 23 種ほどが知られ、湖や池あるいは川の底に横たわる木や貝殻などに付着して生育する。したがって、骨針化石は水成環境を指標する。

#### [孢子化石]

孢子は、直径約 10～30  $\mu$  m 程度の珪酸質の球状粒子である。孢子は、水成堆積物中に多く見られるが、土壌中にも含まれる。

#### [植物珪酸体化石]

主にイネ科植物の細胞組織を充填する非晶質含水珪酸体であり、長径約 10～50  $\mu$  m 前後である。一般にプラント・オパールとも呼ばれ、イネ科草本やスゲ、シダ、トクサ、コケ類などに存在する。



第 100 図 胎土分析を行った土器

## [角閃石類]

主として普通角閃石であり、色は黒色から黒緑色で、薄片上では黄色から緑褐色などである。形は、細長く平たい長柱状である。閃緑岩のような、ケイ酸分が中間的な深成岩類や変成岩類、火山岩類に産出する。

## [雲母類]

一般的には黒雲母が多く、黒色から暗褐色で、風化すると金色から白色になる。薄片上では長柱状や層状に見える場合が多い。

## [ジルコン]

無色の長柱状または錐面に囲まれた形を呈し、屈折率が高い。

## [砂岩質・泥岩質・チャート]

石英、長石類、岩片類などの粒子が集合し、基質部分をもつ。構成粒子の大きさが約 0.06mm 以上のものを砂岩質、約 0.06mm 未満のものを泥岩質とした。チャートは、微細な結晶の集合体で、結晶度の高い岩石である。

## [片岩類]

石英、長石類、岩片類などの粒子が集合し、片理構造を示す岩石である。結晶片岩や粘板岩である。

## [植物遺体化石]

木本又は草本植物の細胞組織である。

## [石英・長石類]

石英及び長石類は、いずれも無色透明の鉱物である。長石類のうち、後述する双晶などのように、光学的な特徴をもたないものは石英と区別するのが困難である場合が多く、一括して扱う。なお、輝石類を含有する石英を含む。

## [長石類]

長石は、大きく斜長石とカリ長石に分類される。斜長石は、双晶を示すものと累帯構造を示すものに細分される。カリ長石は、細かい葉片状の結晶を含むもの（パーサイト構造）と格子状構造（微斜長石構造）を示すものに細分される。

## [輝石類]

主として斜方輝石と単斜輝石とがある。斜方輝石（主に紫蘇輝石）は、肉眼的にビール瓶のような淡褐色及び淡緑色などの色を呈し、形は長柱状である。ケイ酸分の少ない深成岩類や火山岩類、ホルンフェルスなどのような高温で生じた変成岩類に産する。単斜輝石（主に普通輝石）は、肉眼的に緑色から淡緑色を呈し、柱状である。主としてケイ酸分の少ない火山岩類やケイ酸分の最も少ない火成岩類や変成岩類中にも産出する。

[深成岩類]

大型の石英や長石で構成され、輝石類や角閃石類あるいは雲母類などを含む完晶質の岩石である。

[凝灰岩]

ガラス質で斑晶質構造あるいは完晶質構造を持つ粒子のうち、結晶度が低く、直交ニコルで観察した際に全体的に暗い粒子である。

[流紋岩]

石英や長石などの結晶からなる斑晶構造を示し、基質は微細な鉱物やガラス質物からなり、流理構造を示す岩石である。

[火山岩]

斜長石や輝石・角閃石などの結晶からなる斑晶構造を示し、基質は微細な鉱物やガラス質物からなる岩石である。

[火山ガラス]

透明の非結晶の物質で、電球のガラス破片のような薄く湾曲したガラス（バブル・ウォール型）や小さな泡をたくさんもつガラス（軽石型）などがある。主に火山噴火により噴出した噴出物（テフラ）である。

[多結晶石英]

多結晶石英は、石英の集合している粒子で、基質（マトリックス）の部分をもたないものである。

[酸化鉄結核]

赤褐色～褐色を呈する岩石であり、光学的には不透明である。

[不明鉱物及び不明岩石]

下方ポーラーのみ、直交ポーラーのいずれにおいても不透明な粒子や、変質して鉱物あるいは岩石片として同定不可能な粒子を不明粒子とした。

### 3 結果

偏光顕微鏡を用いた薄片のポイント法による計測結果を第 10 表と第 11 表に示し、ポイント法による岩石・鉱物粒子－粒度分布図を第 101 図、粒度組成図を第 102 図に示す。また、薄片全面の観察による特徴記載を第 12 表に示し、その概略を第 13 表に示す。なお、第 13 表の●は特に多い、◎は非常に多い、○は多い、△は検出、－は不検出を示す。

### 4 考察

偏光顕微鏡による土器薄片のポイント法及び観察結果から、粘土の種類では、淡水種珪藻化石を含む淡水成粘土が 2 点、骨針化石を含む水成粘土 3 点、その他粘土が 4 点であった。また、砂粒組成は、主に深成岩類（B 群）からなる砂粒が 6 点、主に深成岩類とテフラ（Bg 群及び Gb 群）からなる砂粒が 3 点であった（第 13 表）。

粒度組成は、分析 No.1 が主に中粒砂～中粒シルトからなり、分析 No.2 が主に粗粒シルトと中粒シルトからなる。その他の弥生土器は、細礫又は極粗粒砂～中粒シルトからなるが、分析 No.4 や No.6 あるいは No.9 では細礫が目立つ。

北野遺跡は、香川県高松市三谷町字北野地内に所在し、更新世中－後期中・高位段丘が隣接する。

分析番号	粒径区分	粒度範囲	粒子の種類構成																				合計	総合計										
			微化石類					鉱物片					岩石片																					
			放射虫化石	海水種珪藻化石	淡水種珪藻化石	不明珪藻化石	骨針化石	胞子化石	植物珪酸体化石	植物遺体化石	石英・長石類	カリ長石	斜長石	輝石類	角閃石類	雲母類	ジルコン	不透明鉱物	不明鉱物	泥岩	砂岩	チャート			片岩類	深成岩類	凝灰岩	流紋岩	火山岩	火山ガラス	多結晶石英	酸化鉄結核	粘土塊	不明岩石
1	礫	細礫	2mm 以上																													0	200	
		極粗粒砂	1-2mm																														0	
	砂	粗粒砂	0.5-1mm								1																						1	
		中粒砂	0.25-0.5mm																														9	
		細粒砂	0.125-0.25mm																														39	
		極細粒砂	0.064-0.125mm																														24	
	シルト	粗粒シルト	0.032-0.064mm																														21	
		中粒シルト	0.032mm 以下																														18	
基質																																87		
孔隙																																1		
2	礫	細礫	2mm 以上																													0	200	
		極粗粒砂	1-2mm																														0	
	砂	粗粒砂	0.5-1mm																														0	
		中粒砂	0.25-0.5mm																														0	
		細粒砂	0.125-0.25mm																														0	
		極細粒砂	0.064-0.125mm																														1	
	シルト	粗粒シルト	0.032-0.064mm																														15	
		中粒シルト	0.032mm 以下																														41	
基質																																136		
孔隙																																7		
3	礫	細礫	2mm 以上																													0	200	
		極粗粒砂	1-2mm																														8	
	砂	粗粒砂	0.5-1mm																														10	
		中粒砂	0.25-0.5mm																														9	
		細粒砂	0.125-0.25mm																														14	
		極細粒砂	0.064-0.125mm																														6	
	シルト	粗粒シルト	0.032-0.064mm																														9	
		中粒シルト	0.032mm 以下																														15	
基質																																116		
孔隙																																13		
4	礫	細礫	2mm 以上																													21	200	
		極粗粒砂	1-2mm																														4	
	砂	粗粒砂	0.5-1mm																														11	
		中粒砂	0.25-0.5mm																														10	
		細粒砂	0.125-0.25mm																														10	
		極細粒砂	0.064-0.125mm																														7	
	シルト	粗粒シルト	0.032-0.064mm																														4	
		中粒シルト	0.032mm 以下																														18	
基質																																112		
孔隙																																3		
5	礫	細礫	2mm 以上																													0	200	
		極粗粒砂	1-2mm																														11	
	砂	粗粒砂	0.5-1mm																														13	
		中粒砂	0.25-0.5mm																														6	
		細粒砂	0.125-0.25mm																														4	
		極細粒砂	0.064-0.125mm																														3	
	シルト	粗粒シルト	0.032-0.064mm																														3	
		中粒シルト	0.032mm 以下																														14	
基質																																144		
孔隙																																2		

第10表 ポイント法による粒子の同定・計測結果



分析No.	種別	粒度	最大粒径	微化石類の特徴	砂粒物岩石・鉱物組成
1	焼成土塊	120 μm ~ 380 μm	1.19mm	植物珪酸体化石	石英・長石類 複合石英類 (微細)、カリ長石 (パーサイト) 複合石英類 (大型)、斜長石 (双晶)、雲母類、火山ガラス (バブル質)、ジルコン、角閃石類
2		60 μm ~ 110 μm	0.48mm	珪藻化石 (淡水種 Achnanthes 属、Diploneis 属、Hantzschia 属、Pinnularia 属、不明種)、胞子化石、植物珪酸体化石多い	石英・長石類、雲母類 角閃石類、火山ガラス (バブル型) 斜長石 (双晶)、カリ長石 (パーサイト)、ジルコン、複合石英類 (大型)
3		180 μm ~ 480 μm	2.63mm	珪藻化石 (淡水種 Nitzschia 属、不明種)、胞子化石、植物珪酸体化石多い	火山ガラス (バブル型) 石英・長石類 複合石英類 (大型)、角閃石類、斜長石 (双晶)、ジルコン、複合石英類 (微細)、雲母類
4	弥生土器	200 μm ~ 400 μm	3.77mm	胞子化石、植物珪酸体化石	石英・長石類、複合石英類 (大型) 火山ガラス (バブル型)、複合石英類 (微細) カリ長石 (パーサイト)、斜長石 (双晶)、流紋岩質、角閃石類、ジルコン、斜方輝石
5		250 μm ~ 500 μm	2.72mm	骨針化石 (5)、植物珪酸体化石	石英・長石類、複合石英類 (大型) 火山ガラス (バブル型) 斜長石 (双晶)、複合石英類 (微細)、角閃石類、ジルコン、雲母類、流紋岩質
6		180 μm ~ 450 μm	3.72mm	胞子化石、植物珪酸体化石多い	火山ガラス (バブル型) 石英・長石類、複合石英類 (大型) 角閃石類、ジルコン、斜長石 (双晶) 複合石英類 (微細)、斜方輝石
7		180 μm ~ 900 μm	2.50mm	骨針化石 (2)、植物珪酸体化石多い	石英・長石類、複合石英類 (大型) 火山ガラス (バブル型)、複合石英類 (微細)、角閃石類、ジルコン、カリ長石 (パーサイト)、斜方輝石、砂岩質
8		480 μm ~ 1200 μm	2.90mm	骨針化石 (3)、胞子化石、植物珪酸体化石	石英・長石類、複合石英類 (大型) 火山ガラス (バブル型)、角閃石類、複合石英類 (微細)、雲母類、カリ長石 (パーサイト)、ジルコン
9		250 μm ~ 900 μm	2.87mm	植物珪酸体化石	石英・長石類、複合石英類 (大型) 複合石英類 (微細)、火山ガラス (バブル型)、角閃石類、ジルコン、斜長石 (双晶)、カリ長石 (パーサイト)

第12表 各試料の粘土中の微化石類と砂粒組成の特徴記載

分析No.	種別	粘土の特徴							砂粒の特徴							鉱物の特徴							植物珪酸体化石	その他の特徴		
		種類	放射虫化石	珪藻化石	海水産珪藻	珪藻化石	不明種	骨針化石	胞子化石	分類	A-a 片岩類	B-b 深成岩類	C-c 堆積岩類	D-d 火山岩類	E-e 凝灰岩類	F-f 流紋岩類	G-g テフラ	石英	(双晶・雲母)	(斜長石)	(カリ長石)	ジルコン			角閃石類	輝石類
1	焼成土塊	その他	-	-	-	-	-	-	B	-	△	△	-	△	-	△	○	△	○	△	△	△	-	○	△	
淡水成		-	-	○	-	-	△	Bg	-	○	-	-	-	-	○	○	△	△	△	△	○	△	○	○	●	
淡水成		-	-	△	△	-	△	Gb	-	○	△	-	-	-	○	○	△	-	△	△	△	△	-	△	●	
4	弥生土器	その他	-	-	-	-	-	△	B	-	○	△	-	-	△	△	○	△	△	△	△	△	△	-	△	
水成		-	-	-	-	-	△	-	B	-	○	△	-	-	△	△	○	△	△	△	△	△	-	△	○	
その他		-	-	-	-	-	-	△	Gb	-	○	△	-	-	-	●	○	△	-	△	△	△	-	○		
水成		-	-	-	-	-	△	-	B	-	○	△	-	-	-	△	○	-	△	△	△	△	-	○		
その他		-	-	-	-	-	△	△	B	-	○	△	-	-	-	△	○	-	△	△	△	△	-	○		
8		水成	-	-	-	-	△	△	B	-	○	△	-	-	-	△	○	-	△	△	△	△	-	○		
9		その他	-	-	-	-	-	-	B	-	○	△	-	-	-	△	○	△	△	△	△	△	-	△		

第13表 胎土中の粘土および砂粒の特徴一覧表

徳島図幅 (第103図の右側) において、南側に中新世中期の安山岩火砕岩及び溶岩 (Sk) やデイサイト-流紋岩火砕岩及び溶岩 (Sh) が小規模に分布し、さらに南側に白亜紀後期の角閃石黒雲母花崗閃緑岩及び黒雲母花崗岩 (G2i) が広く分布する (図3)。

検討した焼成土塊や弥生土器のうち、主に深成岩類とテフラ (Bg 群及び Gb 群) からなる砂粒組成を示す胎土は、段丘堆積物のテフラ層を挟在する粘土質堆積物を利用したことが推定される。一方、主に深成岩類 (B 群) からなる砂粒組成を示す胎土は、段丘堆積物のテフラ層を挟在しない粘土質堆積物を利用したことが推定される。

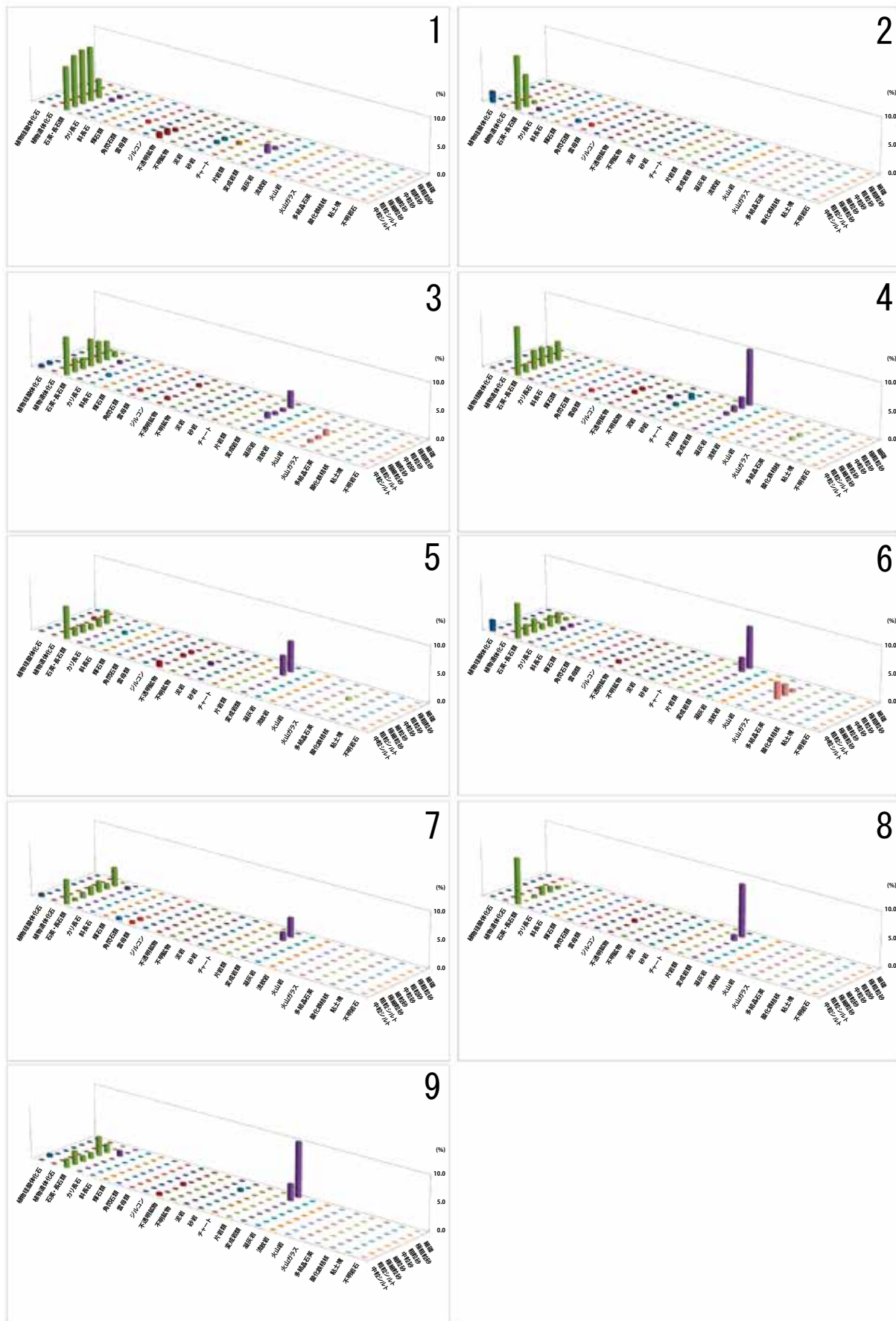
以上、焼成土塊及び弥生土器は、いずれも遺跡周辺の地質を反映した砂粒組成であった。

なお、焼成土塊の分析 No.2 と No.3 の胎土中には、イネ籾殻の珪酸体を含んでいた。

引用文献

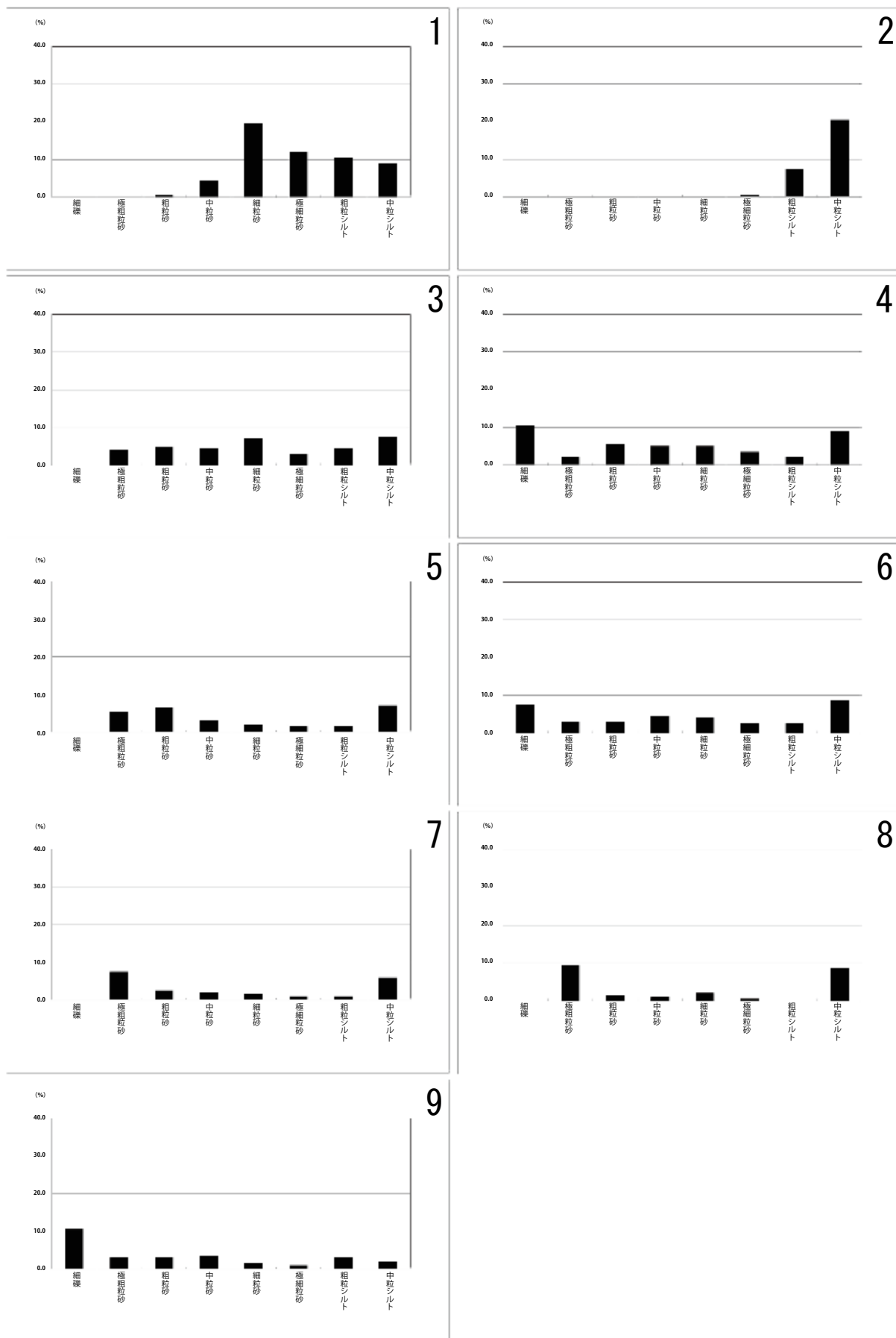
安藤一男 (1990) 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 東北地理, 42 (2), 73-88.  
 小杉正人 (1988) 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 第四紀研究, 27, 1-20.  
 牧本 博・利光誠一・高橋 浩・水野清秀 (1995) 20 万分の 1 地質図幅「徳島 第 2 版」. 地質調査所.  
 松田順一郎・三輪若葉・別所秀高 (1999) 瓜生堂遺跡より出土した弥生時代中期の土器薄片の観察. 日本文化財科学会第 16 回大会 研究発表要旨集, 120-121.  
 松浦浩久・栗本史雄・吉田史郎・斎藤文紀・牧本 博・利光誠一・巖谷敏光・駒沢 正夫・広島俊男 (2002) 20 万分の 1 地質図幅「岡山及丸亀」. 地質調査所

藤根 久・米田恭子 (株式会社パレオ・ラボ)

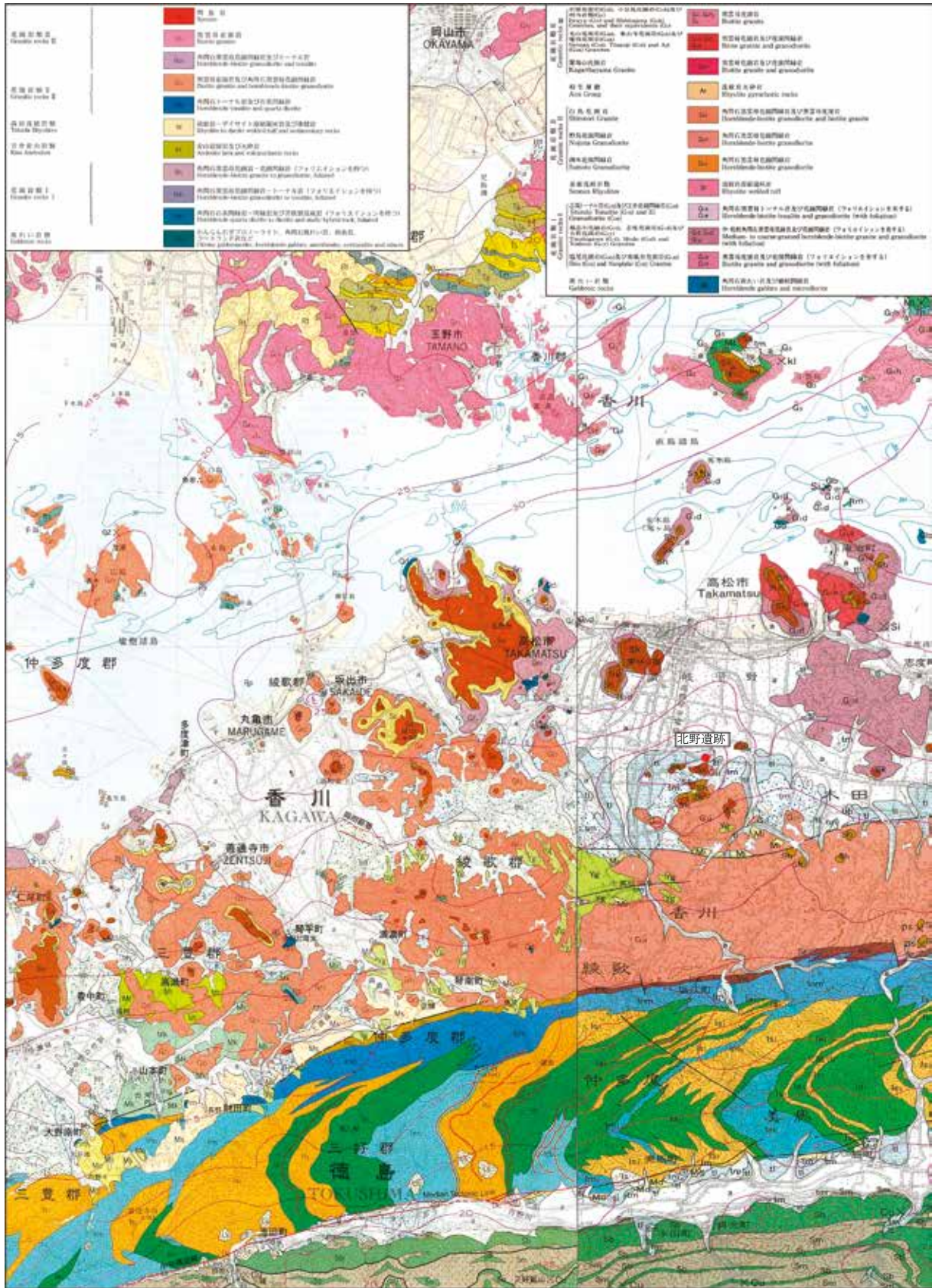


第 101 図 ポイント・カウント法による岩石・鉱物粒子—粒度分布図

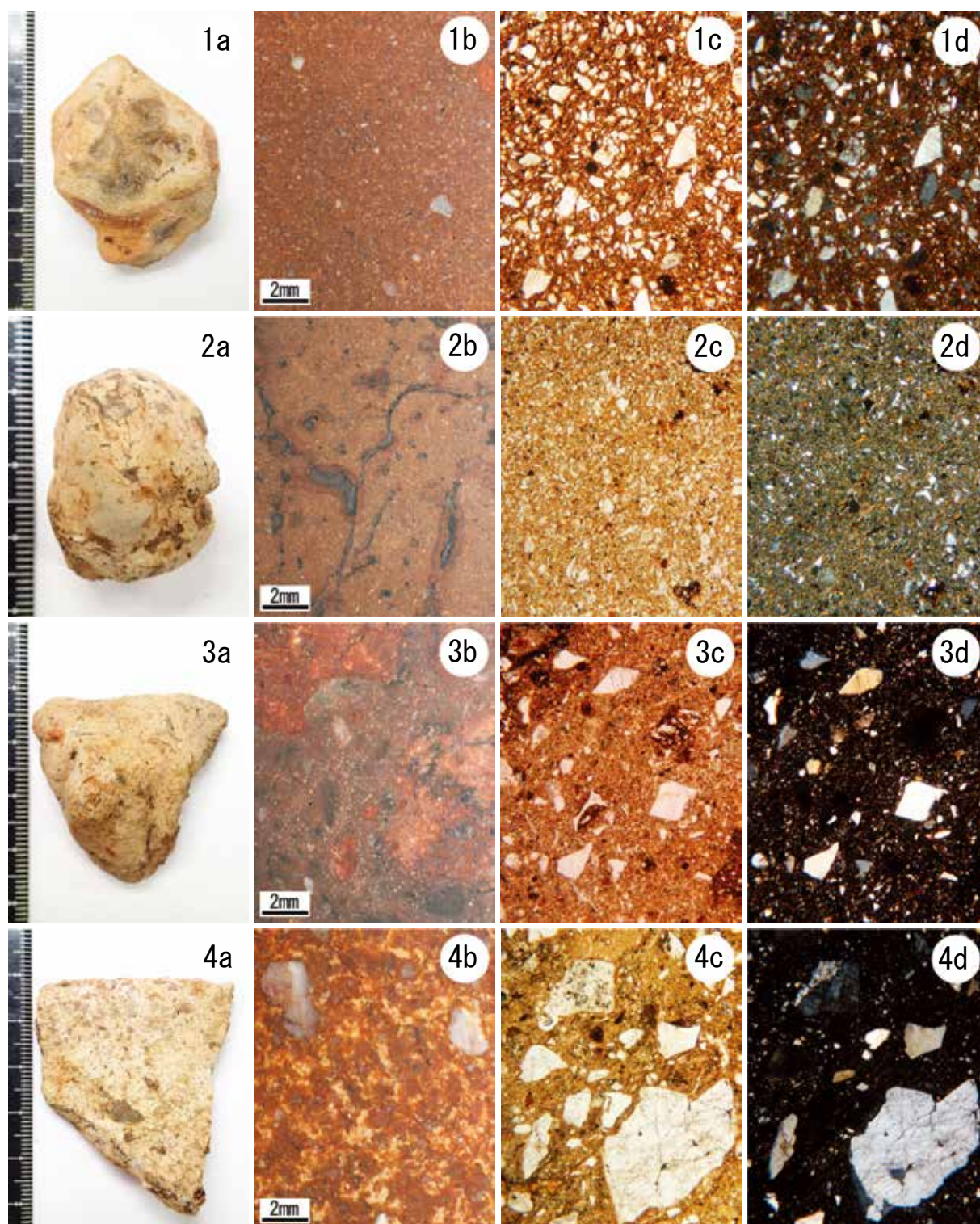




第 102 図 ポイント・カウント法による粒度組成図



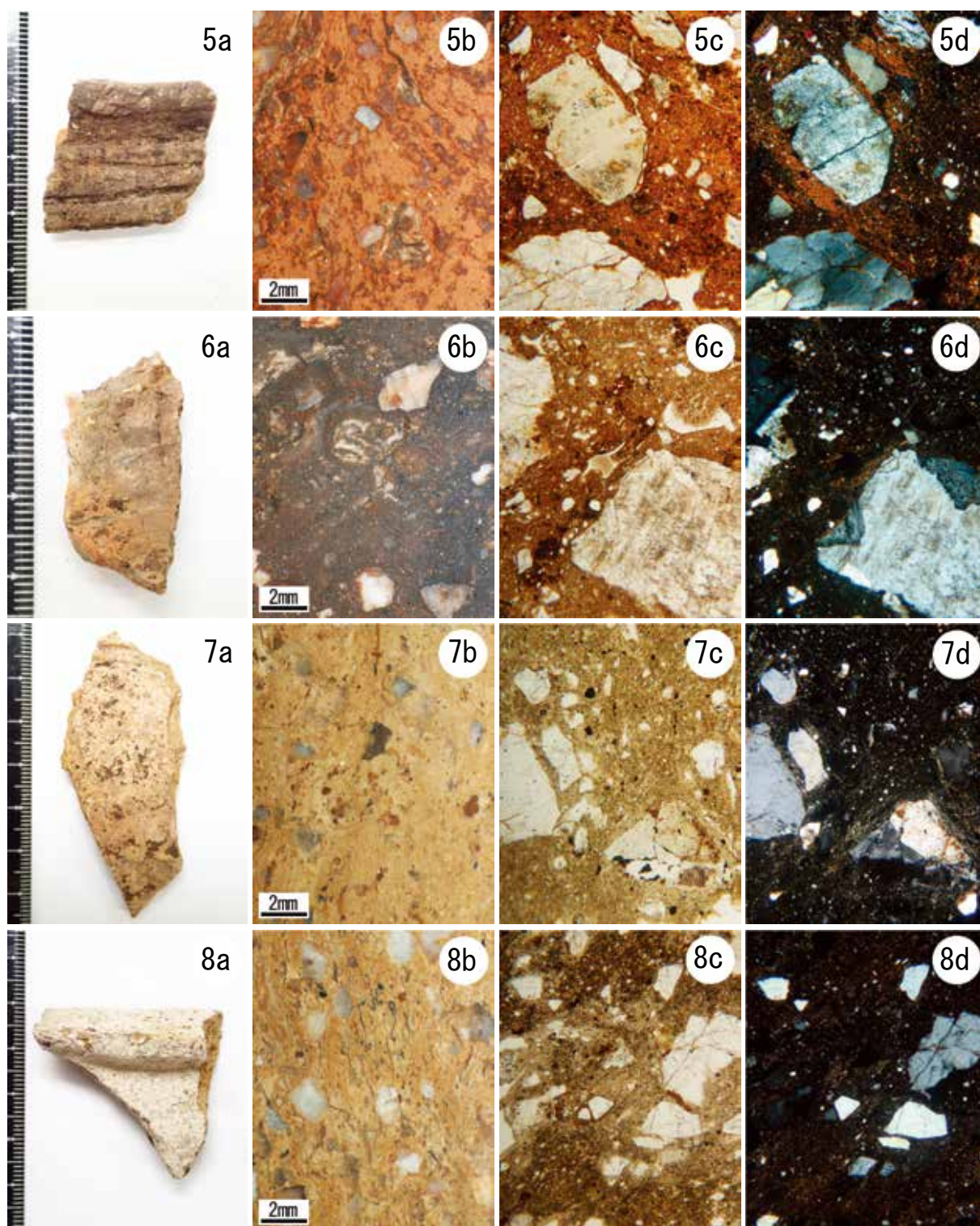
第 103 図 遺跡周辺の地質図



1新 No. 1、2. 新 No. 2、3. 新 No. 3、4. 新 No. 4

a: 土器、 b: 土器断面、 c: 解放ニコル (スケール: 500 $\mu$ m)、 d: 直交ニコル (スケール: 500 $\mu$ m)

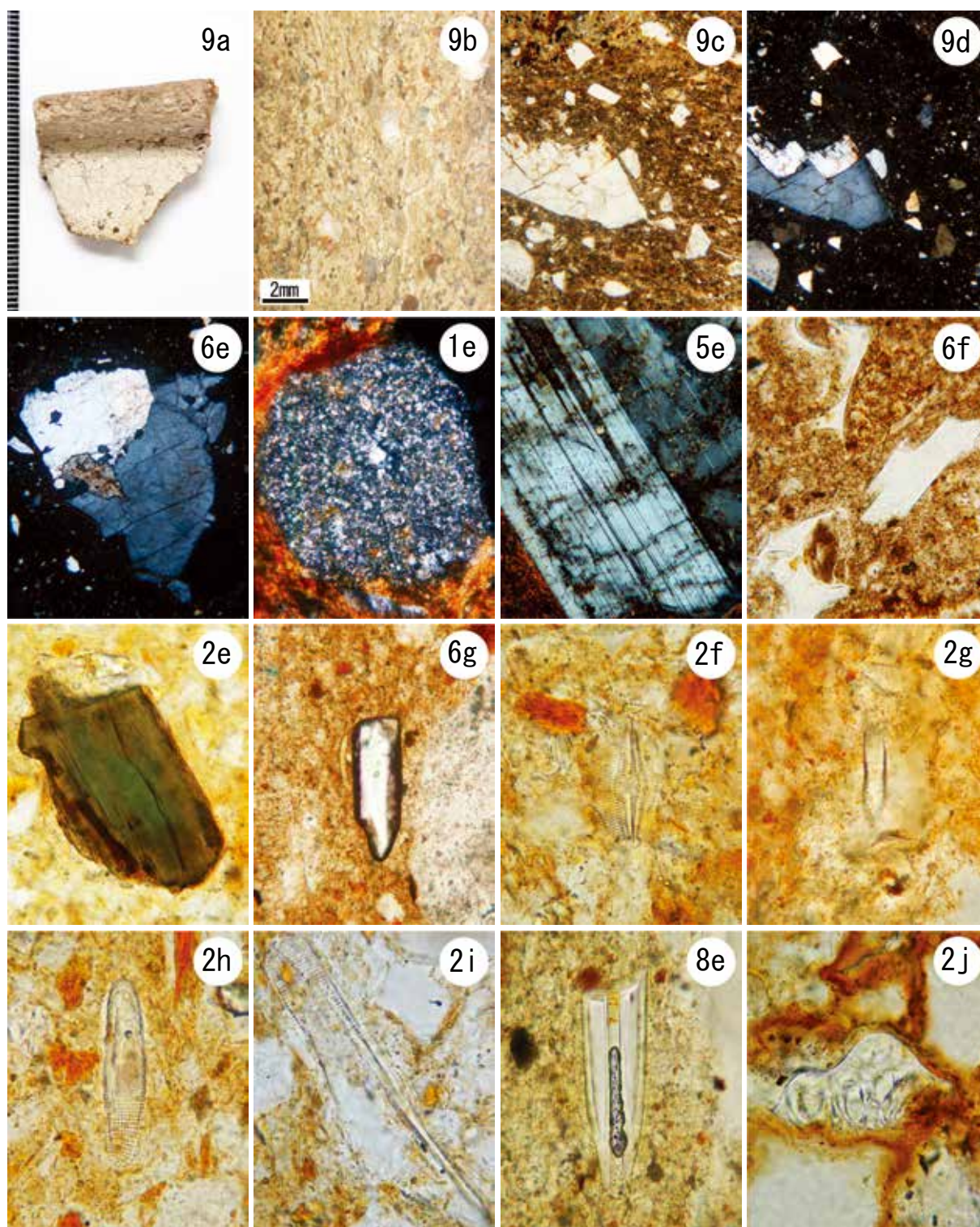
写真2 分析試料と胎土の偏光顕微鏡写真 (1)



5. 分析No.5、6. 分析No.6、7. 分析No.7、8. 分析No.8

a：土器、b：土器断面、c：解放ニコル(スケール：500 $\mu$ m)、d：直交ニコル(スケール：500 $\mu$ m)

写真3 分析試料と胎土の偏光顕微鏡写真（2）



(スケール：9a, 9b, 9c, 9d, 6e : 500 $\mu$ m、 5e : 100 $\mu$ m、 1e, 6f, 6g : 500 $\mu$ m、 2e, 2f, 2g, 2h, 2i, 8e, 2j : 20 $\mu$ m)

9a. 分析No.9、 9b. 分析No.9 (断面)、 9c. 分析No.9 (解放ニコル)、 9d. 分析No.9 (直交ニコル)

6e. 複合石英類 (大型)、 1e. 複合石英類 (微細)、 5e. 斜長石 (双晶)、 6f. 火山ガラス (ハブル型)

2e. 角閃石類、 6g. ジルコン、 2f. 珪藻化石 *Diplonei* 属、 2g. 珪藻化石 *Hantzscha* 属

2h. 珪藻化石 *Achnanthes* 属、 2i. 珪藻化石 *Pinnularia* 属、 8e. 骨針化石、 2j. イネ籾殻の珪酸体

写真4 分析試料と胎土の偏光顕微鏡写真 (3)

## 第 4 節 石器の蛍光 X 線分析

### 1 はじめに

北野遺跡は、香川県高松市三谷町に所在する。本報告は、香川県埋蔵文化財センターの委託により、同遺跡内において出土したサヌカイト製遺物を対象に、石材産地を推定する目的で行った蛍光 X 線分析の報告書である。

### 2 試料について

第 14 表・第 104 図に示す 30 試料を対象に分析を行い、既存資料との比較から、原石の産地同定を行った。

### 3 分析方法

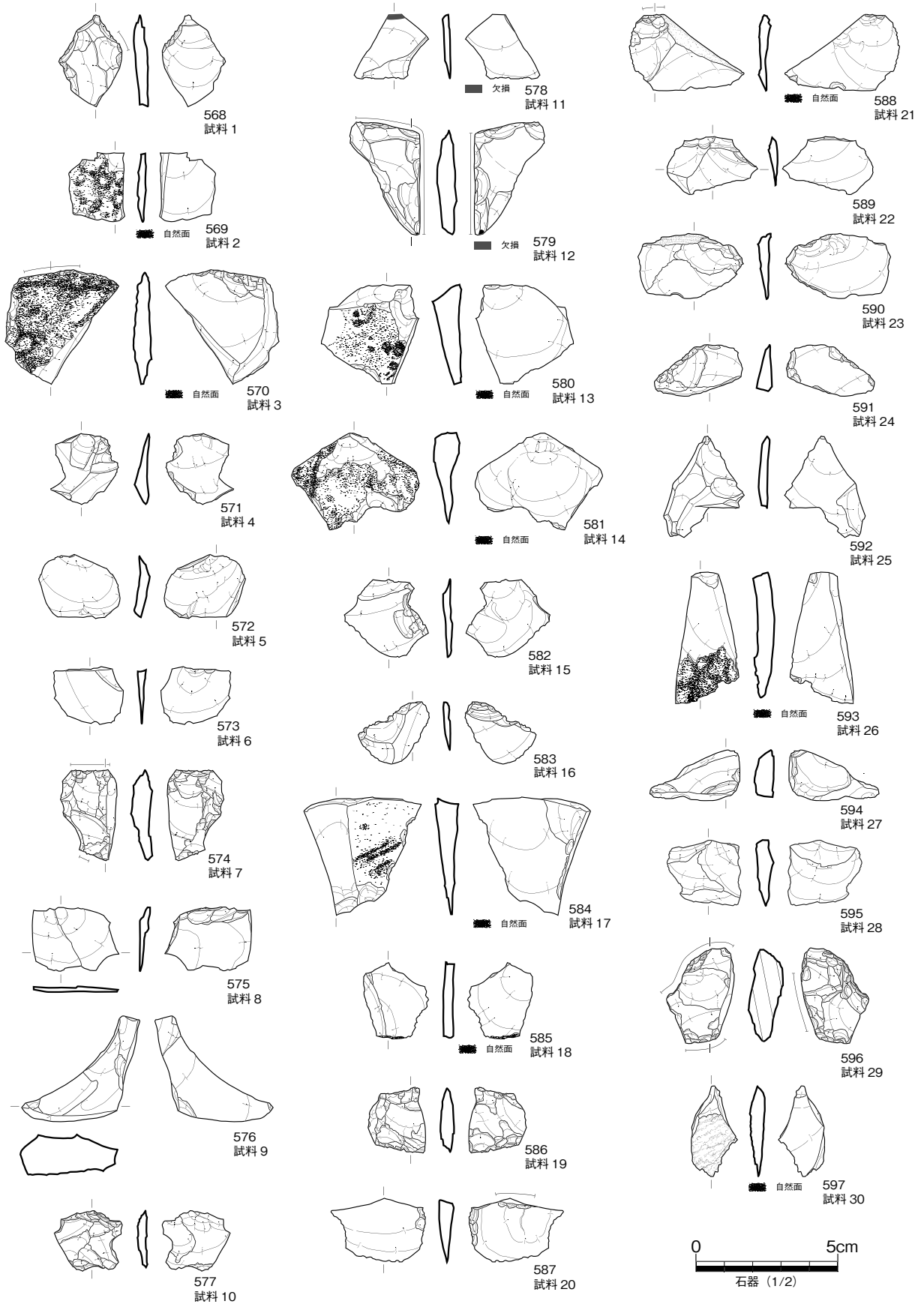
東村（1976、1980）、藁科・東村（1975、1983）、藁科・東村・鎌木（1977、1978）に従って、分析、同定を進めた。概略は、以下の通りである。

遺物の測定面に対し圧縮空気によるアルミナ粉末の吹きつけを行い、風化層を除去する。分析にはセイコーインスツルメンツ社の SEA2110L シリーズ卓上型蛍光 X 線分析計を用い、分析結果として化合物濃度の相対含有百分率（w t/%）と元素比を示す。

産地同定には（有）遺物材料研究所所有のデータベース上の 376 の原石・遺物群（原産地：103 原石群 産地不明：273 遺物群、藁科（2015）で報告後、「広島県世羅・権現山」原石群のほか、102 遺物群を追加（第 15 表）。）との間でホテリングの T2 乗検定を用い、帰属確立を % で求めた。

番号	注記番号	遺構	器種	分析番号	ホテリングの T2 検定結果	定量（5%）判定結果
1	D0091	SD24	剥片	129801	金山東 (40%), 金山東南 (13%), 金山南 (3%), 金山北 (0.1%)	金山東, 金山東南
2	D0117	SD24	剥片	129802	金山東 (33%), 金山東南 (2%), 金山南 (2%), 金山西 (0.1%)	金山東
3	D0089	SD24	剥片	129803	金山東 (99%), 金山東南 (2%), 金山南 (2%), 金山西 (0.1%)	金山東
4	D0089	SD24	剥片	129804	金山東 (44%), 金山東南 (3%), 金山南 (1%), 金山西 (0.2%)	金山東
5	D0134	SD24	剥片	129805	金山東 (61%), 金山東南 (14%), 金山南 (2%), 金山北 (0.3%), 金山西 (0.2%)	金山東, 金山東南
6	D0082	SD24	剥片	129806	金山東 (33%), 金山東南 (28%), 金山南 (15%), 金山西 (0.4%)	金山東, 金山東南, 金山南
7	D0098	SD24	石核	129807	金山東 (28%), 金山東南 (28%), 金山南 (0.9%)	金山東, 金山東南
8	D0116	SD24	剥片	129808	金山東南 (71%), 金山東 (57%), 金山南 (34%), 金山西 (2%), 金山南露頭 (0.1%)	金山東南, 金山東, 金山南
9	D0115	SD24	石核	129809	金山東南 (99.7%), 金山東 (72%), 金山南 (6%), 金山北 (0.8%), 金山西 (0.1%)	金山東南, 金山東, 金山南
10	D0099	SD24	剥片	129810	金山東 (24%), 金山東南 (12%), 松ノ木遺物群 (3%)	金山東, 金山東南
11	D0095	SD24	剥片	129811	金山東 (18%), 金山東南 (3%), 金山南 (0.8%)	金山東
12	0095	SD24	石核	129812	金山東 (69%), 金山東南 (40%), 金山南 (18%), 金山西 (0.8%)	金山東, 金山東南, 金山南
13	D0100	SD24	石核	129813	蓮光寺 (76%), 国分寺 (63%), 岩屋第 2 (0.2%)	蓮光寺, 国分寺
14	D0142	SD24	石核	129814	国分寺 (89%), 蓮光寺 (57%)	国分寺, 蓮光寺
15	0074	SD24	剥片	129815	金山東 (82%), 金山東南 (50%), 金山南 (10%), 金山西 (0.3%), 松ノ木遺物群 (0.2%)	金山東, 金山東南, 金山南
16	D0118	SD24	剥片	129816	金山東 (52%), 金山東南 (12%), 金山南 (11%), 金山西 (0.3%)	金山東, 金山東南, 金山南
17	D0114	SD24	剥片	129817	金山東 (65%), 金山東南 (24%), 金山南 (4%), 松ノ木遺物群 (0.5%), 金山北 (0.2%)	金山東, 金山東南
18	D0123	SD24	剥片	129818	金山東 (13%), 金山南 (7%), 金山東南 (4%), 金山西 (0.3%)	金山東, 金山南
19	D0123	SD24	石核	129819	法印谷 (70%), 束峰第 1 群 (6%), 双子山 (0.1%)	法印谷, 束峰第 1 群
20	D0133	SD24	剥片	129820	金山東 (87%), 金山東南 (20%), 金山南 (5%), 金山西 (0.3%), 松ノ木遺物群 (0.2%)	金山東, 金山東南, 金山南
21	D0133	SD24	剥片	129821	金山東 (56%), 金山東南 (26%), 金山南 (9%), 金山西 (0.2%)	金山東, 金山東南, 金山南
22	0108	SD24	剥片	129822	金山東 (79%), 金山東南 (6%), 金山南 (1%), 松ノ木遺物群 (0.5%), 金山西 (0.3%)	金山東, 金山東南
23	0108	SD24	剥片	129823	金山南 (44%), 金山西 (20%), 金山東 (4%), 金山東南 (3%)	金山南, 金山西
24	0108	SD24	剥片	129824	金山南 (19%), 金山東 (18%), 金山東南 (12%), 金山西 (2%)	金山南, 金山東, 金山東南
25	0095	SD24	剥片	129825	金山東 (70%), 金山東南 (5%), 金山南 (1%), 金山西 (0.4%)	金山東, 金山東南
26	0095	SD24	剥片	129826	岩屋第 2 (20%), 白峰 (7%), 蓮光寺 (1%)	岩屋第 2, 白峰
27	0095	SD24	石核	129827	金山東 (91%), 金山東南 (22%), 金山南 (5%), 金山西 (0.5%), 松ノ木遺物群 (0.3%)	金山東, 金山東南, 金山南
28	0095	SD24	剥片	129828	金山東 (28%), 金山東南 (5%), 金山南 (0.5%), 金山北 (0.1%), 金山西 (0.1%)	金山東, 金山東南
29	108	SD24	石核	129829	金山東 (70%), 金山東南 (67%), 金山南 (14%), 金山西 (0.7%)	金山東, 金山東南, 金山南
30	D0134	SD24	剥片	129830	金山東 (91%), 金山東南 (38%), 金山南 (8%), 金山西 (0.8%), 松ノ木遺物群 (0.2%)	金山東, 金山東南, 金山南

第 14 表 試料一覧及び産地同定結果



第 104 図 蛍光 X 線分析試料

北野遺跡 鎌野西遺跡 (香川県埋蔵文化財センター編 2020 年)

遺跡名・遺物群名・原産地名原石群名	分析 個数	元素比										
		K/Ca	Ti/Ca	Mn/Sr	Fe/Sr	Rb/Sr	Y/Sr	Zr/Sr	Nb/Sr	Al/Ca	Si/Ca	
石川県	見立A遺物群	50	0.455 ± 0.019	0.613 ± 0.012	0.090 ± 0.003	4.945 ± 0.133	0.158 ± 0.009	0.121 ± 0.009	1.276 ± 0.030	0.014 ± 0.004	0.024 ± 0.001	0.211 ± 0.007
	見立B遺物群	49	0.217 ± 0.010	0.607 ± 0.013	0.091 ± 0.002	7.997 ± 0.173	0.141 ± 0.010	0.092 ± 0.007	0.984 ± 0.015	0.007 ± 0.005	0.014 ± 0.001	0.116 ± 0.002
	地方風化石群	48	0.417 ± 0.010	0.220 ± 0.005	0.058 ± 0.005	3.291 ± 0.208	0.305 ± 0.014	0.038 ± 0.004	1.036 ± 0.033	0.027 ± 0.017	0.019 ± 0.001	0.173 ± 0.005
	地方風化見立A遺物群	49	0.517 ± 0.047	0.649 ± 0.084	0.064 ± 0.009	3.673 ± 0.415	0.170 ± 0.014	0.071 ± 0.036	1.184 ± 0.068	0.029 ± 0.015	0.025 ± 0.002	0.231 ± 0.007
	地方2607群	48	4.778 ± 0.134	0.272 ± 0.032	0.028 ± 0.007	3.093 ± 0.149	1.211 ± 0.064	0.180 ± 0.012	1.733 ± 0.067	0.079 ± 0.051	0.065 ± 0.003	1.282 ± 0.036
	地方27517群	47	6.975 ± 0.101	0.950 ± 0.022	0.426 ± 0.093	4.256 ± 8.424	6.569 ± 1.205	0.904 ± 0.161	8.225 ± 1.512	0.575 ± 0.265	0.085 ± 0.002	1.512 ± 0.041
	西見風化遺物群	48	0.413 ± 0.065	0.612 ± 0.043	0.084 ± 0.005	4.993 ± 0.665	0.157 ± 0.010	0.113 ± 0.011	1.256 ± 0.065	0.013 ± 0.006	0.025 ± 0.002	0.191 ± 0.023
	干野模形石群(石44)群	48	0.581 ± 0.012	0.675 ± 0.024	0.059 ± 0.002	3.966 ± 0.075	0.160 ± 0.009	0.113 ± 0.008	1.279 ± 0.022	0.015 ± 0.005	0.029 ± 0.001	0.247 ± 0.004
	干野石群(石10)群	48	0.610 ± 0.019	0.709 ± 0.061	0.060 ± 0.002	4.106 ± 0.142	0.160 ± 0.009	0.114 ± 0.009	1.282 ± 0.021	0.014 ± 0.006	0.030 ± 0.001	0.257 ± 0.005
	松原田中風化金山群	51	0.458 ± 0.010	0.198 ± 0.007	0.074 ± 0.005	4.152 ± 0.176	0.299 ± 0.008	0.082 ± 0.005	1.173 ± 0.022	0.026 ± 0.010	0.023 ± 0.001	0.177 ± 0.004
鳥取県	松原田中風化B群	46	0.141 ± 0.006	0.293 ± 0.007	0.060 ± 0.005	4.205 ± 0.261	0.063 ± 0.008	0.046 ± 0.005	0.750 ± 0.022	0.011 ± 0.007	0.013 ± 0.001	0.112 ± 0.003
	松原田中風化2105群	45	0.047 ± 0.002	0.252 ± 0.003	0.150 ± 0.004	11.038 ± 0.351	0.056 ± 0.010	0.076 ± 0.025	0.491 ± 0.016	0.011 ± 0.010	0.008 ± 0.001	0.053 ± 0.001
	松原田中風化2337群	45	2.739 ± 0.114	1.557 ± 0.065	0.075 ± 0.004	5.794 ± 0.125	0.897 ± 0.025	0.090 ± 0.005	1.079 ± 0.055	0.126 ± 0.028	0.045 ± 0.002	0.342 ± 0.029
	青谷上野地風化S A群	45	0.305 ± 0.014	0.409 ± 0.020	0.025 ± 0.003	2.268 ± 0.169	0.099 ± 0.006	0.044 ± 0.006	0.654 ± 0.012	0.038 ± 0.006	0.022 ± 0.001	0.154 ± 0.003
	松原田中B群	46	0.120 ± 0.008	0.284 ± 0.019	0.0845 ± 0.008	5.965 ± 0.549	0.077 ± 0.007	0.050 ± 0.005	0.745 ± 0.013	0.011 ± 0.008	0.013 ± 0.001	0.113 ± 0.001
	松原田中2105群	46	0.043 ± 0.005	0.188 ± 0.002	0.145 ± 0.003	10.021 ± 0.129	0.057 ± 0.009	0.074 ± 0.016	0.491 ± 0.015	0.011 ± 0.012	0.008 ± 0.001	0.054 ± 0.001
	松原田中2537群	46	2.777 ± 0.021	1.505 ± 0.016	0.067 ± 0.004	5.417 ± 0.078	0.888 ± 0.016	0.090 ± 0.003	1.038 ± 0.021	0.133 ± 0.018	0.046 ± 0.001	0.375 ± 0.004
	松原田中石線A群	46	0.450 ± 0.011	0.369 ± 0.009	0.044 ± 0.003	2.679 ± 0.088	0.133 ± 0.006	0.060 ± 0.005	1.011 ± 0.016	0.088 ± 0.007	0.027 ± 0.001	0.265 ± 0.006
	松原田中石線267群	52	2.881 ± 0.078	2.928 ± 0.081	0.113 ± 0.006	15.960 ± 0.589	1.022 ± 0.078	1.467 ± 0.069	1.587 ± 0.089	0.184 ± 0.040	0.108 ± 0.004	1.137 ± 0.043
	松原田中石線271群	53	0.910 ± 0.137	0.706 ± 0.226	0.029 ± 0.003	2.384 ± 0.199	0.370 ± 0.027	0.052 ± 0.009	1.048 ± 0.381	0.040 ± 0.024	0.056 ± 0.005	1.073 ± 0.105
岡山県	松原田中石線287群	48	0.290 ± 0.013	0.435 ± 0.007	0.049 ± 0.003	3.024 ± 0.112	0.106 ± 0.009	0.031 ± 0.002	0.651 ± 0.013	0.022 ± 0.009	0.013 ± 0.001	0.115 ± 0.002
	松原田中石線325群	48	1.291 ± 0.138	1.353 ± 0.148	0.214 ± 0.016	5.111 ± 0.297	0.262 ± 0.026	0.039 ± 0.005	0.682 ± 0.048	0.044 ± 0.015	0.049 ± 0.005	0.738 ± 0.072
	松原田中石線334群	53	3.556 ± 0.149	3.240 ± 0.117	0.085 ± 0.015	13.923 ± 2.342	1.358 ± 0.216	0.149 ± 0.019	1.998 ± 0.061	0.159 ± 0.040	0.110 ± 0.003	1.133 ± 0.057
	松原田中石線B群	54	3.233 ± 0.311	3.095 ± 0.168	0.098 ± 0.019	14.835 ± 2.074	1.332 ± 0.172	0.145 ± 0.016	1.957 ± 0.072	0.170 ± 0.041	0.110 ± 0.003	1.144 ± 0.055
	松原田中対状213群	48	6.746 ± 0.141	0.964 ± 0.031	0.153 ± 0.047	20.305 ± 4.316	4.138 ± 0.887	0.580 ± 0.102	5.749 ± 1.192	0.263 ± 0.197	0.095 ± 0.003	2.072 ± 0.067
	松原田中対状216群	48	0.108 ± 0.007	0.218 ± 0.044	0.517 ± 0.029	31.384 ± 2.335	0.057 ± 0.010	0.081 ± 0.012	0.706 ± 0.015	0.010 ± 0.008	0.471 ± 0.005	2.344 ± 0.017
	松原田中対状217.2群	48	0.375 ± 0.010	0.576 ± 0.009	0.016 ± 0.002	1.643 ± 0.018	0.079 ± 0.008	0.016 ± 0.002	0.824 ± 0.012	0.053 ± 0.008	0.021 ± 0.001	0.202 ± 0.003
	松原田中対状219群	47	0.308 ± 0.020	0.435 ± 0.026	0.592 ± 0.021	19.231 ± 0.449	0.063 ± 0.013	0.110 ± 0.022	0.666 ± 0.029	0.009 ± 0.008	0.999 ± 0.050	6.446 ± 0.041
	松原田中対片1465群	48	0.177 ± 0.010	0.430 ± 0.025	0.056 ± 0.003	3.257 ± 0.154	0.099 ± 0.008	0.018 ± 0.002	0.503 ± 0.020	0.009 ± 0.007	0.014 ± 0.001	0.107 ± 0.003
	大柄石2197群	45	2.538 ± 0.030	2.085 ± 0.014	0.116 ± 0.005	12.150 ± 0.438	1.089 ± 0.039	0.136 ± 0.010	1.799 ± 0.069	0.205 ± 0.041	0.094 ± 0.001	1.152 ± 0.015
広島県	大柄石2918群	45	0.681 ± 0.006	0.220 ± 0.002	0.085 ± 0.002	5.841 ± 0.057	0.027 ± 0.003	0.034 ± 0.006	0.336 ± 0.006	0.006 ± 0.005	0.011 ± 0.001	0.083 ± 0.001
	大柄石6' - 2559群	45	0.475 ± 0.045	0.865 ± 0.071	0.036 ± 0.003	4.053 ± 0.321	0.083 ± 0.013	0.073 ± 0.012	1.121 ± 0.384	0.032 ± 0.014	0.086 ± 0.001	1.080 ± 0.041
	大柄石7' 217群	45	0.497 ± 0.015	0.621 ± 0.017	0.025 ± 0.001	2.311 ± 0.039	0.049 ± 0.004	0.014 ± 0.004	0.498 ± 0.010	0.007 ± 0.004	0.031 ± 0.001	0.261 ± 0.007
	大柄石7' 288群	45	0.763 ± 0.265	2.212 ± 0.634	0.138 ± 0.023	13.371 ± 1.638	0.220 ± 0.030	0.127 ± 0.021	1.335 ± 0.152	0.235 ± 0.036	0.031 ± 0.008	0.175 ± 0.045
	大柄石7' 417群	45	0.762 ± 0.265	2.586 ± 0.417群	0.091 ± 0.017	9.264 ± 2.173	0.138 ± 0.013	0.087 ± 0.015	1.091 ± 0.223	0.186 ± 0.046	0.048 ± 0.007	0.373 ± 0.091
	大柄石7' 497群	45	0.458 ± 0.021	0.723 ± 0.010	0.028 ± 0.002	3.992 ± 0.304	0.056 ± 0.005	0.036 ± 0.004	0.552 ± 0.006	0.008 ± 0.005	0.038 ± 0.003	0.282 ± 0.011
	大柄石7' 958群	46	2.807 ± 0.083	2.487 ± 0.107	0.085 ± 0.004	4.007 ± 0.549	0.410 ± 0.047	0.064 ± 0.006	0.802 ± 0.098	0.048 ± 0.017	0.131 ± 0.022	1.575 ± 0.037
	津雲風化金山西群	47	0.364 ± 0.097	0.209 ± 0.050	0.075 ± 0.003	4.446 ± 0.152	0.273 ± 0.010	0.079 ± 0.006	1.094 ± 0.023	0.021 ± 0.010	0.021 ± 0.002	0.146 ± 0.027
	黄島風化白砂群	48	0.310 ± 0.098	0.187 ± 0.067	0.052 ± 0.004	3.241 ± 0.117	0.333 ± 0.022	0.050 ± 0.005	1.077 ± 0.044	0.043 ± 0.014	0.017 ± 0.004	0.127 ± 0.036
	津雲風化金山東群	66	0.396 ± 0.046	0.204 ± 0.015	0.077 ± 0.005	4.361 ± 0.183	0.295 ± 0.012	0.081 ± 0.006	1.159 ± 0.022	0.022 ± 0.009	0.023 ± 0.001	0.157 ± 0.014
山口県	中津風化松ノ木群	47	0.556 ± 0.031	0.199 ± 0.006	0.073 ± 0.003	4.251 ± 0.117	0.323 ± 0.013	0.064 ± 0.006	1.146 ± 0.024	0.018 ± 0.009	0.023 ± 0.001	0.168 ± 0.006
	津雲風化金山西群	49	0.323 ± 0.016	0.236 ± 0.008	0.073 ± 0.005	4.300 ± 0.089	0.271 ± 0.014	0.076 ± 0.007	1.059 ± 0.036	0.022 ± 0.010	0.020 ± 0.001	0.132 ± 0.005
	津雲風化金山東群	46	0.388 ± 0.038	0.195 ± 0.016	0.080 ± 0.006	4.307 ± 0.165	0.291 ± 0.011	0.082 ± 0.005	1.165 ± 0.022	0.023 ± 0.008	0.023 ± 0.008	0.156 ± 0.013
	津雲風化金山西群	47	0.371 ± 0.017	0.205 ± 0.006	0.078 ± 0.002	4.409 ± 0.111	0.286 ± 0.012	0.079 ± 0.006	1.130 ± 0.036	0.022 ± 0.010	0.022 ± 0.001	0.154 ± 0.004
	津雲風化金山東	45	0.406 ± 0.047	0.197 ± 0.017	0.076 ± 0.004	4.322 ± 0.174	0.293 ± 0.011	0.083 ± 0.006	1.173 ± 0.029	0.023 ± 0.012	0.023 ± 0.001	0.162 ± 0.015
	津雲風化金山西	48	0.361 ± 0.011	0.190 ± 0.011	0.079 ± 0.002	4.426 ± 0.075	0.288 ± 0.010	0.080 ± 0.006	1.144 ± 0.020	0.025 ± 0.010	0.022 ± 0.001	0.145 ± 0.002
	南元風化金山東	45	0.368 ± 0.031	0.185 ± 0.013	0.074 ± 0.006	4.304 ± 0.146	0.286 ± 0.014	0.080 ± 0.010	1.146 ± 0.010	0.022 ± 0.011	0.022 ± 0.001	0.150 ± 0.011
	南元風化松ノ木群	46	0.491 ± 0.037	0.182 ± 0.005	0.073 ± 0.003	4.312 ± 0.073	0.317 ± 0.013	0.061 ± 0.007	1.130 ± 0.018	0.018 ± 0.010	0.022 ± 0.001	0.153 ± 0.007
	熊鷹・梅見山	54	0.171 ± 0.035	0.532 ± 0.066	0.064 ± 0.014	5.746 ± 0.447	0.081 ± 0.015	0.030 ± 0.005	0.651 ± 0.036	0.067 ± 0.010	0.076 ± 0.001	0.063 ± 0.008
	広大群風化金山東群	52	0.392 ± 0.044	0.191 ± 0.013	0.078 ± 0.005	4.321 ± 0.237	0.289 ± 0.011	0.082 ± 0.007	1.153 ± 0.020	0.022 ± 0.010	0.021 ± 0.002	0.149 ± 0.015
香川県	広大群風化金山東	48	1.042 ± 0.031	0.461 ± 0.012	0.032 ± 0.002	1.968 ± 0.054	0.259 ± 0.007	0.028 ± 0.003	0.519 ± 0.010	0.222 ± 0.014	0.035 ± 0.002	0.357 ± 0.017
	広大群風化金山高原	52	0.571 ± 0.010	0.471 ± 0.009	0.045 ± 0.001	2.994 ± 0.030	0.184 ± 0.008	0.034 ± 0.004	0.459 ± 0.009	0.163 ± 0.009	0.022 ± 0.001	0.216 ± 0.002
	広大群風化金山東	48	0.264 ± 0.024	0.346 ± 0.029	0.019 ± 0.001	1.460 ± 0.036	0.036 ± 0.004	0.008 ± 0.001	0.402 ± 0.016	0.015 ± 0.003	0.018 ± 0.001	0.144 ± 0.005
	広大群風化金山西	49	0.368 ± 0.034	0.189 ± 0.008	0.079 ± 0.004	4.420 ± 0.166	0.282 ± 0.012	0.078 ± 0.008	1.121 ± 0.040	0.023 ± 0.009	0.021 ± 0.001	0.147 ± 0.007
	絶峰風化金山東	47	1.204 ± 0.099	0.507 ± 0.035	0.032 ± 0.002	2.003 ± 0.080	0.263 ± 0.009	0.028 ± 0.003	0.523 ± 0.011	0.216 ± 0.015	0.038 ± 0.002	0.406 ± 0.020
	絶峰風化金山東群	47	0.602 ± 0.079	0.268 ± 0.012	0.080 ± 0.004	4.441 ± 0.177	0.308 ± 0.012	0.083 ± 0.006	1.200 ± 0.023	0.023 ± 0.010	0.025 ± 0.001	0.209 ± 0.013
	絶峰風化金山東	46	0.529 ± 0.019	0.699 ± 0.034	0.017 ± 0.001	1.494 ± 0.031	0.041 ± 0.004	0.008 ± 0.002	0.406 ± 0.006	0.021 ± 0.004	0.025 ± 0.001	0.259 ± 0.008
	絶峰新面群片18群	46	0.562 ± 0.008	0.450 ± 0.005	0.046 ± 0.001	3.151 ± 0.047	0.149					



## 4 分析結果

第16・17表に分析結果を示した。更に表1に、産地同定結果としてホテリングのT2乗検定結果(定性的信頼限界である0.1%以上の帰属確率を示す原石群)、定量(5%)判定結果(定量的信頼限界である5%以上の帰属確率を示す原石群)として示している。

今回分析した試料の中で、試料番号13,14,19,26を除く試料は全て金山産地中のどこかの原石群に同定された。試料番号13,14は五色台産地の国分寺、連光寺群、試料番号19は五色台産地の法印谷群、来峰1群と推測され、試料番号26は五色台産地の白峰群、淡路島の岩屋産地で採取できる岩屋第2群の円礫の成分と一致した。金山産地と同定された複数の地点で、同時に定量的(5%以上)に同定された原石産地(原石群)をみると、最も多い同定結果は金山東と金山東南で、金山南と金山西は一組であった。また、金山東群を作った原石は香川県坂出市に位置する金山東麓を中心にした広い地域から採取されている。

今回の同定結果に一致する原石が岩屋、和泉・岸和田、梅原の原産地(藁科, 2015)からも採取されることから、一遺跡から複数の遺物を分析し、それぞれの群に帰属される頻度分布を求めて、岩屋、和泉・岸和田、梅原原産地の原石が使用されたかどうかを判断しなければならない。一方、今回の試料中には岩屋、和泉・岸和田、梅原原産地で多く産出している岩屋第1群、和泉・梅原群に同定された遺物が見られないことから、岩屋、和泉・岸和田、梅原原産地の原石が使用されていなかったと判断できる。したがって、北野遺跡では金山地域、五色台地域以外の日本各地の原石・遺物群が伝搬していなかったと言うことができる。

また、分析試料が「安山岩」であるか「サヌカイト」であるかの判別は、斑晶や古銅輝石の有無で行われ、肉眼では難しい。一方比較に用いた原石群(金山東、国分寺、白峰、法印谷の原石)は「サヌカイト」であった。分析試料の化合物濃度がこれらの原石と一致したことから、間接的であるが今回の分析試料が「サヌカイト」である可能性は高いと言える。

番号	注記番号	遺構	器種	分析番号	化合物濃度の相対含有百分率 (wt / %)												
					Al2O3	SiO2	K2O	CaO	TiO2	MnO	FeO	Rb	Sr	Y	Zr	Nb	Ba
1	D0091	SD24	剥片	129801	22.089	59.616	3.558	5.5	0.622	0.216	8.212	0.022	0.049	0.004	0.036	0.002	0.077
2	D0117	SD24	剥片	129802	21.966	59.769	3.551	5.422	0.635	0.213	8.188	0.021	0.048	0.004	0.035	0.001	0.065
3	D0089	SD24	剥片	129803	22.005	59.812	3.578	5.378	0.619	0.212	8.076	0.022	0.048	0.004	0.035	0.001	0.076
4	D0089	SD24	剥片	129804	21.956	59.429	3.679	5.595	0.635	0.223	8.452	0.022	0.049	0.004	0.037	0.002	0.073
5	D0134	SD24	剥片	129805	21.576	59.901	3.576	5.583	0.642	0.217	8.184	0.021	0.048	0.004	0.036	0.001	0.075
6	D0082	SD24	剥片	129806	21.66	59.783	3.575	5.529	0.65	0.213	8.395	0.021	0.049	0.004	0.036	0.001	0.056
7	D0098	SD24	石核	129807	21.84	59.881	3.535	5.425	0.617	0.211	8.146	0.022	0.049	0.004	0.037	0.002	0.085
8	D0116	SD24	剥片	129808	21.885	59.851	3.497	5.491	0.642	0.209	8.124	0.021	0.048	0.004	0.035	0.001	0.058
9	D0115	SD24	石核	129809	21.942	59.647	3.634	5.469	0.644	0.211	8.265	0.021	0.048	0.004	0.036	0.001	0.076
10	D0099	SD24	剥片	129810	21.721	59.766	3.821	5.406	0.633	0.217	8.169	0.021	0.049	0.004	0.036	0.001	0.068
11	D0095	SD24	剥片	129811	21.607	59.825	3.55	5.574	0.663	0.214	8.333	0.021	0.049	0.004	0.036	0.001	0.064
12	0095	SD24	石核	129812	21.822	59.766	3.546	5.505	0.658	0.211	8.254	0.021	0.048	0.003	0.036	0.001	0.072
13	D0100	SD24	剥片	129813	21.393	60.805	3.542	5.465	0.718	0.178	6.805	0.021	0.048	0.003	0.033	0.002	0.073
14	D0142	SD24	石核	129814	21.237	60.619	3.623	5.689	0.747	0.182	6.945	0.021	0.05	0.004	0.033	0.002	0.073
15	0074	SD24	剥片	129815	21.712	59.871	3.577	5.442	0.644	0.213	8.263	0.022	0.049	0.004	0.036	0.002	0.059
16	D0118	SD24	剥片	129816	21.779	59.78	3.543	5.646	0.642	0.215	8.116	0.022	0.05	0.004	0.037	0.002	0.075
17	D0114	SD24	剥片	129817	21.921	59.78	3.617	5.435	0.631	0.211	8.112	0.021	0.048	0.004	0.035	0.002	0.076
18	D0123	SD24	剥片	129818	21.939	59.646	3.529	5.584	0.63	0.217	8.276	0.021	0.049	0.004	0.037	0.002	0.075
19	D0123	SD24	石核	129819	21.985	59.029	3.379	6.201	0.781	0.204	8.677	0.021	0.05	0.004	0.037	0.002	0.08
20	D0133	SD24	剥片	129820	21.973	59.649	3.617	5.45	0.631	0.221	8.274	0.022	0.049	0.004	0.036	0.002	0.074
21	D0133	SD24	剥片	129821	21.818	59.712	3.596	5.477	0.646	0.213	8.348	0.021	0.048	0.004	0.036	0.001	0.07
22	0108	SD24	剥片	129822	21.797	59.891	3.574	5.393	0.641	0.211	8.169	0.021	0.048	0.004	0.036	0.002	0.069
23	0108	SD24	剥片	129823	21.679	59.482	3.599	5.742	0.656	0.217	8.621	0.022	0.049	0.004	0.036	0.002	0.072
24	0108	SD24	剥片	129824	21.857	59.688	3.55	5.548	0.641	0.213	8.315	0.021	0.048	0.003	0.035	0.002	0.073
25	0095	SD24	剥片	129825	21.986	59.871	3.495	5.354	0.626	0.211	8.125	0.022	0.049	0.004	0.036	0.002	0.071
26	0095	SD24	剥片	129826	21.363	61.349	3.627	4.985	0.654	0.178	6.344	0.021	0.047	0.004	0.034	0.002	0.074
27	0095	SD24	石核	129827	21.885	59.695	3.585	5.481	0.623	0.218	8.301	0.022	0.05	0.004	0.037	0.002	0.085
28	0095	SD24	剥片	129828	21.874	59.801	3.543	5.489	0.611	0.216	8.18	0.021	0.048	0.004	0.036	0.002	0.076
29	108	SD24	石核	129829	21.922	59.618	3.584	5.565	0.637	0.212	8.29	0.021	0.048	0.004	0.036	0.002	0.082
30	D0134	SD24	剥片	129830	21.685	59.712	3.624	5.504	0.639	0.219	8.442	0.022	0.05	0.004	0.037	0.002	0.079

第16表 分析結果(化合物濃度の相対含有百分率 (wt/%))

番号	注記番号	遺構	器種	分析番号	元 素 比									
					K/Ca	Ti/Ca	Mn/Sr	Fe/Sr	Rb/Sr	Y/Sr	Zr/Sr	Nb/Sr	Al/Ca	Si/Ca
1	D0091	SD24	剥片	129801	0.441	0.212	0.079	4.441	0.305	0.088	1.176	0.031	0.024	0.178
2	D0117	SD24	剥片	129802	0.443	0.216	0.076	4.469	0.276	0.07	1.162	0.018	0.024	0.182
3	D0089	SD24	剥片	129803	0.455	0.217	0.08	4.506	0.306	0.081	1.165	0.025	0.024	0.184
4	D0089	SD24	剥片	129804	0.449	0.212	0.085	4.563	0.296	0.089	1.173	0.012	0.023	0.175
5	D0134	SD24	剥片	129805	0.437	0.216	0.084	4.522	0.299	0.085	1.193	0.02	0.023	0.178
6	D0082	SD24	剥片	129806	0.447	0.218	0.083	4.516	0.297	0.09	1.155	0.036	0.023	0.178
7	D0098	SD24	石核	129807	0.45	0.222	0.078	4.444	0.29	0.077	1.186	0.037	0.024	0.185
8	D0116	SD24	剥片	129808	0.438	0.217	0.081	4.456	0.301	0.08	1.15	0.021	0.024	0.181
9	D0115	SD24	石核	129809	0.458	0.221	0.075	4.426	0.292	0.083	1.151	0.025	0.025	0.181
10	D0099	SD24	剥片	129810	0.491	0.22	0.074	4.385	0.288	0.087	1.162	0.026	0.024	0.183
11	D0095	SD24	剥片	129811	0.441	0.215	0.075	4.508	0.293	0.096	1.18	0.012	0.023	0.178
12	0095	SD24	石核	129812	0.44	0.224	0.079	4.518	0.306	0.082	1.165	0.021	0.024	0.179
13	D0100	SD24	石核	129813	0.435	0.247	0.059	3.581	0.314	0.058	1.035	0.02	0.02	0.184
14	D0142	SD24	石核	129814	0.43	0.248	0.06	3.598	0.31	0.055	0.998	0.046	0.02	0.177
15	0074	SD24	剥片	129815	0.445	0.222	0.079	4.472	0.291	0.089	1.164	0.011	0.024	0.18
16	D0118	SD24	剥片	129816	0.445	0.224	0.079	4.46	0.313	0.082	1.149	0.018	0.024	0.181
17	D0114	SD24	剥片	129817	0.45	0.217	0.078	4.429	0.309	0.082	1.158	0.011	0.024	0.183
18	D0123	SD24	剥片	129818	0.432	0.217	0.078	4.527	0.292	0.088	1.172	0	0.023	0.175
19	D0123	SD24	石核	129819	0.367	0.242	0.075	4.685	0.276	0.069	1.171	0.051	0.017	0.151
20	D0133	SD24	剥片	129820	0.453	0.215	0.082	4.533	0.309	0.078	1.164	0.015	0.024	0.18
21	D0133	SD24	剥片	129821	0.449	0.219	0.078	4.541	0.282	0.092	1.17	0.022	0.024	0.179
22	0108	SD24	剥片	129822	0.453	0.219	0.079	4.574	0.284	0.083	1.198	0.013	0.024	0.183
23	0108	SD24	剥片	129823	0.439	0.216	0.076	4.703	0.274	0.079	1.157	0.01	0.024	0.173
24	0108	SD24	剥片	129824	0.434	0.216	0.082	4.685	0.301	0.074	1.178	0.027	0.023	0.176
25	0095	SD24	剥片	129825	0.435	0.221	0.084	4.6	0.303	0.087	1.197	0.019	0.024	0.186
26	0095	SD24	剥片	129826	0.508	0.255	0.055	3.512	0.343	0.051	1.156	0.027	0.021	0.209
27	0095	SD24	石核	129827	0.448	0.217	0.082	4.584	0.3	0.082	1.19	0.013	0.023	0.18
28	0095	SD24	剥片	129828	0.443	0.21	0.083	4.487	0.292	0.085	1.183	0.004	0.024	0.181
29	108	SD24	石核	129829	0.438	0.219	0.08	4.53	0.295	0.083	1.183	0.029	0.023	0.176
30	D0134	SD24	剥片	129830	0.449	0.217	0.081	4.553	0.286	0.086	1.182	0.025	0.023	0.179

JG-1 : 標準試料 -Ando,A.,Kurasawa,H.,Ohmori,T.& Takeda,E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical referencesamples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol.8 175-192 (1974)

## 第 17 表 分析結果 (元素比)

### 参考文献

東村武信 (1976) 産地推定における統計的手法. 考古学と自然科学, 9, 77-90.

東村武信 (1980) 考古学と物理化学. 212p., 学生社. 東京

藁科哲男 (2015) 安山岩製石針の石材産地同定. 常松菅田遺跡 I 一般国道 9 号 (鳥取西道路) の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書, 18, 192-203. 鳥取県教育委員会.

藁科哲男・東村武信 (1975) 蛍光 X 線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定 (II). 考古学と自然科学, 8, 61-69.

藁科哲男・東村武信 (1983) 石器原材の産地分析. 考古学と自然科学, 16, 59-89.

藁科哲男・東村武信・鎌木義昌 (1977) 蛍光 X 線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定 (III). 考古学と自然科学, 10, 53-81.

藁科哲男・東村武信・鎌木義昌 (1978) 蛍光 X 線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定 (IV). 考古学と自然科学, 11, 33-47.

渡辺正巳 (文化財調査コンサルタント株式会社)

## 第6章 総括

### 第1節 北野遺跡、鎌野西遺跡の遺構の変遷

#### 1 縄文時代晩期～弥生時代前期前半

北野遺跡で自然河川 SR01 が形成される。鎌野西遺跡北端部の SD202・203、SX201 も北野遺跡 SR01 に連続する自然河川の可能性がある。北野遺跡では SR01 の両岸に水田 SN01 が設けられる。SN01 は SR01 に近いほど標高が低いいため、調査地外の東・西に SN01 への導水施設が存在したと推測される。近隣に集落があるとすれば、導水施設よりもさらに標高の高い位置になるだろう。

#### 2 弥生時代前期後半

北野遺跡 SR01 埋没後に SD07・09・13 などの溝群が形成される。溝群のなかでも比較的規模の大きな溝、北野遺跡 SD07 は南西から北東方向に流下する。北野遺跡のやや小規模な溝 SD17・08～11・13・14 は SD07 から分岐、又は SD07 へ合流しており、当該地域周辺では SD07 が中心的な溝とみられる。これらの溝群は、水田への導水などを目的とした水路群と考えられるが、調査地内では同時期の水田は確認されていない。やや南に離れるが、鎌野西遺跡 SD001・002 も同様の水路だろう。

北野遺跡の北側では、自然河川 SR04 と、SR04 に流れ込む溝 SD24～26 が形成される。SD24 からは廃棄されたとみられる多量の土器や石器が出土しており、近隣での居住域の存在が推測されるが、調査地内で竪穴建物などは確認されていない。また、当該期の居住域には環濠を巡らせる例が多いが（註1）、SR04 や SD24～26 が環濠を構成するとは考えにくい。調査地外のより標高の高い場所に居住域が存在するとみたい。

#### 3 弥生時代後期

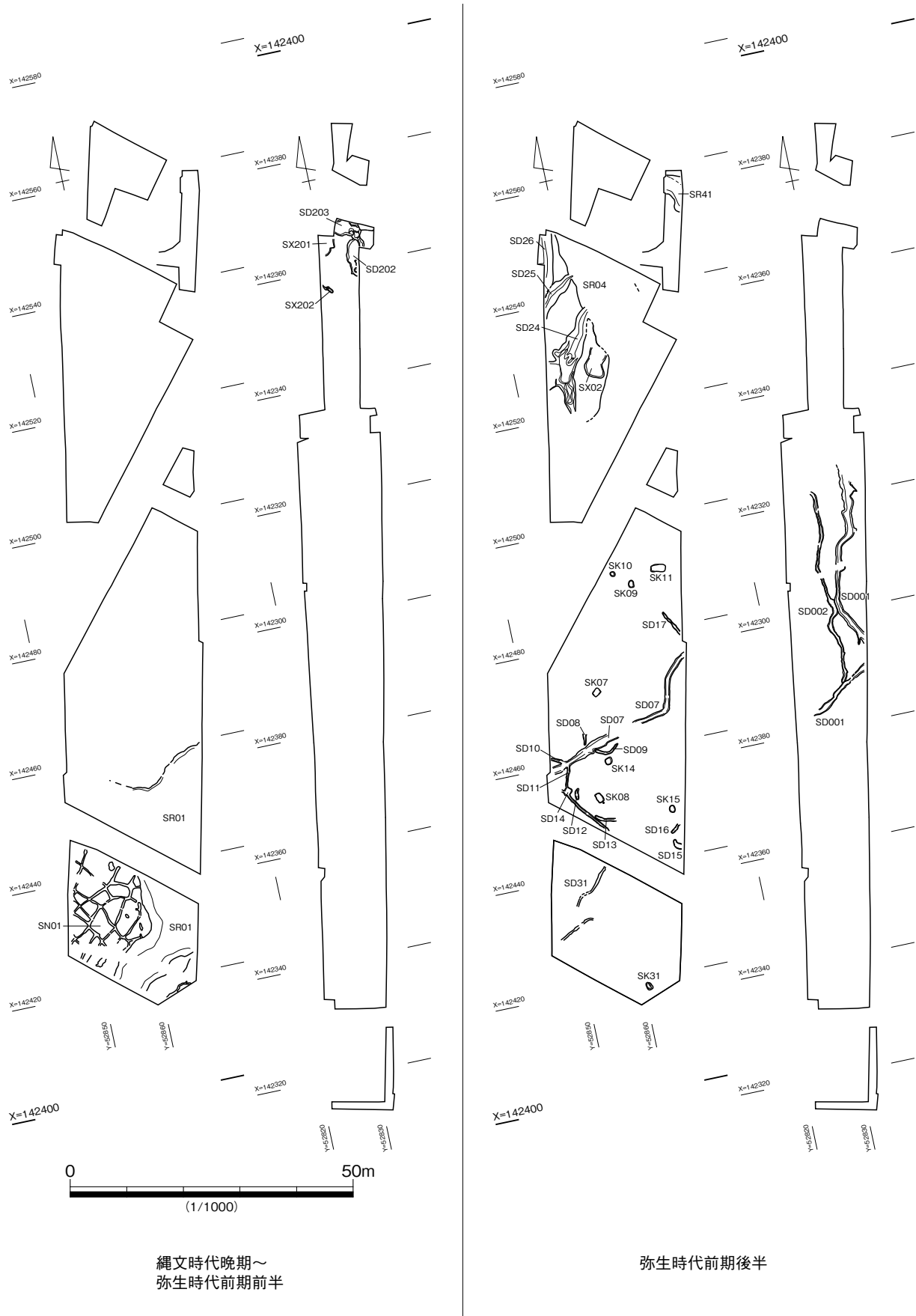
北野遺跡 SR04 は引き続き自然河川として機能する。周辺の等高線に沿う方向で北野遺跡 SD05 や鎌野西遺跡 SD201・003・007 などが流れる。鎌野西遺跡南部の SD102～106 の時期は不明だが、当該時期の可能性はある。

#### 4 古墳時代～古代

古墳時代後期までは北野遺跡の自然河川 SR04 は機能し、古代のどこかの段階で窪み状になっている可能性がある。それ以外の遺構は希薄である。

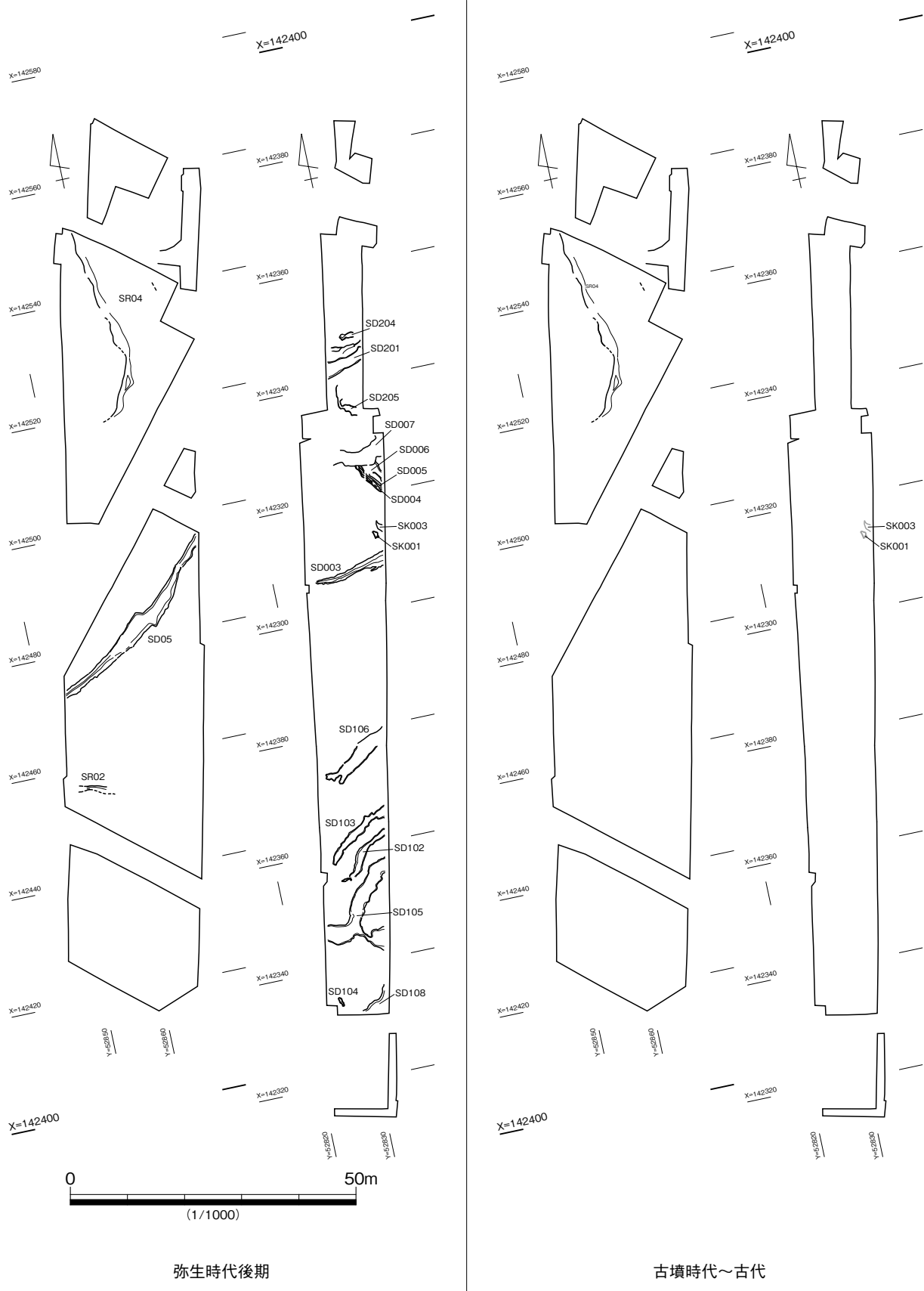
#### 5 中世

北野遺跡の自然河川 SR04 は埋没し、その最上層には窪み状に SR03 が形成される。SR03 は水田として利用され、左岸際には水田への導水路と推測される SD19 が設けられる。SD18 などは SD19 から分岐した溝だろう。

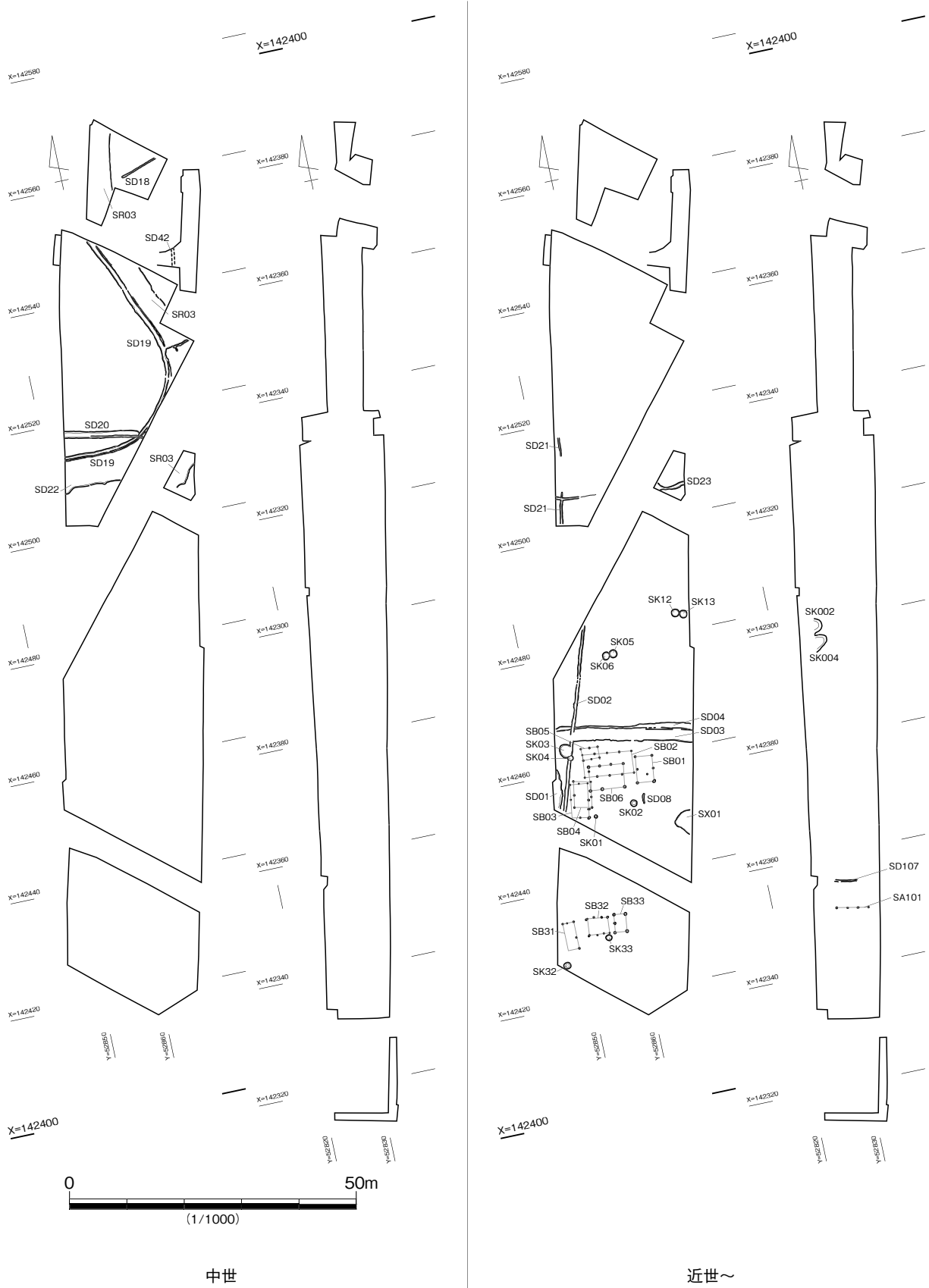


第 105 図 北野遺跡・鎌野西遺跡

時期別遺構配置図 (縄文時代晩期～弥生時代前期前半・弥生時代前期後半)



第 106 図 北野遺跡・鎌野西遺跡 時期別遺構配置図 (弥生時代後期・古墳時代～古代)



第 107 図 北野遺跡・鎌野西遺跡 時期別遺構配置図（中世・近世以降）

## 6 近世

北野遺跡南部では、東西方向の石組の溝の南側に、掘立柱建物 SB01～06・31～33 が建てられる。数回の建て替えがあるため、一定期間、この空間が屋敷として機能していたと考えられる。それ以外の場所では、鎌野西遺跡 SA001 を除いて、土坑や溝がわずかに認められる程度である。屋敷地以外は、おそらく田畑として利用されていたと推測される。

註

1 高松平野では、鬼無・藤井遺跡、汲仏遺跡、天満・宮西遺跡で環濠が確認されている。

### 第2節 北野遺跡水田 SN01 における区画設定と小畦畔の接合形態

#### 1 はじめに

北野遺跡では、自然河川 SR01 の左右両岸で弥生時代前期前半の水田 SN01 が検出された。SR01 左岸で 28 区画（水田ブロック A）、右岸で 1 区画（水田ブロック B）である。水田ブロック A では、平面配置の軸となるような幹線小畦畔（註 1）は認められず、区画の平面形状は四角形を志向しながらも不定形である。基本的に水口をもたないため、各区画へは畦越しに配水されていたことが確実である。水田ブロック A では、SR01 に近づくにしたがって標高が下がるため、SR01 は排水機能を有している。水田ブロック B でも SR01 から取水した痕跡は認められないため、排水は SR01 が担っていたと考えられる。各水田ブロックへの取水は、水田よりも標高の高い場所、すなわち水田ブロック A では調査地外の西方、水田ブロック B では調査地外の東方に推測される水路に求められる。

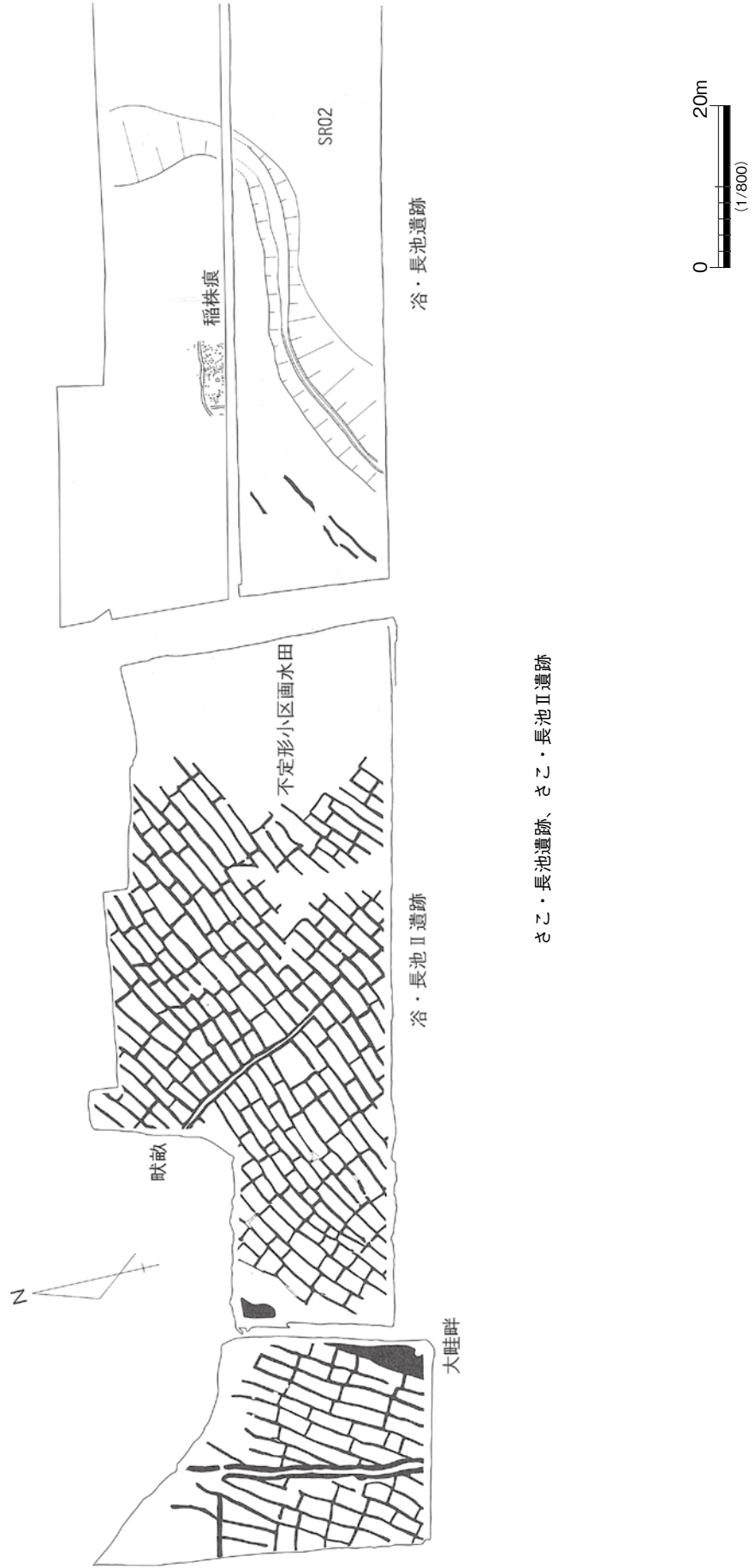
本節では、北野遺跡 SN01 について、香川県内で確認された弥生時代前期の水田のうち、小畦畔や区画の形状がある程度判明した事例と比較したい。

#### 2 香川県内における弥生時代前期の水田

さこ・長池Ⅱ遺跡及び、隣接するさこ・長池遺跡（高松市）1・3区では、自然河川 SR02 の後背湿地に水田が形成されている。水田面直上の洪水砂層からは中期中葉の弥生土器が出土し、水田面を破壊して掘り込まれる土坑は前期末～中期初頭である。よって水田の時期は弥生時代前期後半としておきたい。さこ・長池Ⅱ遺跡、さこ・長池遺跡 1・3区の水田は、等高線に直交して幹線小畦畔が築かれ、幹線小畦畔に直交する支線小畦畔で区画が設けられている。水口は基本的には認められないため、各区画への配水は畦越しであったようだ。区画内にある小規模な溝は導水を目的とするものではない。大畦畔も構築されている。

さこ・長池遺跡 2・4区の水田は、自然河川 SR01 西岸の窪み（後背湿地か）に立地する水田は、直上の洪水砂層が前期末の弥生土器を含むため、前期後半と考えられる。幹線小畦畔は等高線に直交し、幹線小畦畔間は支線小畦畔で区切られる。各区画は長方形に近い平面形となっている。水口は認められない。

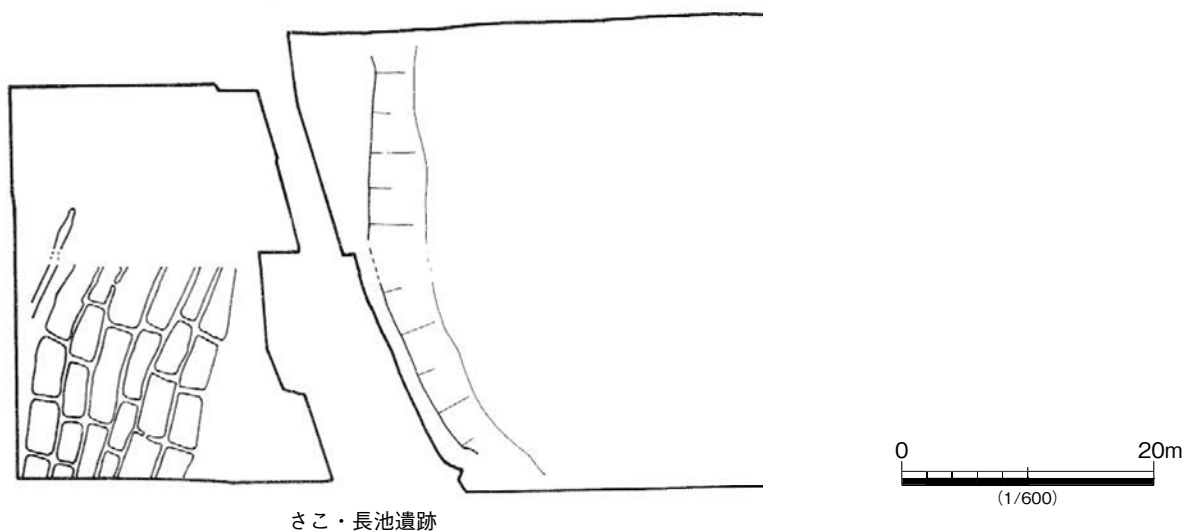
上西原遺跡（高松市）における区画の幹線小畦畔は等高線に直交し、幹線小畦畔間に支線小畦畔が設置される。区画平面形は幹線小畦畔に沿って長方形を呈する。区画から約 40m 離れて大畦畔と溝が確認されており、報告書では大畦畔付近にも区画が存在していた可能性が示唆されている。区画直上層と大畦畔直上層は同一（細礫層）で、大畦畔直上から弥生時代前期前半の突帯文系土器が出土している。



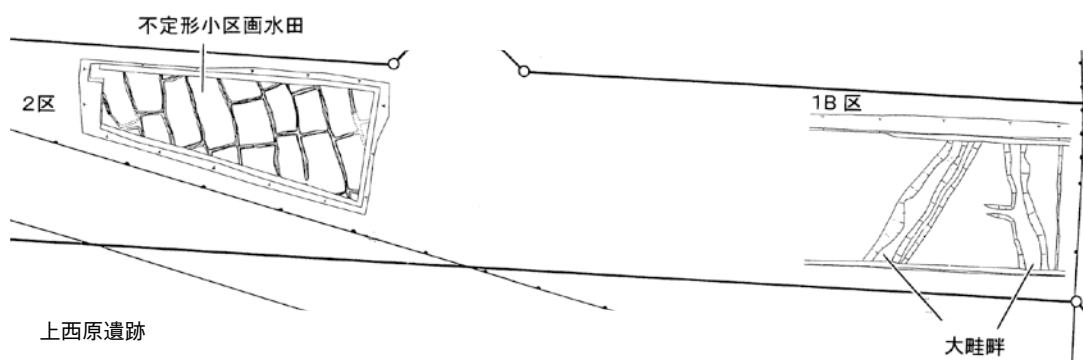
さこ・長池遺跡、さこ・長池II遺跡

第108図 弥生時代前期の水田 1



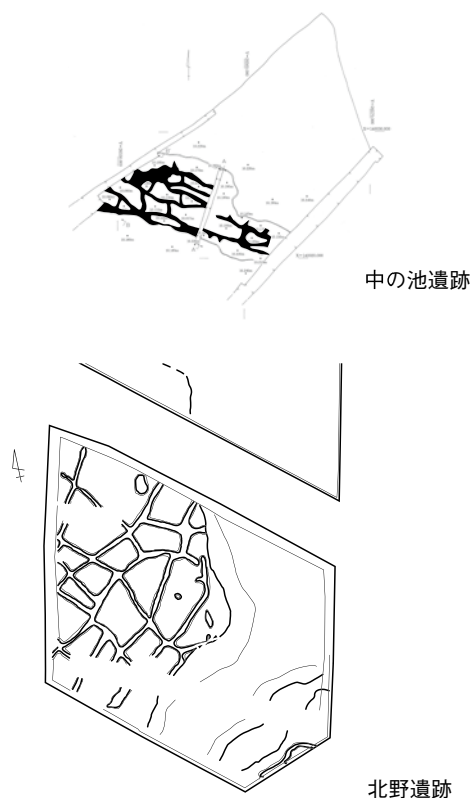


さこ・長池遺跡



上西原遺跡

大畦畔



中の池遺跡

北野遺跡



川津下樋遺跡

第109図 弥生時代前期の水田 2

図化はされていないが、報告書によれば前期の弥生土器も出土しているという。よって、上西原遺跡の水田を弥生時代前期前半としておく。

川津下樋遺跡（坂出市）の水田 SZ01 においても、幹線小畦畔は等高線に直交し、その間に支線小畦畔が設けられる。各区画の平面形は正方形に近い長方形である。区画群は3辺を大畦畔で囲まれる。各区画には水口があり、配水は畦越しではなかったようだ。出土遺物と遺構の先後関係からは、水田 SZ01 の時期について、縄文時代晩期後半～弥生時代中期中葉と時期幅をもたざるをえないが、報告書では弥生時代前期と強調している。前期と強調する根拠は、同一調査地内の自然河川 SR01 の井堰2（弥生時代前期後半）から取水する溝 SD19 が水田を破壊している点と推測される。この点を首肯し、本報告書でも SZ01 を SR01 井堰と同時期の弥生時代前期後半とする。

中の池遺跡（丸亀市）11 次第 4 調査区 B・C 区第 3 遺構面下層水田は、自然河川最終堆積時の浅谷に形成されている。各区画の平面形がいびつながらも、等高線に直交する幹線小畦畔間が支線小畦畔で区切られる。この水田と同時期とされる 9 次調査下層水田の作土層や被覆層からは弥生時代前期の土器底部が出土している。このため、11 次調査下層水田については弥生時代前期と考えられる。

以上の 5 例では区画設定と小畦畔接合形状が共通する。等高線に直交して幹線小畦畔を設け、幹線小畦畔間を支線小畦畔で区切るかたちである。各区画は幹線小畦畔に沿う方向に長辺をもつ長方形に近い平面形となり、畦畔の交差部は「T」字状を呈する。こうした小畦畔接合形態は、江浦洋による分類では B-2 類に該当する。江浦は、B-2 類の特徴として「非常に緩やかな斜面地形の部分に多い」点、「基本的には幹線畦畔に沿った直線的な配水を基本とするが、支線畦畔を互い違いにすることによって結果的に周囲すべての水田と接することとなり、多方向への配水が可能になっている」点を挙げている（江浦 1991, pp.9-10）。香川県内の弥生時代前期の水田は B-2 類が基本的な小畦畔接合形態接合で、水田が立地するのは自然河川の後背湿地など緩い斜面地形である（註 2）。

### 3 北野遺跡の小畦畔接合形態

北野遺跡 SN01 は、等高線に直交する幹線小畦畔が明瞭ではなく、小畦畔の接合部分も「十」形や「Y」形を呈し、B-2 類とは言い切れない。この理由として水田が形成された場所の地点の傾斜の差、又は自然河川の屈曲部に接する点が考えられる。これらについて順に検討したい。

北野遺跡 SN01 の区画 1 と区画 20 の距離と標高差は 15m で約 0.1m である。川津下樋遺跡 SZ01 では 15m で約 0.13m の標高差、さこ・長池Ⅱ遺跡では 15m で 0.1m 前後の標高差であるため、北野遺跡 SN01 が川津下樋遺跡やさこ・長池Ⅱ遺跡と比べて特に急な勾配を有するわけではなく、不定形な区画の理由を傾斜の差に求めることは難しい。

北野遺跡 SN01 は、SN01 機能後の流路である SR01 河道 3 によって多少は破壊されていると考えられる。ただし、SN01 と同時期に機能していた SR01 河道 2 が検出時とさほど変わらない流路形状であれば、破壊された面積はわずかであろう。こうした前提に立った場合、区画 19～28 の北東-南西方向の小畦畔は SR01 の屈曲に影響を受けているように見える。各区画の標高から推測した取排水経路を矢印で示すと、取排水は北→南への直線的な経路を基本とすることがわかる（第 19 図）。さらに、標高の高い位置にある区画 1～7・10～13 の北西-南東方向の小畦畔は直線的に見えなくもない。調査地外の標高の高い西方では等高線に直交する幹線小畦畔を有する B-2 類が検出される可能性もある。以上の検討を踏まえて、SN01 の検出範囲で B-2 類型の小畦畔が認められないのは、近接する SR01 の屈曲形

	B-1類	B-2類	B-3類	B-4類	B-5類
畦畔の接合	直線的な幹線小畦畔と支線小畦畔が格子状に直交するもの。畦畔の接合部分は「+」形を呈する。	幹線小畦畔は直線的でその間に直交する支線小畦畔をアミダクシ状に配するもの。畦畔接合部分は三叉状の「T」形を呈する。	幹線小畦畔の一部に屈曲部を設け、その部分を支線小畦畔によってつなぐもの。畦畔の接合は三叉状の「Y」形を呈する。	幹線小畦畔を意図的にジグザグに設定し、その屈曲部を支線小畦畔でつなぐもの。畦畔の接合は三叉状の「Y」形を呈する。	B-1類と同様に畦畔の接合部分は「+」形を呈する。
水田形態	正方形あるいは長方形の方形小区画水田を整然と配列した形態を呈する。	正方形もしくは長方形の小区画水田を整然と配する。長方形を指向するものが多い。	正方形あるいは長方形の方形区画の2角を落とした変形六角形の小区画水田が連続する。	六角形を呈する小区画水田が連続する。直線的な大畦畔との接合部分では五角形を呈する。	整齊な正方形を呈する方形小区画水田を整然と配列したものの。
配水特	幹線小畦畔に平行する直線的な灌漑経路による配水。 →直線配水型	基本的に幹線小畦畔に平行する直線的な灌漑経路による配水。 →直線配水型	変形六角形の短辺を通して対角線方向への配水も可能。 →直線・対角線配水型	周囲すべての水田と均等に接することで多方向への配水が可能。 →多方向配水型	縦横に隣接する水田への直線的な灌漑経路による配水。 →直線配水型
立地	起伏の少ない緩斜面。微低地の平坦部分に多い。	起伏の少ない平板な斜面地形。	微高地の末端部分のような若干起伏のある斜面。	起伏の大きい微高地や谷部などの複雑な地形を有する斜面。	起伏の少ない緩斜面。微低地の平坦部分に多い。
類例	池島・福万寺遺跡弥生時代後期水田面A・Bブロック、服部遺跡弥生時代前期水田面、道場田小川城遺跡古墳時代中期水田面	池島・福万寺遺跡弥生時代後期水田面Eブロック、田村遺跡弥生時代前期水田面、戎町遺跡弥生時代前期水田面	池島・福万寺遺跡弥生時代後期水田面K・Lブロック、百間川遺跡弥生時代後期水田面の一部、垂柳遺跡弥生時代中期水田面の一部	池島・福万寺遺跡弥生時代後期水田面K・Pブロック、上田町遺跡弥生時代後期水田面、那珂久平・那珂君休遺跡古墳時代前期水田面の一部、水垂遺跡古墳時代水田面の一部	友井東遺跡古墳時代後期水田面、静岡県道場田・小川城遺跡古墳時代後期水田面
評価	幹線小畦畔、支線小畦畔ともに直線的で、省力での水田造成と維持が可能。ただし、地形的に平坦な緩斜面を選定する必要があり、地形に制約される。複雑で起伏の大きい地形の部分には不適。	B-1類同様に畦畔は直線的で、しかも配水方法も単純で省力での水田造成および経営が可能。ただし、平坦な緩斜面を選定する必要がある。複雑で起伏の大きい地形には不適。	変形六角形とすることで直線的な配水に加えて対角線方向の水田への配水が短距離で可能。ただし、水田造成の際には幹線畦畔を微妙に屈曲させるなどのやや複雑。起伏がある複雑な地形にも対応可能。	水田造成段階には努力が必要であるが、水田ブロックへの取排水さえ確保されれば、小区画水田間は、あらゆる経路での配水が可能。起伏の大きい複雑な地形部分においても水田造成を可能とする。結果的にはきわめて合理的な畦畔接合方法。	幹線小畦畔と支線小畦畔の差が明瞭ではなく、整齊な正方形に造成する。整然と正方形の水田を造成することから、何らかの必要性によって水田区画がなされた可能性が想定される。
モデル					

※江浦(2014)から引用

第110図 畦畔の接合形態による小区画水田の分類

状に影響を受けているためと考えたい。

註

- 1 幹線小畦畔などの用語は江浦(2014)に基づく。
- 2 弘福寺田岡北地区C区の水田については、遺物と層位からは弥生時代後期以前としか判断できないが、B-2類の小畦畔接合形態から弥生時代前期と報告されている。しかし、香川県内の弥生時代中～後期の水田検出例はわずかで、B-2類が前期に限られるかは不明である。よって、現状では区画形状のみを根拠に弘福寺田岡北地区C区水田の時期を前期に限定するのは難しい。なお、江浦(2014)ではB-2類の例として池島・福万寺遺跡(大阪府東大阪市・八尾市)の弥生時代後期水田が挙げられている。

参考文献

- 江浦 洋 1991 「弥生時代水田の総合的理解のための基礎作業」『大阪文化財研究』2,pp.1-10  
 江浦 洋 2014 「古墳出現期の農業基盤 ―水田造成技術の変革と畠の出現と展開―」『弥生文化博物館研究報告』7,pp.1-18

### 第3節 北野遺跡における石庖丁の搬入状況

#### 1 はじめに

北野遺跡では弥生時代前期の石庖丁が8点出土している（註1）。当該期の高松平野中央部ではもともと出土量が多い。また、2000年以降、鴨部・川田遺跡（さぬき市）、中の池遺跡（丸亀市）といった香川県内の当該期の良好な資料を有する遺跡の報告書が刊行され、香川県内の資料も蓄積されてきた。本節では、こうした資料と併せて、北野遺跡や高松平野の弥生時代前期の石庖丁を位置付けておきたい。

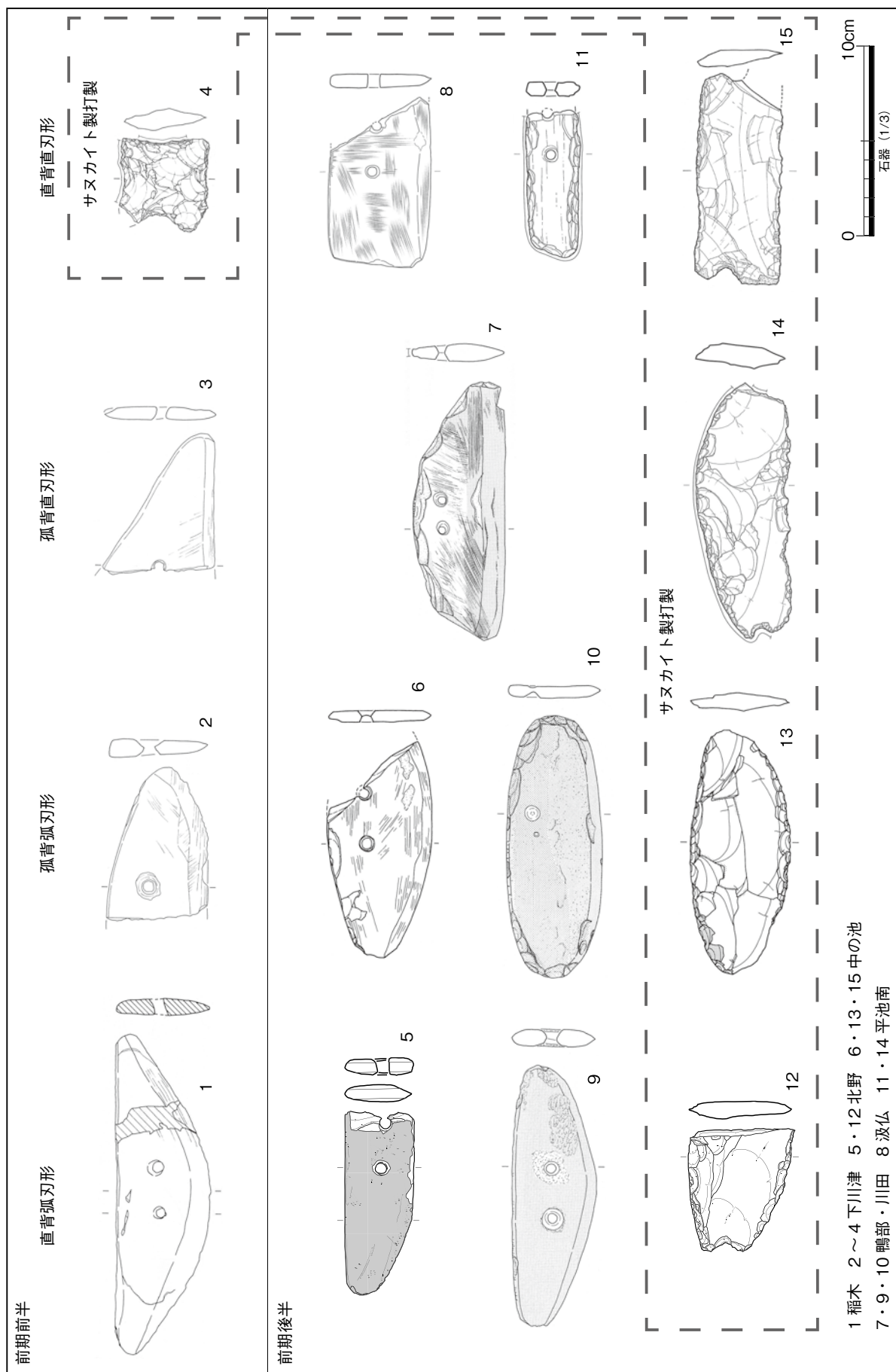
#### 2 出現期の状況

瀬戸内における磨製石庖丁の編年で示されたように（森下 1995,p.14）、香川県内で最初期に位置付けられる磨製石庖丁は、弥生時代前期前半（前期 I a 期～ I c 期）の下川津遺跡第2低地帯流路1Ⅶ層出土資料である（註2）。背部が直線的で刃部が湾曲する直背弧刃形、背部刃部ともに湾曲する孤背弧刃形、背部が湾曲し刃部が直線をなす孤背直刃形（註3）と、3点とも形状が異なる。石材も結晶片岩や安山岩などと統一されていない。また、同層には金山産サヌカイト製打製石庖丁が2点伴う。金山産サヌカイト製の打製石庖丁は、「長さ10～15cm、幅3～6cmほどの横長剥片の両側縁に抉りを入れ、背部を敲打して潰し、下縁部に調整加工を施すもの」（森下 1998,p.340）を典型とし、長さ、幅が前後するものや抉りをもたないものもある。同層出土のサヌカイト製打製石庖丁2点は、完形品ではないものの、背部への敲打と刃部加工、抉りを備える（註4）。石庖丁出現の時点において、磨製石庖丁は複数の石材が用いられる「多型式併存型」（下條 2002,p.360）で、さらに金山産サヌカイト製の打製石庖丁も伴う。

#### 3 前期後半の展開

前期後半になると、遺跡数の増加に連動して石庖丁の出土数も増える。北野遺跡の石庖丁が出土した遺構もこの時期に該当する。また、各地で環濠集落が形成され、環濠部分を含む比較的広い面積が調査された鴨部・川田遺跡や中の池遺跡では、多量の弥生土器とともに石庖丁が確認されている。

鴨部・川田遺跡では、遺跡から2.5kmの近傍を産出地とする流紋岩製の石庖丁未成品、素材と推測される剥片などが出土しており、集落内における流紋岩製石庖丁の製作は確実である。「原石採取・運搬」「粗割」「整形」「研磨・穿孔」の4工程（森 1997,p.207）のうち、遺跡内では「粗割」以後の工程を担っている。なお、「研磨・穿孔」工程にあたる資料の観察によれば、鴨部・川田遺跡では刃付けまで完了した研磨の後に穿孔が行われ、穿孔方法は回転穿孔法である（註5）。秋山・仲原（1998・1999）に示された製作工程の用語を用いれば、鴨部・川田遺跡における流紋岩製石庖丁の製作工程は次のように復元できる。（素材獲得）→粗割→剥離整形→研磨（体部粗研磨→刃付け再研磨）→穿孔（回転穿孔法）→完成品。また、流紋岩製の石庖丁の形状は、直背弧刃形、孤背弧刃形、孤背直刃形、直背直刃形と、限定されない。全面が丁寧に研磨される石庖丁がある一方、研磨が刃部や背部にとどまるものも少なくない。同一集落で製作されている同一石材の石庖丁でもその完成形はさまざまであり、必ずしも石材と形状が結びついているわけではない。他の遺跡も含めた安山岩製や結晶片岩製の磨製石庖丁も形状には幅があり、「磨製石庖丁の範型から離脱しつつある」（森下 2002,p.148）のが前期後半の実態であろう。ただし、粘板岩とみられる黒色の堆積岩系の石材や、泥岩などを石材とする磨製石庖丁は全面に丁寧な



1 稲木 2~4 下川津 5・12 北野 6・13・15 中の池  
7・9・10 鴨部・川田 8 汲仏 11・14 平池南

第 111 図 弥生時代前期の石庖丁

研磨が施される傾向にある。これらの石材産地は不明だが、同石材産の石庖丁は離れた場所から持ち込まれている可能性もある。

鴨部・川田遺跡に限らず、磨製石庖丁の背部は、研磨で丸みを帯びた形状に整える、または研磨で平坦に仕上げることが基本とする。打製石庖丁の一部には、背部に自然面や切断した面を配するものがあり、こうしたケースは磨製石庖丁の背部の仕上げとの関連を想起させる。また、サヌカイト製打製石庖丁のなかには明らかに直背弧刃形、弧背弧刃形、弧背直刃形に仕上げられたものがあり、これらは磨製石庖丁の平面形を意識して整形されたと推測される。

当該期には、前期前半にみられた磨製石庖丁の規範が弛緩していることに加えて、サヌカイト製打製石庖丁の形状にも幅がある。磨製石庖丁、打製石庖丁それぞれにおいて、前期前半には維持されていた規範を緩やかに逸脱し、各要素が少しずつ混ざり合っているのが前期後半のあり方なのだろう。

#### 4 高松平野へのサヌカイト製打製石庖丁の流入

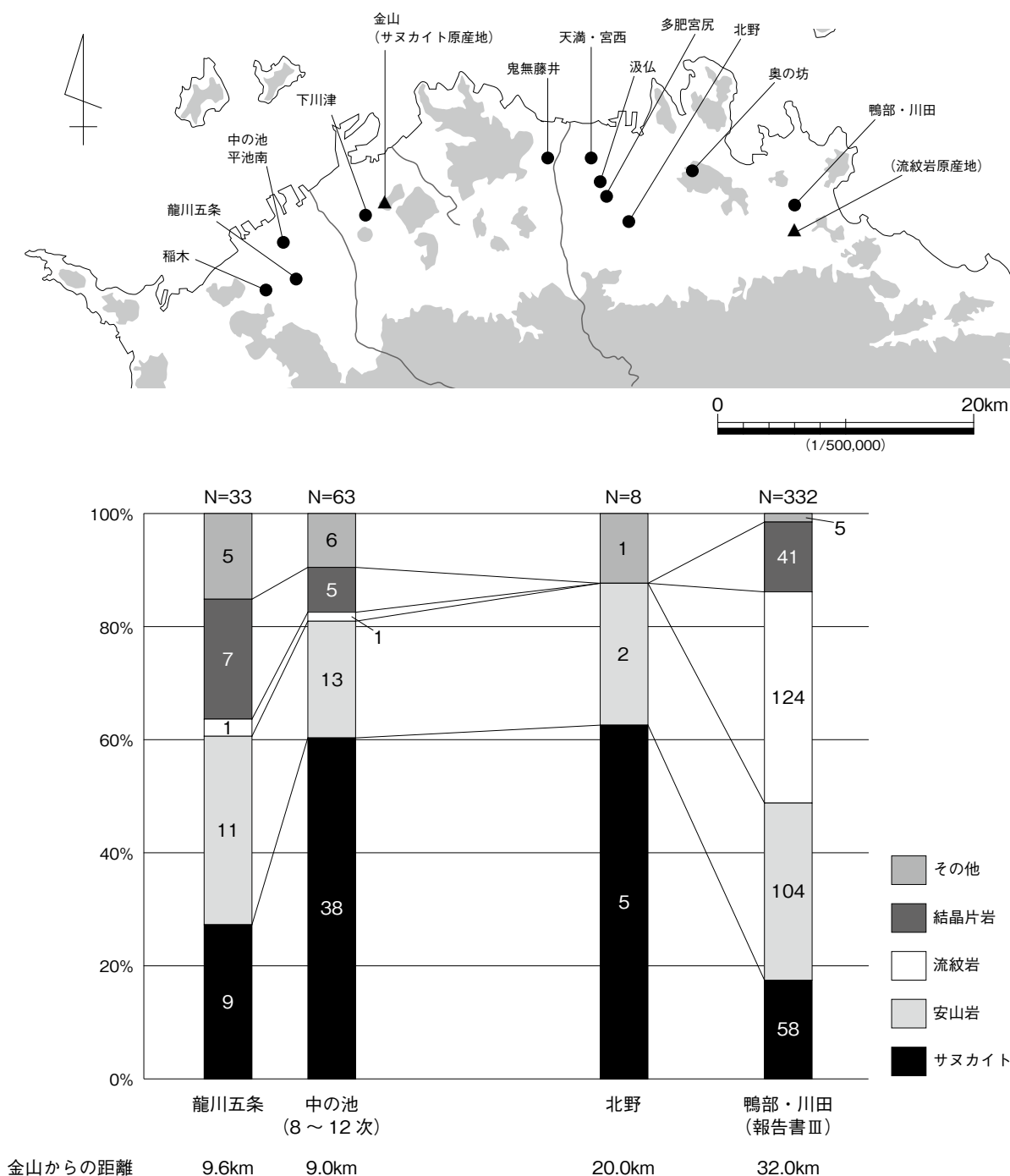
第112図には龍川五条遺跡（善通寺市）、中の池遺跡（丸亀市）、北野遺跡、鴨部・川田遺跡の石庖丁石材比率を示した。遺跡はいずれも弥生時代前期後半を中心とする。石材は、サヌカイト、安山岩、流紋岩、結晶片岩、その他に分類した。当該期の石器に用いられるサヌカイトは金山（坂出市）産とみられている。安山岩、流紋岩は香川県内でも産出し、特に黄白色の流紋岩は鴨部・川田遺跡の近隣に産地が推測されている。安山岩に分類した石材の様相はさまざまであり、流紋岩に分類される可能性のある石材も含めた。結晶片岩は、讃岐山脈の南側、徳島県域の吉野川流域に由来するとみられる。その他の石材には砂岩なども含むが、泥岩や粘板岩とみられる堆積岩が比較的多い。

丸亀平野に位置する龍川五条遺跡では、サヌカイトが27.3%、安山岩が33.3%、流紋岩が3.0%（註6）、結晶片岩が21.2%、その他が15.2%である。サヌカイト、安山岩、結晶片岩の3石材は21～34%の間に収まる。同じく丸亀平野にある中の池遺跡では、サヌカイト製の石庖丁が60.3%と他の石材に比べて多い。安山岩がそれに続くが、占める割合は20.6%である。流紋岩は1.6%、結晶片岩は7.9%、その他は9.5%と比率はさらに下がる。高松平野中央部の北野遺跡では、サヌカイトが62.5%と6割以上を占めている。残りは安山岩とその他が25.0%、12.5%となっている。鴨部・川田遺跡では、サヌカイトが17.5%と他遺跡に比べて比率が低いのに対して、安山岩31.3%、流紋岩37.3%と両方で7割近くを占める。結晶片岩は12.3%、その他は2.0%である。

この4遺跡のグラフから読み取れるのはサヌカイトが占める割合の差である。金山から直線距離で約32.0kmと4遺跡ではもっとも離れている鴨部・川田遺跡におけるサヌカイトの低比率は、金山との距離で説明できそうである。加えて、鴨部・川田遺跡では流紋岩のほかにも安山岩の産出地も近傍にあると考えられており（森下2002,p.147）、流紋岩や安山岩の入手が容易という理由もあるだろう。しかし、丸亀平野内の近い位置にあり、金山からの直線距離が約0.6kmしか変わらない龍川五条遺跡と中の池遺跡でのサヌカイトの占有率の差は、金山との地理的な関係では説明できない。金山から20.0km離れた北野遺跡でのサヌカイトの比率が、同9.6kmの龍川五条遺跡を大きく上回る点についても同様である。サヌカイトの占有率の差の背景には、次の3点の可能性が考えられる。①龍川五条遺跡近傍でのサヌカイト以外の石材産出地の存在と同石材による石庖丁製作、②龍川五条遺跡へのサヌカイト以外の石庖丁を主とした流入ルートが存在、③北野遺跡へのサヌカイトを主とした流入ルートの存在、である。

龍川五条遺跡では、石庖丁の製作を粗割から整形まで行っている痕跡は認められず、①の可能性は否

定される。龍川五条遺跡では、基本的には完成形または完成形に近い状態の石庖丁を持ち込んでいるとみられ、その比率が中の池遺跡や北野遺跡に比べて高いといえる。この点では②の可能性は首肯しうる。同じ丸亀平野の中の池遺跡でも粗割から整形までの複数工程を行っているとは考えられず、やはり石庖丁は基本的に完成品かそれに近い状態の搬入品である。龍川五条遺跡と中の池遺跡では、さほど離れていないにもかかわらず搬入される石材比率が異なっているため、平野単位ではなく集落ごとに石材流入ルートが異なっていた可能性がある。高松平野の北野遺跡では、石庖丁以外のサヌカイト製石器の出土量も多い。石核および、微細、または小さな剥片も目立ち、集落内での石器製作の蓋然性は高い。ただし、サヌカイト製石庖丁の素材となる横長剥片の獲得に適した直接打法は低調とみられるため（註7）、



第 112 図 関連遺跡位置図・石庖丁石材比率グラフ

石器生産は主に石鏃や石錐などの小型石器を目的としたものだろう。石庖丁については素材の横長剥片、または完成品に近い状態で持ち込んでいたと考えられる。これらがサヌカイト製の小型石器素材や剥片とともに流通していたのであれば、北野遺跡でのサヌカイト製石庖丁の比率の高さも説明可能で、③は十分にありうる。

ただ、②・③の可能性を認めても、サヌカイト比率の差について、集落ごとの搬入石材ルートの違いとみること以上に踏み込むのは難しい。結局のところ、高松平野や丸亀平野といった金山から約20km圏内であれば、サヌカイト製石庖丁を積極的に持ち込むのか、そうでないのかは集落によるとしかいえない。北野遺跡は前者の集落に該当し、丸亀平野を参照すれば、高松平野でもサヌカイト製石庖丁の比率の少ない集落が存在する可能性を考慮しておく必要はあるだろう。

#### 註

- 1 北野遺跡から出土している石庖丁は9点である。このうち、SD05出土資料（第3章第22図21）については後期の可能性も否定できないため、本節の分析対象から外した。
- 2 下川津遺跡第2低地帯流路1Ⅶ層は4層に大別可能で、遺物が出土している下層、中層、上層がそれぞれ前期Ⅰa期、同Ⅰb期、同Ⅰc期に該当する（森下・信里1998,p.37、森下1998,pp.304-316）。石器がどの大別層位から出土しているかは判断できないが、弥生時代前期前半に収まることは確実である。
- 3 石庖丁の分類は、背部と刃部の形状に基づく下條（2002）にならう。同文献では大別4分類をA～D型式で表すが、本節では各分類の説明中に使用される「直背弧刃形」（A型式）、「孤背弧刃形」（B型式）、「孤背直刃形」（C型式）、「直背弧刃形」（D型式）の表現を用いる。
- 4 下川津遺跡資料が完形品ではない点から、サヌカイト製打製石庖丁の出現期を前期前半とすることに抑制的な見解もある（信里2002,p.9）。本節では、背部加工や刃部加工といったサヌカイト製打製石庖丁の特徴を重視して、本資料を打製石庖丁とみる。
- 5 鴨部・川田遺跡の結晶片岩製磨製石庖丁には敲打穿孔法も一定量認められる。流紋岩で転穿孔法が主体となるのは、石材加工の容易な点が理由であろう。
- 6 龍川五条遺跡の流紋岩製石庖丁は、石材の特徴や形状から鴨部・川田遺跡で製作された可能性がある。
- 7 正確に計量していないが、微細～小剥片のうち直接打法に伴って発生する剥片はごくわずかである。判断不能なものを除けば、ほとんどは両極打法の剥片である。

#### 参考文献

- 秋山浩三・仲原知之 1998・1999「近畿における石庖丁生産・流通の再検討（Ⅰ）一池上曾根遺跡の石庖丁製作工程一」『大阪文化財研究』15・17
- 下條信行 2002「瀬戸内における石庖丁の型式展開と文化交流」犬飼徹夫先生古稀記念論文集刊行会編『犬飼徹夫先生古稀記念論集 四国とその周辺の考古学』犬飼徹夫先生古稀記念論文集刊行会、pp.351-374
- 信里芳紀 2002「讃岐地域における弥生時代前期から中期前半の様相一集落の検討を中心にして一」第16回古代学協会四国支部研究大会事務局編『第16回古代学協会四国支部研究大会発表要旨集』古代学協会四国支部、pp.5-38
- 森格也 1997「まとめ」財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第7冊 鴨部・川田遺跡Ⅰ』香川県教育委員会ほか、pp.170-240
- 森下英治 1995「瀬戸内の大陸系磨製石器」『考古学ジャーナル』391,pp.14-18
- 森下英治 1998「まとめ」財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第29冊 龍川五条遺跡Ⅱ 飯野東分山崎南遺跡』香川県教育委員会ほか、pp.334-355
- 森下英治 2002「石器の生産と流通」第16回古代学協会四国支部研究大会事務局編『第16回古代学協会四国支部研究大会発表要旨集』古代学協会四国支部、pp.147-162
- 森下英治・信里芳紀 1998「讃岐地方における弥生土器の基準資料Ⅰ一 下川津遺跡出土前期弥生土器を中心に一」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要』6,pp.31-63

#### 発掘調査報告書

- 稲木遺跡：香川県教育委員会編 1989『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第6冊 稲木遺跡』香川県教育委員会
- 太田原高州遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2014『県道太田上町志度線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 太田原高州遺跡Ⅰ』香川県教育委員会
- 奥の坊遺跡：高松市教育委員会編 2006『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第5冊 奥の坊遺跡群Ⅴ（奥の坊遺跡Ⅰ・Ⅱ区）』高松市教育委員会／高松市教育委員会編 2009『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第7冊 奥の坊遺跡群Ⅻ（奥の坊遺跡Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ・Ⅺ区）』高松市教育委員会／高松市教育委員会編 2014『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第12冊 奥の坊遺跡群Ⅻ（奥の坊遺跡Ⅲ区遺物編）』高松市教育委員会
- 上西原遺跡：高松市教育委員会編 2000『上西原遺跡 附汲込遺跡 太田第2土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第3冊』
- 鴨部・川田遺跡：財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 1997『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第7冊 鴨部・川田遺跡Ⅰ』香川県教育委員会ほか／財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 2000『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第7冊 鴨部・川田遺跡Ⅰ』香川県教育委員会ほか



- 査報告第9冊 鴨部・川田遺跡Ⅱ』香川県教育委員会ほか／香川県埋蔵文化財調査センター編 2002『高松東道路建設にともなう埋蔵文化財発掘調査報告第10冊 鴨部・川田遺跡Ⅲ』香川県教育委員会ほか
- 川津下樋遺跡：財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 1996『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第21冊 川津下樋遺跡』香川県教育委員会ほか
- 北口遺跡：高松市教育委員会編 2017『大野地区統合保育所用地埋蔵文化財発掘調査報告書 北口遺跡』高松市教育委員会
- 鬼無藤井遺跡：高松市教育委員会編 2001『鬼無藤井遺跡 高松港頭地区再開発関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』高松市教育委員会
- 空港跡地遺跡：財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 2002『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第5冊 空港跡地遺跡Ⅴ』香川県教育委員会ほか／財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 2004『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第8冊 空港跡地遺跡Ⅵ』香川県教育委員会ほか／香川県埋蔵文化財センター編 2007『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第9冊 空港跡地遺跡Ⅶ』香川県教育委員会ほか
- 弘福寺領讃岐国山田郡田岡比定地域：高松市教育委員会編 1992『弘福寺讃岐国山田郡田岡比定地域発掘調査概報Ⅲ』高松市教育委員会、高松市教育委員会編 1992『讃岐国弘福寺領の調査 弘福寺領讃岐国山田郡田岡比定地域調査報告書』高松市教育委員会
- 高野丸山古墳：香川考古学研究会編 1994『香川考古』3、香川考古刊行会
- 汲仏遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2018『香川県警察本部機動隊舎建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 汲仏遺跡』香川県教育委員会
- さこ・長池遺跡：高松市教育委員会編 1993『一般国道11号高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第1冊 さこ・長池遺跡』高松市教育委員会
- さこ・長池Ⅱ遺跡：高松市教育委員会編 1994『一般国道11号高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第3冊 さこ・長池Ⅱ遺跡』高松市教育委員会
- 下川津遺跡：財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 1990『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ 下川津遺跡』香川県教育委員会ほか
- 龍川五条遺跡：財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 1996『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第23冊 龍川五条遺跡Ⅰ』香川県教育委員会ほか／財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 1998『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第29冊 龍川五条遺跡Ⅱ 飯野東山崎南遺跡』香川県教育委員会ほか
- 多肥北原遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2012『県道太田上町志度線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 多肥北原遺跡』香川県教育委員会
- 多肥北原西遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2015『県道太田上町志度線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 多肥北原西遺跡』香川県教育委員会
- 多肥廃寺：多肥郷土史編集委員会編 1981『多肥郷土史』／丹羽祐一・藤井雄三 1988『高松の古代文化』高松市図書館
- 多肥松林遺跡：財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 1999『高校新設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第1冊 多肥松林遺跡』香川県教育委員会ほか
- 多肥宮尻遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2018『県道太田上町志度線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 多肥宮尻遺跡』香川県教育委員会
- 天満・宮西遺跡：高松市教育委員会編 2002『天満・宮西遺跡～集落・水田編～ 太田第2土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第6冊』高松市教育委員会
- 中の池遺跡：藤好史郎編 1982『中の池遺跡発掘調査概要—香川県丸亀市金倉町所在の弥生時代遺跡の調査—』丸亀市教育委員会／松本考古学研究所編 1998『丸亀市総合運動公園整備工事に伴う埋蔵文化財（中ノ池遺跡）発掘調査報告（Ⅰ）中ノ池遺跡』丸亀市ほか／松本考古学研究所編 2000『丸亀市総合運動公園整備工事に伴う埋蔵文化財（中ノ池遺跡）発掘調査報告（Ⅱ）中ノ池遺跡』丸亀市ほか／丸亀市教育委員会・財団法人元興寺文化財研究所編 2003『中の池遺跡 第8次調査 総合運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』丸亀市教育委員会・財団法人元興寺文化財研究所／財団法人元興寺文化財研究所編 2004『中の池遺跡第9・10次調査 総合運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』丸亀市教育委員会／財団法人元興寺文化財研究所編 2005『中の池遺跡第11次 総合運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』丸亀市教育委員会／財団法人元興寺文化財研究所編 2006『中の池遺跡—第12次調査— 総合運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』丸亀市教育委員会
- 林・坊城遺跡：財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 1993『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第2冊 林・坊城遺跡』香川県教育委員会ほか／財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編 2004『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第53冊 中森遺跡 林・坊城遺跡Ⅱ 東山崎・水田遺跡Ⅱ』香川県教育委員会ほか
- 平池南遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2018『香川県立丸亀競技場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 平池南遺跡』香川県教育委員会
- 三谷石舟古墳：香川県教育委員会編 1983『新編香川叢書』新編香川叢書刊行企画委員会
- 三谷中原遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2019『県道中徳三谷高松線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第2冊 三谷中原遺跡』香川県教育委員会ほか
- 横内東遺跡：香川県埋蔵文化財センター編 2012『高松市埋蔵文化財調査報告第144集 三谷コミュニティセンター整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 横内東遺跡』高松市教育委員会

第18表 香川県内出土弥生時代前期石庖丁一覽

遺跡	所在地	遺構	図番	番号	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
鴨部・川田	さぬき市	A区SD04	14	25	打製	結晶片岩	不定形	挟り	9.3	4.1	1.0	前期II c	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	A区SK05	34	92	磨製	流紋岩	直背弧刃	2+	9.2+	5.2+	0.9	前期II b	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	A区SP07	44	124	打製	サヌカイト	不明	なし	5.3+	4.6+	0.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	A区SP05	44	125	磨製	流紋岩	直背直刃	挟り	6.7+	4.1	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	A区SR01	57	174	打製	サヌカイト	直背直刃	なし	6.5+	4.3	0.9	前期II c?	/	古代末の遺物が中心	鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	A区包含層	74	276	打製	安山岩	直背直刃	挟り	9.0	4.4	1.0	前期II c-中期I	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	A区包含層	74	277	打製	安山岩	不明	なし	5.4+	4.3+	0.9	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	A区包含層	74	279	磨製	流紋岩	直背弧刃	1+	4.8+	4.2+	0.7	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区SK10	110	114	打製	サヌカイト	弧背直刃	挟り	11.5	3.9	0.7	前期II c-中期I	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	199	打製	流紋岩	不明	挟り	3.8+	5.4+	1.0	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	201	打製	サヌカイト	弧背弧刃	なし	6.3+	4.7	0.7	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	202	磨製	流紋岩	弧背直刃	なし	6.8+	5.9	1.1	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	203	磨製	流紋岩	直背弧刃	1+	6.1+	3.0+	0.8	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	204	磨製	流紋岩	直背弧刃	1+	5.5+	5.2+	1.0	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	205	磨製	流紋岩	直背直刃	1+	3.1+	5.9	1.0	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	206	磨製	流紋岩	不明	2+	3.1+	2.4+	0.6+	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	B区包含層	124	207	磨製	流紋岩	不明	不明	4.2+	4.2	-	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	213	794	打製	サヌカイト	弧背直刃	挟り	13.3	4.6	1.0	前期II c-中期I	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	214	795	打製	サヌカイト	不定形	なし	9.2+	3.8	0.9	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	214	796	打製	サヌカイト	弧背弧刃	なし	11.0+	5.2	0.9	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	214	797	磨製	安山岩	直背直刃	なし	9.2+	5.3	1.5	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	214	798	磨製	安山岩	直背直刃	なし	8.7+	6.2	1.0	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	214	799	磨製	安山岩	不明	なし	7.9+	6.1	1.0	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	215	800	打製	サヌカイト	不明	なし	7.2+	5.5	1.1	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	215	802	打製	サヌカイト	不明	なし	4.6+	4.2+	0.7	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	215	804	磨製	安山岩	弧背弧刃	2	10.5+	5.5	0.7	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	215	805	磨製	安山岩	弧背弧刃	2	10.2	4.2	0.9	前期II c-中期I	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	215	806	磨製	流紋岩	弧背直刃	2+	8.3+	5.3+	1.0	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	216	807	磨製	結晶片岩	弧背弧刃	2	12.8	4.3	1.0	前期II c-中期I	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	216	808	磨製	流紋岩	直背弧刃	なし	13.3	4.5	1.2	前期II c-中期I	完形	未成品	鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	216	809	磨製	流紋岩	不明	なし	11.9+	6.1	1.5	前期II c-中期I	/	未成品	鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	217	810	磨製	流紋岩	不明	1+	7.0+	5.8	1.2	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	217	811	磨製	流紋岩	弧背直刃	1+	7.6+	5.6+	0.6	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	217	812	磨製	流紋岩	直背直刃	なし	4.5+	5.1	0.8	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	217	813	磨製	流紋岩	不明	なし	5.6+	3.2+	0.4+	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	217	814	磨製	結晶片岩	不明	なし	5.1+	4.1+	0.6+	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	217	815	磨製	流紋岩	不明	1+	5.1+	4.0+	0.6+	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	217	816	磨製	流紋岩	直背弧刃	不明	4.1+	4.8+	0.7	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	218	820	磨製	流紋岩	弧背直刃	なし	8.6+	5.6	1.3	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	218	821	磨製	流紋岩	直背弧刃	不明	9.9	5.9	1.5	前期II c-中期I	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	218	822	磨製	流紋岩	不明	不明	8.8+	7.0+	0.8	前期II c-中期I	/	未成品?	鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SD01	219	825	磨製	流紋岩	不明	不明	4.3+	4.9	0.9	前期II c-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	C区SH03	260	1042	磨製	安山岩	不明	なし	6.7	2.7	0.6	前期II b	完形		鴨部・川田遺跡I

遺 跡	所 在 地	遺 構	図 番 号	磨 製 / 打 製	石 材	平 面 形 状	孔	長 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	時 期	完 形	備 考	文 献
鴨部・川田	さぬき市	C区 SH05	269	1093	磨製	流紋岩	弧背弧刃	2	11.5	4.5	08	前期 II b	完形	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 SH06	274	1126	磨製	流紋岩	直背弧刃	2+	7.3+	4.8	0.6+	前期 II a	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 SH06	274	1127	磨製	流紋岩	不明	不明	3.6+	3.7+	0.6+	前期 II a	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 SK06	286	1178	磨製	結晶片岩	不明	不明	10.5+	2.4+	1.4+	前期 II b	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	293	1242	打製	サヌカイト	不明	不明	8.2+	4.8	0.4+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	293	1243	打製	結晶片岩	直背直刃	なし	8.2	4.6	0.6	前期 II c-中期 I	完形	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	293	1244	打製	サヌカイト	弧背弧刃	不明	12.1+	5.3	1.4	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	293	1245	打製	サヌカイト	弧背弧刃	不明	6.0+	5.2+	0.9+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	293	1246	打製	サヌカイト	不明	3.3+	3.3+	0.8+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	293	1247	打製	サヌカイト	直背直刃	なし	5.3+	4.9	1.1	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	293	1248	打製	サヌカイト	不明	2.0+	4.0	0.7	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	294	1249	打製	サヌカイト	直背弧刃	不明	5.5+	5.5+	1.1	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	294	1251	磨製?	流紋岩	直背直刃	不明	11.6	5.9	1.5	前期 II c-中期 I	完形	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	294	1252	磨製	流紋岩	直背弧刃	不明	7.7+	5.1	0.9	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	294	1253	磨製?	流紋岩	直背弧刃	不明	8.1+	4.7	1.0	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	294	1254	磨製	安山岩	不明	6.4+	6.5+	1.0	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	295	1255	磨製	流紋岩	直背弧刃	1+	7.8+	5.0+	0.6+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	295	1256	磨製	流紋岩	直背弧刃	2	9.4	5.7	1.1	前期 II c-中期 I	完形	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	295	1257	磨製	流紋岩	直背直刃	2+	9.0+	4.7	0.6	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	295	1258	磨製	流紋岩	直背弧刃	1+	4.5+	4.9+	1.2	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	295	1259	磨製	流紋岩	不明	6.4+	5.2+	0.8+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	295	1260	磨製	流紋岩	不明	3.7+	4.8+	0.5+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	296	1262	磨製	流紋岩	不明	7.9+	4.3+	0.9	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	C区 包含層	302	1329	磨製	流紋岩	弧背弧刃	2	12.6	6.0	1.1	前期 II c-中期 I	完形	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 SH05	340	338	打製	結晶片岩	直背直刃	抉り	10.5	4.9	0.9	前期 II c-中期 I	完形	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 SH07	347	382	磨製	結晶片岩	直背直刃	なし	6.8+	4.7	0.8	前期 II a	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 SK14	363	418	磨製	安山岩	直背直刃	なし	7.0+	3.8	0.8	前期 II a-II c	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 SK17	366	425	磨製	結晶片岩	不明	7.1+	2.5+	0.5+	前期 II a-II c	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 SX01	395	660	磨製	流紋岩	弧背直刃	1+	6.5+	5.6+	0.9	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 SX01	395	661	磨製	流紋岩	不明	5.0+	4.6+	0.5+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 SX01	395	662	磨製	流紋岩	不明	3.7+	5.2+	0.6+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 SX01	395	663	磨製	結晶片岩	直背直刃	不明	4.2+	3.7	0.9	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	410	793	打製	安山岩	不定形	不明	6.8+	5.3	1.0	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	410	794	打製	安山岩	直背直刃	抉り	9.7+	4.2	1.4	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	410	795	打製	安山岩	直背直刃	抉り	11.6	5.4	1.1	前期 II c-中期 I	完形	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	410	796	打製	安山岩	不明	7.5+	5.6	1.0	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	410	797	打製	サヌカイト	不明	4.4+	4.9+	1.0	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	410	798	磨製	流紋岩	不明	3.4+	4.2+	0.3+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	410	799	磨製	安山岩	不明	6.1+	5.6+	0.9	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	411	800	磨製	流紋岩	不明	8.0+	4.5+	1.2	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	411	801	磨製	流紋岩	直背直刃	1+	7.1+	4.5	1.0	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	411	802	磨製	流紋岩	直背直刃	1+	8.4+	6.0	1.4	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	411	803	磨製	流紋岩	不明	6.3+	4.7+	0.9	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	411	804	磨製	流紋岩	不明	4.0+	4.6	1.0	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	
鴨部・川田	さぬき市	D区 包含層	411	805	磨製	流紋岩	不明	5.9+	4.1+	0.4+	前期 II c-中期 I	/	鴨部・川田遺跡 I	

遺跡	所在地	遺構	図番号	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
鴨部・川田	さぬき市	D区包含層	411	磨製	結晶片岩	不明	1+	47+	2.1+	0.6+	前期IIc-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	D区包含層	412	磨製	流紋岩	弧背弧刃	2	16.4	4.2	0.5	前期IIc-中期I	完形		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	D区包含層	413	磨製	流紋岩	不明	不明	5.8+	4.5+	0.7+	前期IIc-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	D区包含層	413	磨製	結晶片岩	直背直刃	1+	7.0+	4.6+	0.6+	前期IIc-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	D区包含層	413	磨製	安山岩	直背弧刃	不明	6.9+	5.0+	1.3	前期IIc-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	D区包含層	413	磨製	流紋岩	弧背直刃	不明	6.9+	5.0	0.4	前期IIc-中期I	/		鴨部・川田遺跡I
鴨部・川田	さぬき市	SK1052	35	4001	磨製	流紋岩	直背直刃	3.5+	3.5+	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SK1069	35	4002	磨製	流紋岩	直背直刃	9.5+	5.4	0.7	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SK1113	35	4003	磨製	流紋岩	1+	3.0+	3.3+	0.5	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SK1115	35	4004	磨製	流紋岩	抉り	13.1	5.9	1.5	前期IIc	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SK1217	35	4005	磨製	流紋岩	不明	5.4+	4.4+	0.5	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SK1247	35	4006	磨製	流紋岩	直背直刃	7.5+	4.8	0.8	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SK1332	35	4007	磨製	流紋岩	弧背直刃	11.2	5.0	1.0	前期IIc	完形		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4008	磨製	流紋岩	抉り	11.4	5.0	0.8	前期IIc	完形		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4009	磨製	流紋岩	直背直刃	8.7+	4.8	1.1	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4010	磨製	流紋岩	直背直刃	3.3+	5.3	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4011	磨製	流紋岩	不明	2.7+	2.6+	0.8	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4012	磨製	流紋岩	直背直刃	4.7+	4.3	0.8	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4013	磨製	流紋岩	直背直刃	6.3+	5.2	0.8	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡III
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4014	磨製	流紋岩	直背直刃	6.4+	5.8	0.7	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	35	4015	磨製	流紋岩	不明	4.7+	5.8	0.7	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4016	磨製	流紋岩	直背直刃	5.9+	5.5	0.9	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4017	磨製	流紋岩	弧背直刃	10.7+	5.0	0.8	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4018	磨製	流紋岩	直背直刃	8.4+	4.8	1.1	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4019	磨製	泥岩	不明	5.2+	5.4	1.2	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4020	磨製	流紋岩	弧背直刃	2	5.7	1.0	前期IIc	完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4021	磨製	流紋岩	抉り	8.9+	5.1	1.0	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4022	磨製	流紋岩	不明	5.2+	4.8	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4023	磨製	流紋岩	弧背直刃	8.2+	5.2	1.1	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4024	磨製	流紋岩	不明	4.2+	3.5+	0.8	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4025	磨製	流紋岩	直背直刃	5.6+	6.7	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4026	磨製	流紋岩	不明	5.0+	5.2	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4027	磨製	流紋岩	直背直刃	6.5+	5.0	0.9	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	36	4028	磨製	流紋岩	直背直刃	6.6+	4.2	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD1009	36	4029	磨製	流紋岩	弧背直刃	7.6+	5.2	0.8	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1010	36	4030	磨製	流紋岩	不明	4.3+	5.1	0.5	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1010	36	4031	磨製	流紋岩	不明	3.3+	2.4+	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1012	36	4032	磨製	流紋岩	不明	4.5+	3.7+	0.5	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1013	36	4033	磨製	流紋岩	1+	3.7+	4.5	0.6	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	Sx1024	36	4034	磨製	流紋岩	抉り	3.5+	4.1	0.4	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1035	37	4035	磨製	流紋岩	弧背直刃	10.3+	5.4	1.1	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1050	37	4036	磨製	流紋岩	弧背直刃	6.1+	5.2	0.7	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4037	磨製	流紋岩	直背直刃	7.5+	5.1	1.1	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4038	磨製	流紋岩	不明	3.9+	2.0+	0.7	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4039	磨製	流紋岩	弧背直刃	3.5+	4.6+	0.7	前期IIc	/		鴨部・川田遺跡II

遺 跡	所在地	遺 構	図 番	磨製/打製	石 材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時 期	完 形	備 考	文 献
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4040	磨製	流紋岩	不明	5.0+	4.2	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4041	磨製	流紋岩	1+	4.4+	4.6+	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4042	磨製	流紋岩	不明	6.2+	4.3+	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4043	磨製	流紋岩	2+	3.7+	5.7	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4044	磨製	流紋岩	1+	4.7+	4.6+	0.4+	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4045	磨製	流紋岩	2+	8.1+	5.6	0.7+	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4046	磨製	流紋岩	不明	4.0+	2.1+	0.7+	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4047	磨製	流紋岩	1	6.6+	5.1	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4048	磨製	流紋岩	1+	5.1+	5.0	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4049	磨製	流紋岩	不明	5.1+	4.7	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4050	磨製	流紋岩	不明	3.2+	4.5	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4051	磨製	流紋岩	1+	6.0+	5.8	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4052	磨製	流紋岩	抉り	4.8+	3.6	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4053	磨製	流紋岩	2+	7.2+	5.3	1.3	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4054	磨製	流紋岩	1+	6.2+	5.0	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4055	磨製	流紋岩	1+	5.3+	4.8	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	37	4056	磨製	流紋岩	2	13.6	4.8	1.0	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	38	4057	磨製	流紋岩	1+	8.7+	4.4	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	38	4058	磨製	流紋岩	2	12.4+	4.7	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	38	4059	磨製	流紋岩	抉り?	6.7+	5.5	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	38	4060	磨製	流紋岩	不明	5.9+	4.9	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	38	4061	磨製	流紋岩	抉り	12.1+	6.0	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SK1076	38	4062	磨製	流紋岩	1+	4.5+	4.2+	0.5+	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	38	4063	磨製	流紋岩	不明	2.8+	3.0+	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	38	4064	磨製	流紋岩	抉り	12.2	5.2	0.8	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	38	4065	磨製	流紋岩	不明	6.6+	4.5	1.2	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	38	4066	磨製	流紋岩	不明	7.4+	3.5+	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SK1076	48	4069	磨製	流紋岩	不明	16.5	5.7	1.4	前期 II c	ほぼ完形	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SK1185	39	4070	磨製	流紋岩	不明	6.5+	7.4	1.0	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	39	4072	磨製	流紋岩	不明	11.9	5.2	1.1	前期 II c	ほぼ完形	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	39	4073	磨製	流紋岩	不明	13.9	5.7	1.2	前期 II c	ほぼ完形	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	39	4074	磨製	流紋岩	不明	6.4+	5.4+	0.8+	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4075	磨製	流紋岩	不明	7.6+	4.9	0.7	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4076	磨製	流紋岩	不明	8.2+	6.3	1.7	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4077	磨製	流紋岩	不明	11.1+	5.3	1.4	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4078	磨製	流紋岩	不明	5.8+	5.9	0.9	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4079	磨製	流紋岩	不明	8.4+	4.0	0.8	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4080	磨製	流紋岩	不明	5.7+	5.2	0.6	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4081	磨製	流紋岩	不明	11.5+	6.2	1.6	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	40	4082	磨製	流紋岩	不明	11.4+	7.4	1.4	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	41	4083	磨製	流紋岩	抉り	9.5+	5.9	0.8	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	41	4084	磨製	流紋岩	不明	11.9+	5.9	1.2	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	41	4085	磨製	流紋岩	不明	10.5+	5.8	0.9	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	41	4086	磨製	流紋岩	不明	3.8+	4.7+	0.9	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	41	4087	磨製	流紋岩	不明	11.7+	5.3	1.0	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II

遺跡	所在地	遺構	図番	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文獻
鴨部・川田	さぬき市	SD01	41	4088	磨製	流紋岩	不明	7.6+	4.6	0.8	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	42	4089	磨製	流紋岩	不明	9.8	5.6	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	42	4090	磨製	流紋岩	不明	11.3+	5.2	1.3	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	42	4091	磨製	流紋岩	不明	5.8+	4.7	1.4	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	42	4093	磨製	流紋岩	不明	8.8+	6.5	1.2	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	42	4094	磨製	流紋岩	不明	6.4+	6.1	1.2	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD1001	42	4095	磨製	流紋岩	不明	12.1	5.6	1.5	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1010	42	4096	磨製	流紋岩	直背弧刃	8.4+	5.5	0.8	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1023	43	4097	磨製	流紋岩	不明	10.7+?	4.5	1.0	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1034	43	4098	磨製	流紋岩	不明	11.5	5.4	2.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1051	43	4099	磨製	流紋岩	不明	6.0+	3.3+	0.7	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1055	43	4100	磨製	流紋岩	不明	7.2+	5.2	1.3	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4101	磨製	流紋岩	抉り	6.0+	4.6	0.8	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4102	磨製	流紋岩	不明	3.8+	4.0+	0.7	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4103	磨製	流紋岩	不明	7.2+	4.5	1.2	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4104	磨製	流紋岩	弧背直刃	14.3	5.7	1.2	前期II c	ほぼ完形	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4105	磨製	流紋岩	不明	6.1+	4.4	1.3	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4106	磨製	流紋岩	不明	9.6+	5.5	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4107	磨製	流紋岩	不明	11.0+	5.1	0.7	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4108	磨製	流紋岩	不明	3.8+	5.1	0.6	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	43	4109	磨製	流紋岩	不明	7.6+	5.9	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4110	磨製	流紋岩	不明	11.1	6.0	0.8	前期II c	ほぼ完形	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4111	磨製	流紋岩	弧背弧刃	10.2+	5.8	0.9	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4112	磨製	流紋岩	不明	5.2+	5.8	0.9	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4113	磨製	流紋岩	不明	8.9	5.2	1.7	前期II c	ほぼ完形	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4114	磨製	流紋岩	不明	13.0	7.7	1.4	前期II c	ほぼ完形?	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4116	磨製	流紋岩	不明	6.7+	5.9	1.4	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4117	磨製	流紋岩	不明	7.3+	6.8	0.9	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4118	磨製	流紋岩	不明	12.9	6.1	1.8	前期II c	完形	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4125	磨製	流紋岩	不明	5.8+	5.5	1.0	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	44	4126	磨製	流紋岩	不明	5.4+	6.3	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SP1001	44	4127	不明	流紋岩	不明	6.4	4.7	1.1	前期II c	/	未成品?	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SK1113	45	4129	磨製	流紋岩	不明	9.4+	6.5	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SK1269	45	4131	磨製	流紋岩	不明	4.5+	6.0	0.8	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	45	4132	磨製	流紋岩	抉り	6.1+	5.7	0.9	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	45	4133	磨製	流紋岩	不明	8.3+	5.5	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	45	4135	磨製	流紋岩	不明	3.7+	5.6	1.4	前期II c	/	未成品?	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	45	4150	磨製	流紋岩	不明	2.7+	4.4	0.8	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1044	45	4163	磨製	流紋岩	抉り	6.8+	6.7	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	45	4171	磨製	流紋岩	不明	6.1+	5.8	1.2	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	45	4177	磨製	流紋岩	不明	8.5+	5.9	1.4	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SP1059	45	4178	磨製	安山岩	1+	6.2+	4.8	1.0	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SP1071	46	4179	磨製	安山岩	不明	3.9+	3.6+	0.6+	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SK1045	46	4180	磨製	安山岩	抉り	5.4+	4.5	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SK1077	46	4181	磨製	安山岩	不明	7.6+	7.3+	7.0	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II

遺 跡	所 在 地	遺 構	図 番 号	磨 製 / 打 製	石 材	平 面 形 状	孔	長 さ (cm)	幅 (cm)	厚 さ (cm)	時 期	完 形	備 考	文 献
鴨部・川田	さぬき市	SK1269	46	4182 磨製	安山岩	不明	不明	52+	4.5	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SK1330	46	4183 磨製	安山岩	弧背弧刃	1+	7.0+	5.9	1.2	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4184 打製	安山岩	直背弧刃	不明	9.0+	5.1	1.2	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4185 磨製	安山岩	不明	1+	4.9+	5.1	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4186 磨製	安山岩	不明	不明	3.4+	4.2+	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4187 磨製	安山岩	直背弧刃	不明	7.6+	6.1	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4188 磨製	安山岩	不明	不明	4.9+	4.6+	0.7+	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4189 磨製	安山岩	不明	不明	7.3+	4.9	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4190 磨製	安山岩	直背直刃	抉り	10.1	5.1	1.1	前期 II c	完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4191 磨製	安山岩	直背直刃	不明	8.0+	5.2	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4192 磨製	安山岩	不明	不明	3.6+	4.1	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4193 磨製	安山岩	不明	不明	4.3+	4.3+	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4194 磨製	安山岩	直背弧刃	抉り	11.3+	6.3	1.3	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4195 磨製	安山岩	不明	不明	5.7+	5.36+	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4196 磨製	安山岩	弧背直刃	2	8.8+	4.0	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4197 磨製	安山岩	不明	1+	5.0+	4.1+	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4198 磨製	安山岩	不明	1+	4.1+	4.8	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4199 磨製	安山岩	不明	2+	3.5+	3.6+	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4200 磨製	安山岩	弧背弧刃	なし	13.6+	6.6	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4201 磨製	凝灰岩?	直背弧刃	2+	5.0+	4.5	0.8	前期 II c	/	赤紫色の石材	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4202 磨製	安山岩	不明	1+	4.1+	4.5	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	46	4203 磨製	安山岩	弧背弧刃	抉り	4.9+	5.0	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	47	4204 磨製	安山岩	直背弧刃	2+	8.9+	6.0	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	47	4205 磨製	安山岩	直背弧刃	1+	8.4+	5.4	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	47	4206 磨製	安山岩	弧背弧刃	不明	8.2+	4.9	1.3	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SX1010	47	4207 磨製	安山岩	不明	1+	4.3+	3.5+	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SX1010	47	4208 磨製	安山岩	直背弧刃	1+	3.5+	6.1+	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SX1033・SX1034・SX1035	47	4209 打製	安山岩	不明	不明	5.8+	3.6	0.5	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SX1035	47	4210 磨製	安山岩	不明	不明	2.2+	2.5+	0.5	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4211 磨製	安山岩	不明	1+	4.3+	6.1	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4212 磨製	安山岩	弧背直刃	不明	5.1+	5.0	0.8	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4213 磨製	安山岩	直背弧刃	2	8.4+	4.4	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4214 磨製	安山岩	弧背直刃	2	9.4+	5.5	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4215 磨製	安山岩	不明	不明	5.0+	4.0+	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4216 磨製	安山岩	不明	不明	3.4+	3.1	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4217 磨製	安山岩	不明	抉り	8.5+	4.6	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4218 磨製	安山岩	不明	不明	5.9+	4.9	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4219 磨製	安山岩	不明	不明	6.3+	4.4	0.9	前期 II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4220 磨製	安山岩	直背弧刃	不明	6.9+	4.5+	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4221 磨製	安山岩	弧背弧刃	1+	6.9+	4.4	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4222 磨製	安山岩	直背弧刃	不明	5.5+	4.6	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	47	4223 磨製	安山岩	直背直刃	不明	4.1+	5.5	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4224 磨製	安山岩	弧背直刃	不明	12.2+	6.1	1.2	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4225 磨製	安山岩	直背直刃	不明	3.5+	4.8	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II

遺跡	所在地	遺構	図番	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4226	磨製	安山岩	不明	4.8+	3.9+	0.7	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4227	磨製	安山岩	1+	5.2+	6.5	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4228	磨製	安山岩	1+	5.6+	6.0+	0.7	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4229	磨製	安山岩	直背弧刃	不明	5.9+	5.1+	0.7	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4230	磨製	安山岩	不明	5.9+	3.5+	0.4	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4231	磨製	安山岩	1+	6.0+	5.2+	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	48	4232	磨製	安山岩	弧背直刃	抉り	11.5+	6.3	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SP1018	48	4233	打製	安山岩	不明	8.0+	4.5	1.5	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SK1273	49	4234	打製	安山岩	不明	13.0	6.9	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SD1015	49	4236	打製	安山岩	不明	6.2+	5.2	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4237	打製	安山岩	不明	8.4+	7.5	1.3	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4238	打製	安山岩	不明	6.7+	5.6	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4239	打製	安山岩	不明	4.8+	5.5	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4240	打製	安山岩	弧背弧刃	抉り	8.1+	5.9	2.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4241	打製	安山岩	直背弧刃	抉り	7.4+	8.3	1.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4242	打製	安山岩	不明	4.4+	5.7	1.5	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4243	打製	安山岩	直背直刃	不明	8.1+	4.7	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4244	打製	安山岩	直背弧刃	不明	11.8	4.9	1.2	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4245	打製	安山岩	不明	6.9+	4.9	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4246	打製	安山岩	直背直刃	抉り	10.6	5.4	1.0	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	49	4247	打製	安山岩	直背弧刃	不明	5.7+	5.7	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	49	4248	打製	安山岩	不明	9.2+	5.7	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	49	4249	打製	安山岩	弧背弧刃	抉り	6.3+	5.4	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	49	4250	打製	安山岩	不明	8.5+	5.0	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	49	4251	打製	安山岩	不明	8.7+	6.1	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4252	打製	安山岩	直背直刃	抉り	8.4+	4.8	1.4	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4253	打製	安山岩	弧背弧刃	抉り	6.1+	5.4	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4254	打製	安山岩	直背直刃	不明	4.7+	5.1	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1006	50	4255	打製	安山岩	直背直刃	抉り	4.9+	4.4	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1033	50	4256	打製	安山岩	弧背直刃	不明	5.4+	5.0	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4257	打製	安山岩	直背直刃	不明	5.1+	4.9	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4258	打製	安山岩	不明	5.5+	6.2	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4259	打製	安山岩	不明	6.0+	4.5	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4261	打製	安山岩	直背直刃	抉り	6.1+	5.0	1.5	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4262	打製	安山岩	弧背弧刃	不明	6.5+	3.8	1.0	前期II c	/	磨製石筴丁未成品の可能性もある	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4263	打製	安山岩	直背弧刃	抉り	5.4+	4.8	1.3	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4264	打製	安山岩	不明	6.2+	3.7+	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4265	打製	安山岩	不明	7.8+	5.5	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4266	打製	安山岩	弧背直刃	不明	7.2+	5.5	1.3	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4267	打製	安山岩	不明	5.9+	7.4	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II	
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4268	打製	安山岩	直背直刃	抉り	9.8+	5.4	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4269	打製	安山岩	弧背弧刃	不明	5.5+	4.8	0.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4270	打製	安山岩	直背直刃	不明	10.6+	5.7	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4271	打製	安山岩	直背直刃	不明	7.9+	6.0	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II



遺 跡	所在地	遺 構	図 番	磨製/打製	石 材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時 期	完 形	備 考	文 献
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4272	打製	安山岩	不明	4.4+	6.2	1.3	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4273	打製	安山岩	不明	5.0+	4.0	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4274	打製	安山岩	不明	5.0+	5.2	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4275	打製	安山岩	不明	4.5+	6.0	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4276	打製	安山岩	直背直刃	9.6+	5.4	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4277	打製	安山岩	不明	6.7+	4.8	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	50	4278	打製	安山岩	不明	5.9+	7.1	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SK1032	50	4280	打製	安山岩	不明	7.5+	7.2+	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	50	4281	打製	安山岩	不明	9.9+	3.1+	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	51	4282	打製	安山岩	直背直刃	7.5+	4.5	1.4	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	51	4283	打製	安山岩	不明	6.8+	5.8+	1.2	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	51	4284	磨製	安山岩	不明	4.1+	5.3+	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	52	4285	磨製	粘板岩	直背弧刃	12.3	4.4	0.9	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SX1033	52	4286	磨製	粘板岩	直背弧刃	9.5+	4.8	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SP1060	52	4287	磨製	結晶片岩	直背直刃	3.9+	5.0	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SK1183	52	4288	磨製	結晶片岩	直背直刃	8.6+	5.3	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SK1197	52	4289	磨製	結晶片岩	直背直刃	5.9+	4.4+	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	52	4290	磨製	結晶片岩	不明	6.7+	4.8+	0.4+	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	52	4291	磨製	結晶片岩	不明	5.5+	4.6	1.2	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	52	4292	磨製	結晶片岩	直背弧刃	7.7+	4.3	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	52	4293	磨製	結晶片岩	直背直刃	7.9+	5.9	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	53	4294	磨製	結晶片岩	不明	9.7+	4.1+	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	53	4295	磨製	結晶片岩	不明	9.5	4.6	0.7	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	53	4296	磨製	結晶片岩	直背弧刃	13.7	4.4	0.9	前期 II c	完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	53	4297	磨製	結晶片岩	直背弧刃	16.5	5.5	0.9	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	53	4298	磨製	結晶片岩	不明	11.5+	4.3	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	54	4299	磨製	結晶片岩	直背直刃	9.9	4.3	0.5	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	54	4300	磨製	結晶片岩	直背直刃	9.3	4.6	0.9	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	54	4301	磨製	結晶片岩	直背直刃	4.0+	3.4	0.5	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	54	4302	磨製	結晶片岩	直背直刃	10.2+	5.5	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	54	4303	磨製	結晶片岩	不明	3.9+	3.2+	0.5	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SD1024	54	4304	磨製	結晶片岩	不明	3.3+	4.0+	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SX1035	54	4305	磨製	結晶片岩	直背直刃	11.7	3.3	0.9	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	SX1045	54	4306	磨製	結晶片岩	不明	6.6	3.2	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4307	磨製	泥岩	不明	3.9+	3.9+	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4308	磨製	結晶片岩	直背直刃	5.5+	4.9	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4309	磨製	粘板岩	不明	5.3+	6.0	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4310	磨製	結晶片岩	直背弧刃	13.3	5.0	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4311	磨製	結晶片岩	直背直刃	7.7+	4.7	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4312	磨製	結晶片岩	不明	6.2+	4.0	0.5	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4313	磨製	結晶片岩	不明	5.9+	5.8	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	54	4314	磨製	結晶片岩	不明	3.7+	4.0	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	55	4315	磨製	結晶片岩	直背直刃	9.4+	4.6	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	55	4316	磨製	結晶片岩	直背弧刃	13.8	5.1	0.7	前期 II c	完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	55	4317	磨製	結晶片岩	直背直刃	9.9	4.6	0.6	前期 II c	完形		鴨部・川田遺跡 II

遺跡	所在地	遺構	図番	番号	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
鴨部・川田	さぬき市	包含層	55	4318	磨製	結晶片岩	直背直刃	なし	21.2	5.1	0.9	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD1043	55	4319	磨製	結晶片岩	不明	不明	10.2+	3.6	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SK1095	55	4320	磨製	結晶片岩	不明	不明	5.5+	2.9+	0.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	56	4321	磨製	結晶片岩	直背直刃	不明	11.6+	5.5	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	56	4322	磨製	結晶片岩	不明	不明	6.2+	3.3	0.7	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	56	4323	磨製	結晶片岩	直背直刃	抉り	10.1	5.2	1.0	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1010	56	4324	磨製	結晶片岩	直背直刃	抉り	12.4	4.9	0.7	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1051	56	4325	磨製	結晶片岩	不明	抉り	9.5	4.4	0.6	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	56	4326	磨製	結晶片岩	弧背直刃	なし	11.1+	4.8	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	56	4328	磨製	結晶片岩	不明	不明	6.7+	5.4	0.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	56	4329	磨製	結晶片岩	直背直刃	抉り	5.5+	4.6	0.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	56	4330	打製	結晶片岩	直背直刃	抉り	7.7+	4.9	1.1	前期II c	/	未成品	鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SP1056	116	6002	打製	サスカイト	不定形	不明	11.6+	7.2	1.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SP1112	116	6003	打製	サスカイト	弧背直刃	不明	7.2+	5.1	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SK1047	116	6004	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	12.5+	4.8	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SK1281,SK1282,SK1283	116	6007	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	11.9	5.2	1.2	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	116	6009	打製	サスカイト	不明	なし	3.9	4.5+	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	116	6010	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	9.8	5.2	0.8	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	116	6011	打製	サスカイト	不明	抉り	3.4+	3.6+	0.7	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	116	6012	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	3.6+	5.3+	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	116	6013	打製	サスカイト	弧背直刃	不明	2.6+	3.6+	0.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6015	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	4.7	9.4+	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6016	打製	サスカイト	不明	なし	2.6+	3.2+	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6019	打製	サスカイト	不定形	不明	7.4+	8.9	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6020	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	6.2	11.1+	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6022	打製	サスカイト	不定形	なし	11.7	6.6	0.9	前期II c	完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6023	打製	サスカイト	不明	抉り	3.7+	5.0+	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6024	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	4.1+	4.3+	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6025	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	9.9+	4.8	1.2	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6028	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.9+	4.5	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6030	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	8.0+	3.9	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6031	打製	サスカイト	不明	不明	5.3+	6.0	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6033	打製	サスカイト	不明	不明	4.1+	3.9	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6034	打製	サスカイト	不明	なし	3.5+	5.0+	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6035	打製	サスカイト	不明	抉り	4.1+	4.4+	0.8	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6036	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	9.1+	4.4	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6037	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	3.2+	3.8+	0.6	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6038	打製	サスカイト	不明	なし	4.9	4.4	0.9	前期II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD01	117	6039	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	5.5	12.3	1.1	前期II c	完形		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD1009	117	6040	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	5.9+	4.2	0.9	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SD1019	117	6042	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	6.9+	3.8+	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1034	117	6043	打製	サスカイト	不明	抉り	5.4+	4.1	0.7	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	SX1045	118	6044	打製	サスカイト	直背直刃	抉り?	9.5+	4.6	1.1	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118	6046	打製	サスカイト	直背直刃	なし	7.2+	4.7	1.0	前期II c	/		鴨部・川田遺跡II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118	6047	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	11.8	4.2	0.8	前期II c	完形		鴨部・川田遺跡II

遺跡	所在地	遺構	図番号	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6048	打製	サスカイト	不明	なし	52+	5.1	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6049	打製	サスカイト	不明	なし	3.0+	2.8+	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6050	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	6.1+	4.2	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6051	打製	サスカイト	直背直刃	不明	5.6+	4.5	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6052	打製	サスカイト	不明	抉り	4.8+	4.7+	1.4	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6053	打製	サスカイト	弧背直刃	不明	5.0+	4.5	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6054	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	10.7+	5.9	0.8	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6055	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.1+	4.3	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	118 6056	打製	サスカイト	直背直刃	なし	7.2	4.3	0.7	前期 II c	ほぼ完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6057	打製	サスカイト	直背直刃	なし	12.3	7.5	0.9	前期 II c	完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6061	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	6.6+	3.8	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6062	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	11.6+	5.7	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6063	打製	サスカイト	不明	抉り	4.1+	4.5+	0.6	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6064	打製	サスカイト	不明	抉り	5.7+	4.7	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6065	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	7.3+	5.0	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6066	打製	サスカイト	不明	抉り	9.4+	4.9	1.1	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6067	打製	サスカイト	不明	抉り	5.4+	4.4	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6072	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	4.4+	4.0	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6078	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	5.4+	4.6	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6079	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	8.9+	5.1	1.3	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	119 6080	打製	サスカイト	不明	抉り	4.4+	4.8	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	121 6081	打製	サスカイト	直背弧刃	なし	11.7	6.1	1.0	前期 II c	完形		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	121 6083	打製	サスカイト	不明	なし	5.9+	4.1+	1.0	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	6088	打製	サスカイト	不明	不明	2.5+	3.2+	0.7	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
鴨部・川田	さぬき市	包含層	6089	打製	サスカイト	不明	不明	3.3+	3.9+	0.9	前期 II c	/		鴨部・川田遺跡 II
奥の坊	高松市	SK21017	71 S56	打製	サスカイト	不明	抉り	5.9+	3.0+	1.2	中期 I	/		奥の坊遺跡群 V
奥の坊	高松市	SK21028	85 S58	磨製	不明	弧背弧刃	抉り?	5.5+	8.8+	1.0	中期 I	/		奥の坊遺跡群 V
奥の坊	高松市	NR91001	18 S23	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.4+	4.6+	0.6	中期 I	/		奥の坊遺跡群 VI
奥の坊	高松市	SH32003	54 S57	打製	サスカイト	直背弧刃?	抉り	2.9+	3.3	0.6	中期 I	/		奥の坊遺跡群 VII
奥の坊	高松市	SH32003	54 S58	打製	サスカイト	直背直刃	なし	4.4+	3.1	0.7	中期 I	/		奥の坊遺跡群 VII
奥の坊	高松市	遺構外	71 S289	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	10.0	5.0	1.3	中期 I - II	完形		奥の坊遺跡群 VII
奥の坊	高松市	遺構外	71 S290	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	11.4	4.3	1.2	中期 I - II	完形		奥の坊遺跡群 VII
奥の坊	高松市	遺構外	73 S298	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.7+	3.6	0.9	中期 I - II	/		奥の坊遺跡群 VII
奥の坊	高松市	遺構外	73 S300	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	9.5	4.3	1.1	中期 I - II	完形		奥の坊遺跡群 VII
北野	高松市	SD05	22 21	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	11.4	5.2	1.1	前期 II a	完形		北野遺跡 鎌野西遺跡(本書)
北野	高松市	SD24	42 291	打製	サスカイト	直背弧刃	抉り	7.5+	4.5	1.0	前期 II c	/		北野遺跡 鎌野西遺跡(本書)
北野	高松市	SD24	42 292	打製	サスカイト	直背弧刃	抉り	6.5+	5.6	0.9	前期 II c	/		北野遺跡 鎌野西遺跡(本書)
北野	高松市	SD24	42 293	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	8.0	4.3	0.7	前期 II c	完形		北野遺跡 鎌野西遺跡(本書)
北野	高松市	SD24	42 294	打製	サスカイト	直背弧刃	抉り	5.4+	4.5	0.8	前期 II c	/		北野遺跡 鎌野西遺跡(本書)
北野	高松市	SD24	42 295	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.0+	4.0	0.8	前期 II c	/		北野遺跡 鎌野西遺跡(本書)

遺跡	所在地	遺構	図番	番号	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
北野	高松市	SD24	42	296	打製	安山岩	弧背直刃	抉り	3.7+	3.9	0.7+	前期 II c	/		北野遺跡(本書)
北野	高松市	SD26	55	490	磨製	安山岩	直背弧刃	2+	8.5	5.1	0.8	前期 II b	/		北野遺跡(本書)
北野	高松市	SR04	61	539	磨製	頁岩	直背弧刃	2+	9.2+	3.6	0.9	前期 II b	/		北野遺跡(本書)
多肥宮尻	高松市	SR02 中層	52	S13	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.9	4.8	1.5	前期 II c?	完形	後期後半の土器も少量伴う	多肥宮尻遺跡
多肥宮尻	高松市	SR02 上層	62	S19	磨製	安山岩?	直背弧刃	2+	7.0+	5.1+	0.6	前期 II c?	/	同層には中期中葉の土器も少量伴う	多肥宮尻遺跡
多肥宮尻	高松市	SR02 上層	67	S22	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	9.2	4.6	0.9	前期 II c?	完形	同層には中期中葉の土器も少量伴う	多肥宮尻遺跡
多肥宮尻	高松市	SR02 上層	67	S23	打製	結晶片岩	直背直刃	抉り	8.2	4.5	0.6	前期 II c?	完形	同層には中期中葉の土器も少量伴う	多肥宮尻遺跡
汲込	高松市	SX215	37	90	磨製	安山岩?	直背直刃	2+	8.9+	5.4	0.8	前期 II a	/		汲込遺跡
天満・宮西	高松市	SD63	18	100	磨製	安山岩	直背弧刃	1+	6.1+	7.5+	0.7	前期 II a	/		天満・宮西遺跡 集落・水田編
天満・宮西	高松市	SH03	28	149	磨製	安山岩?	不明	不明	3.9+	4.0+	0.7	前期 II a		古墳前開の堅穴建物から出土	天満・宮西遺跡 集落・水田編
天満・宮西	高松市	立会調査	177	792	磨製	安山岩	直背弧刃	2+	7.6+	5.6	0.7	前期 II a	/		天満・宮西遺跡 集落・水田編
鬼無藤井	高松市	内環濠	34	S24	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	12.2	6.0	1.3	前期 II a	完形		鬼無藤井遺跡
北口	高松市	SD2-1	49	205	磨製	流紋岩	不明	1+	4.4+	4.5+	0.8	前期 II c	/		北口遺跡
下川津	坂出市	第2低地帯流路1	130	4	打製	サスカイト	直背直刃?	抉り	4.7+	3.2	1.1	前期 I c	/		下川津遺跡
下川津	坂出市	第2低地帯流路1	130	6	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.8+	4.6	1.1	前期 I c	/		下川津遺跡
下川津	坂出市	第2低地帯流路1	130	7	磨製	安山岩?	弧背直刃?	1+	8+	5.3+	10.0	前期 I c	/		下川津遺跡
下川津	坂出市	第2低地帯流路1	130	8	磨製	結晶片岩	弧背直刃	1+	7.3+	5.9+	0.7	前期 I c	/		下川津遺跡
下川津	坂出市	第2低地帯流路1	130	9	磨製	安山岩	直背弧刃	1+	7.4+	6.2+	0.8	前期 I c	/		下川津遺跡
平池南	丸亀市	SR II 02 上層	34	159	打製	サスカイト	直背直刃	なし	7.2+	5.0	1.1	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SR II 02 上層	35	164	磨製	片岩	直背弧刃	1+	5.2+	6.5	0.9	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SR II 03 上層	42	249	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	5.5+	5.0+	1.3	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SK II 01	66	409	磨製	片岩	直背直刃	1+	5.8+	5.4+	0.8	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SK II 06	71	422	磨製	砂岩	弧背直刃	不明	11.1+	4.4	1.3	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SX II 03	80	504	磨製	片岩	直背直刃	2+	7.7+	2.9	0.8	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SK III 01	98	626	磨製	片岩	直背直刃?	不明	6.7+	4.2	0.5	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SK III 02	99	628	磨製	片岩	直背弧刃?	2+	5.2+	4.6	0.6	前期 II b?	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SD III 06	107	676	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	5.5+	4.8	1.0	前期 II b?	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SX III 02	109	699	打製	サスカイト	直背弧刃? 弧背直刃?	なし	10.8+	6.9+	1.2	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SX III 02	109	700	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	11.0	5.2	1.0	前期 II b	完形		平池南遺跡
平池南	丸亀市	SK IV 06	117	732	打製	サスカイト	直背直刃?	抉り	9.1+	4.1	1.1	前期 II b	/		平池南遺跡
平池南	丸亀市	遺構外	218	1406	磨製	安山岩	直背弧刃 +	2+	8.4+	4.4	0.8	前期 II b?	/		平池南遺跡
中の池	丸亀市	SD8104	20	18	磨製	不明	直背直刃	2+	不明	不明	不明	前期 II b	/	写真のみ	中の池遺跡 概要
中の池	丸亀市	SD8104	20	19	打製	サスカイト?	直背直刃	抉り	不明	不明	不明	前期 II b	完形	写真のみ	中の池遺跡 概要
中の池	丸亀市	SD8104	20	20	打製	サスカイト?	弧背弧刃	抉り	不明	不明	不明	前期 II b	完形	写真のみ	中の池遺跡 概要
中の池	丸亀市	SD8104	20	23	打製	サスカイト?	弧背弧刃	抉り	不明	不明	不明	前期 II b	完形	写真のみ	中の池遺跡 概要
中の池	丸亀市	SD8104	20	24	打製	サスカイト?	直背弧刃	抉り	不明	不明	不明	前期 II b	/	写真のみ	中の池遺跡 概要
中の池	丸亀市	N2SD-2	73	S42	打製	サスカイト	弧背弧刃	抉り	13.2	5.7	1.2	前期 II b	完形		中の池遺跡 I

遺跡	所在地	遺構	図番	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
中の池	丸亀市	N2SD-2	73	S43 打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	128	4.5	1.0	前期 II b	完形		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N2SD-2	73	S45 磨製	泥岩?	弧背直刃	2+	71+	3.7	0.7	前期 II b	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N2SD-2	73	S46 磨製	頁岩	弧背直刃	2+	13.0	4.4	0.9	前期 II b	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3 集石遺構	77	S122 打製	サスカイト	不明	抉り	63+	5.8	0.9	前期 II b	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3 集石遺構	77	S123 打製	サスカイト	不明	抉り	62+	4.4+	0.9	前期 II b	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	82	S203 打製	サスカイト	不明	抉り	61+	4.9+	1.2	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S204 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.9	5.5	1.3	前期 II c	完形		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S205 打製	サスカイト	不明	抉り	2.8+	4.7+	0.9+	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S206 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.2+	5.0	1.1	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S207 打製	サスカイト	不明	抉り	5.6+	5.1	0.9	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S208 打製	サスカイト	不明	抉り	5.4+	5.4+	1.0	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S209 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	9.1	5.0	1.7	前期 II c	完形		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S210 打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	8.5+	5.7	1.1	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S211 打製	サスカイト	不定形	抉り	10.2+	6.4+	1.0	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S212 打製	サスカイト	弧背直刃	なし	10.1+	5.1	1.2	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S213 打製	サスカイト	弧背直刃	なし	11.4	4.4	1.2	前期 II c	完形		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S214 打製	サスカイト	弧背弧刃	なし	11.8	4.8	0.9	前期 II c	完形		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	83	S215 打製	サスカイト	弧背直刃	なし	10.4+	4.7	0.8	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	85	S227 磨製	泥岩?	不明	1+	6.3+	5.0	0.8	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	85	S228 磨製	泥岩?	不明	1+	5.1+	3.9+	0.9	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	85	S229 磨製	泥岩?	直背弧刃	不明	5.2+	4.0+	0.8	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	85	S231 磨製	黒色頁岩	直背直刃	2+	8.4+	4.5	0.8	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	85	S232 磨製	緑色片岩	直背直刃	2	11.1+	4.3+	0.6	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	N3SD-1	85	S233 磨製	緑色片岩	弧背弧刃	2+	7.8+	4.9+	0.8	前期 II c	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	遺構外	93	S379 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	11.2	4.2	1.7	前期 II b、II c?	完形		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	遺構外	93	S380 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.7+	4.5	0.9	前期 II b、II c?	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	遺構外	93	S381 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.7+	4.1	1.1	前期 II b、II c?	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	遺構外	95	S411 磨製	頁岩?	不明	1+	5.4+	3.5+	0.6+	前期 II b、II c?	/		中ノ池遺跡 I
中の池	丸亀市	遺構外	77	S7 磨製	滑石	不明	2+	5.7+	4.4+	0.5+	前期 II b、II c?	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S1-SD-1	77	S20 磨製	片岩	不明	1+	6.0+	4.3+	0.8	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S1-SD-1	77	S21 打製	サスカイト	不明	抉り	5.5+	4.6+	1.4	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S1-SD-1F	78	S23 磨製	頁岩	弧背直刃	2+	7.2+	5.4+	0.7	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S2-SD-1	78	S26 磨製	泥岩	不明	1+	6.8+	4.7+	1.1	前期 II b、II c?	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S3-SD-1	78	S32 磨製	緑色片岩	不明	1+	4.5+	3.3+	0.7	前期 II b、II c?	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S3-SD-2	80	S68 磨製	黒色頁岩	不明	2+	5.0+	4.7	0.8	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S3-SD-2	80	S71 打製	サスカイト	不明	抉り	5.4+	5.4+	1.0	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S3-SD-2	80	S72 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.3+	4.7	1.0	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	S3-SD-2	82	S93 打製	サスカイト	不明	抉り	3.0+	4.3+	0.8+	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N1-SD-1	83	N6 磨製	頁岩	弧背直刃	1+	4.3+	4.2	0.9	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N1-SD-2	84	N21 磨製	頁岩	不明	2+	4.3+	3.5+	0.4+	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N1-SD-2	84	N23 打製	サスカイト	直背弧刃	抉り	9.0	5.0	1.3	前期 II b	完形		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N2SD-1	85	N36 磨製	頁岩	不明	2+	4.7+	4.7	0.8	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N2SD-1	85	N37 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	10.3	3.9	1.0	前期 II b	完形		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N2SD-1	85	N38 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	12.3	3.8	1.2	前期 II b	完形		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N2SD-1	85	N42 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	6.5+	4.2	1.2	前期 II b	/		中ノ池遺跡 II

遺跡	所在地	遺構	図番	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文獻
中の池	丸亀市	遺構外	95	N1 磨製	結晶片岩	直背直刃	2	11.2	4.6	0.8	前期 II b ?	完形		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	遺構外	96	N10 磨製	結晶片岩	弧背弧刃	2+	7.7+	4.6	0.6	前期 II b ?	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	N8-SD-2	97	N28 打製	サスカイト	弧背弧刃	抉り	9.0+	5.0	0.8	前期 II b ?	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	遺構外	97	N3 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	11.7	4.0	1.0	前期 II b ?	完形		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	遺構外	100	N33 打製	サスカイト	弧背直刃	なし	7.9+	5.3	1.0	前期 II b ?	/		中ノ池遺跡 II
中の池	丸亀市	SD003	18	11 打製	サスカイト	弧背弧刃	抉り	9.9+	5.2	1.2	前期 I c ?	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD006	21	29 磨製	泥岩	直背直刃	2+	8.5+	4.5	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD090	33	51 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.5+	5.4	0.6	前期 II b	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD090	33	52 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	6.6+	4.4	0.6	前期 II b	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD090	34	53 打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	4.9+	4.4+	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD090	35	57 磨製	粘板岩 ?	弧背弧刃	2+	7.4+	3.7	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD091 黒褐色層	41	39 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	10.6+	4.5	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD091 黒褐色層	41	40 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	5.1+	3.9	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD091 灰褐色層	43	74 磨製	安山岩 ?	弧背弧刃	2	15.6+	5.8	0.9	前期 II a	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD091 灰褐色層	44	75 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	5.7+	4.8	0.7	前期 II a	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD091 灰褐色層	44	76 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.5+	5.2	1.2	前期 II a	/		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD091 灰褐色層	44	77 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.9	4.9	1.2	前期 II a	完形		中の池遺跡 8次
中の池	丸亀市	SD002 黒色粘土	41	60 磨製	安山岩 ?	不明	2+	5.0+	2.9	0.6	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD002 黒褐色細砂	42	63 磨製	安山岩	直背直刃	2+	6.4+	4.6	0.6	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD002 黒褐色細砂	42	65 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.6+	4.6	1.1	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD002 黒灰色細砂	44	72 磨製	安山岩 ?	直背直刃	1+	6.0+	5.3	0.8	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD081 明黄褐色粘土	74	191 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.2	5.0	0.9	前期 II b	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD081 明黄褐色粘土	77	209 磨製	粘板岩 ?	弧背弧刃 ?	3+	9.2+	4.7	0.8	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD081 暗灰色粘土	78	224 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	10.2	5.0	1.2	前期 II b ?	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	103	251 打製	サスカイト	弧背弧刃	なし	12.0	4.4	1.2	前期 II c	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	103	253 打製	サスカイト	弧背直刃	なし	9.0+	4.6	1.0	前期 II c	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	103	255 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	10.9	5.0	1.4	前期 II c	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	104	256 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.8	4.8	1.4	前期 II c	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	104	257 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	9.8	4.8	1.2	前期 II c	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	104	258 打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.8+	5.4	1.1	前期 II c	完形		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	106	262 磨製	安山岩 ?	直背弧刃	2+	8.9+	5.0	0.7	前期 II c	/		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	106	263 磨製	結晶片岩	弧刃	2	9.2+	4.6+	1.0	前期 II c	/		中の池遺跡 9・10次
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色粘質土	106	264 打製	安山岩	直背直刃	抉り	10.8	4.8	1.3	前期 II c	完形		中の池遺跡 9・10次

遺跡	所在地	遺構	図番号	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
中の池	丸亀市	SD083 暗褐色砂質土	109	磨製	結晶片岩	直背直刃	1+	6.4+	5.0	1.1	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD083 暗灰色粘質土	112	磨製	安山岩	弧背弧刃	1+	6.0+	5.0+	0.6	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD083 層位不明	113	磨製	流紋岩	直背直刃	1+	4.8+	5.0	0.8	前期 II b-II c	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD134 黒色粘土	119	磨製	安山岩?	弧背弧刃	2+	10.0+	5.4	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD134 黒色粘土	119	打製	サスカイト	直背直刃?	抉り	6.0+	5.5	0.8	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD134 黒灰色細砂	120	磨製	結晶片岩	直背直刃	2+	2.8+	4.3	0.8	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD134 黒灰色細砂	120	磨製	安山岩	直背直刃	2+	4.8+	5.0	0.6	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD167 黒褐色粘質土	128	磨製	結晶片岩	直背直刃	2+	6.1+	3.5	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD167 黒褐色粘質土	128	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.9	4.6	0.9	前期 II b	完形		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD167 黒褐色粘質土	128	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.3+	4.0	1.1	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD167 黒褐色粘質土	128	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	6.6+	4.8	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD167 黒褐色粘質土	128	打製	サスカイト	直背直刃	なし	9.6	3.5	1.0	前期 II b	完形		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	水田域赤灰色粘土	142	打製	サスカイト	直背弧刃	なし	12.8	5.2	1.2	前期 II b?	完形		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	水田域暗赤灰色粘土	142	磨製	安山岩	直背直刃	2	9.2+	4.8	0.7	前期 II b?	/		中の池遺跡 9・10 次
中の池	丸亀市	SD412 暗灰色粘土	52	磨製	安山岩	直背	2+	6.7+	3.7+	0.6	前期 II b	/		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD412 暗灰色粘土	52	打製	サスカイト	弧背弧刃	抉り	11.1	4.4	1.0	前期 II b	完形		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD412 灰色粘土	53	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	12.8	5.9	1.2	前期 II b	完形		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD540	73	打製	サスカイト	直背直刃?	抉り	5.7+	4.4	1.0	前期 II b	/		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD546 黒褐色土	80	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.8+	5.0	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD546 黒褐色粘土	80	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.2+	4.6	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD546 黒色粘質土	82	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	5.1+	4.4	0.9	前期 II b	/		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD546 黒色粘質土	82	打製	サスカイト	直背直刃	なし	10.6+	5.2	0.9	前期 II b	/		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SK522	93	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	6.2+	4.6	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 11 次
中の池	丸亀市	SD220 暗褐色シルト	48	磨製	堆積岩系の石材?	直背	2+	4.8+	3.3	1.0	前期 II b	/		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD220 暗褐色シルト	48	磨製	安山岩?	直背直刃	2+	8.4+	4.0	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD220 暗褐色シルト	48	打製	サスカイト	弧背弧刃	抉り	10.0	5.4	1.1	前期 II b	完形		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD283 暗褐色土	53	打製	サスカイト	弧背弧刃	抉り	9.6	4.6	1.5	前期 II b	完形		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD244	58	打製	サスカイト	弧背直刃	なし	4.8+	4.2	0.7	前期 II b?	/	共伴土器なし	中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD303 灰褐色細砂	63	磨製	安山岩	弧背弧刃	2+	9.9+	5.6	0.8	前期 II b	/		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD306 黒褐色細砂	71	磨製	粘板岩?	直背直刃?	1+	5.0+	3.6	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD306 黒褐色細砂	71	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	4.4+	3.8	0.7	前期 II b	/		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD306 暗灰色シルト	72	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	5.8+	4.6+	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD329 暗褐色細砂	81	磨製	結晶片岩	弧背弧刃	2+	8.8+	5.2	1.1	中期 I	/		中の池遺跡 12 次
中の池	丸亀市	SD336 暗褐色細砂	87	磨製	緑色岩?	不明	2	13.5	3.2+	1.2	前期 II b	/		中の池遺跡 12 次

遺跡	所在地	遺構	図番号	磨製/打製	石材	平面形	孔	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	時期	完形	備考	文献
中の池	丸亀市	SD338	89	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	8.0+	5.2	1.4	前期II a-II b	/		中の池遺跡
稲木遺跡	善通寺市	NR8412 など	14	磨製	粘板岩	直背弧刃	2	16.7	5.0	0.8	前期I b	完形	前期II a 期の土器もある	稲木遺跡
龍川五条	善通寺市	SD48	165	磨製	安山岩	不明	不明	4.4+	4.1	1.0	前期II a	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD48	166	磨製	安山岩	直背弧刃	2+	9.3+	5.9	1.0	前期II a	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD49	172	磨製	結晶片岩	直背弧刃	2+	6.8+	4.5+	0.7	前期II a	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	192	磨製	結晶片岩	直背直刃	不明	9.9+	4.6	1.3	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	192	磨製	安山岩	不明	不明	7.8+	7.6+	0.8	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	192	磨製	安山岩	不明	1+	4.4+	5.3+	0.5	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	192	磨製	安山岩	不明	抉り	4.6+	5.8+	0.5	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	193	磨製	粘板岩	直背弧刃	1+	5.9+	4.4+	0.8	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	193	磨製	結晶片岩?	直背弧刃	1+	6.8+	4.5+	0.9	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	193	磨製	泥岩	不明	1+	5.5+	4.3+	0.7	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD50	193	磨製	結晶片岩	不明	1+	5.5+	4.9+	0.6	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 下層	212	磨製	安山岩	直背弧刃	1+	6.3+	5.7+	0.6	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 下層	212	磨製	結晶片岩	不明	不明	3.5+	2.9+	0.4	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 下層	212	磨製	安山岩	不明	不明	4.1+	4.7+	1.0	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 下層	213	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.6+	5.5	1.2	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 下層	213	磨製	サスカイト	直背弧刃	抉り	5.5+	4.1+	0.5	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 下層	213	磨製	砂岩	弧背弧刃	抉り	11.6	6.7	1.0	前期II b	完形		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 中層	236	磨製	泥岩	直背弧刃	1+	5.7+	5.1+	0.7	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 中層	236	打製	サスカイト	直背弧刃	抉り	10.7	4.7	1.2	前期II b	完形		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 中層	236	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	9.9+	4.7	1.4	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 上層・支流	246	磨製	安山岩	不明	不明	5.5+	4.6+	1.1	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 上層・支流	246	磨製	結晶片岩	弧背直刃	2+	8.6+	5.5+	0.5	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 上層・支流	246	磨製	結晶片岩	不明	1+	7.0+	4.0+	1.0	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 上層・支流	247	磨製	安山岩	直背弧刃	1+	6.7+	4.2+	0.5	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SR04 上層・支流	247	磨製	緑色岩	弧背直刃	不明	6.1+	4.5+	0.7	前期II b	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	II C 区包含層	360	打製	サスカイト	直背直刃	抉り	7.7	4.0	1.0	前期II b?	完形		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	III A 区包含層	366	磨製	安山岩	不明	不明	4.8+	4.4+	1.0	前期II b?	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	III A 区包含層	366	打製	サスカイト	直背直刃	不明	5.6+	3.9+	1.0	前期II b?	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	III A 区包含層	366	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	8.1+	5.3	1.2	前期II b?	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	III A 区包含層	367	打製	サスカイト	不明	抉り	6.2+	4.2+	0.7	前期II b?	/		龍川五条遺跡 I
龍川五条	善通寺市	SD49	34	磨製	流紋岩	弧背弧刃	2+	6.9+	6.3	0.7	前期II a	/		龍川五条遺跡 II 飯野東分山崎南遺跡
龍川五条	善通寺市	SR04	80	磨製	安山岩	直背弧刃	不明	5.2+	5.9+	1.0	前期II b	/		龍川五条遺跡 II 飯野東分山崎南遺跡
龍川五条	善通寺市	SR05	93	打製	サスカイト	弧背直刃	抉り	4.75+	4.6+	0.9	前期II b	/		龍川五条遺跡 II 飯野東分山崎南遺跡



第19表 北野遺跡出土土器観察表

番号	地区名	遺構名	種類	調整		色調		胎土						法量 (cm)						残存率	備考
				外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚	その他		
1	1区北	SK07	弥生土器	ハラミガキ	(摩滅)	25Y8/2 灰白色	5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	(21.2)	20.6	(5.4)	-	-	-	3/8			
2	0区	SK31	弥生土器	ハラミガキ	ハケ→指オサ サエ→ハ ラミガキ	5Y8/1 灰白色	25Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	(12.3)	20.2	7.2	-	-	-	4/8			
3	0区	SK31	弥生土器	ハラミガキ	ハケ	25Y8/2 灰白色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	7.3	11.3	4.6	-	-	-	5/8			
4	0区	SK31	弥生土器	ハラミガキ	(摩滅)	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	(17.0)	-	-	-	-	-	1/8			
5	0区	SK31	弥生土器	(摩滅)	(摩滅)	25Y8/3 淡黄色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	(9.0)	-	-	-	2/8			
6	0区	SK31	弥生土器	(摩滅)	(摩滅)	25Y8/2 灰白色	25Y8/3 淡黄色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	(8.2)	-	-	-	2/8			
7	0区	SK31	弥生土器	(摩滅)	指オサエ	25Y8/2 灰白色	25Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	-	-	6.4	-	-	-	6/8			
8	0区	SK31	弥生土器	ハラミガキ?	指オサエ	10YR8/2 灰白色	25Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	6.9	-	-	-	7/8			
9	0区	SK31	弥生土器	(摩滅)	(摩滅)	25Y4/1 黄灰色	25Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	(6.0)	-	-	-	2/8			
10	0区	SK31	弥生土器	ハラミガキ	(摩滅)	10YR8/2 灰白色	25Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	7.6	-	-	-	8/8			
11	0区	SK31	弥生土器	(摩滅)	(摩滅)	25Y8/2 灰白色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	(7.0)	-	-	-	1/8			
12	1区北	SD05	弥生土器	ハケ→横ナデ	ハケ→指オサ エ→横ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	中・並	中・少	細・並	中・並	(16.4)	-	-	-	-	-	2/8			
13	1区北	SD05	弥生土器	ハケ→横ナデ	ハケ→指 オサエ	10YR5/4に ぶい黄褐色	10YR6/3に ぶい黄褐色	中・並	-	細・多	中・多	(15.5)	-	-	-	-	-	1/8	香東川 下流域産		
14	1区北	SD05	弥生土器	横ナデ→ハケ	ハケ→指オサ エ→横ナデ	7.5YR6/4に ぶい褐色	7.5YR5/3に ぶい褐色	中・並	中・少	細・多	中・並	(16.7)	-	-	-	-	-	1/8	未満 香東川 下流域産		
15	1区東	SD05	弥生土器	ハケ→横ナデ	板ナデ→指オ サエ→横ナデ	10YR4/1 褐灰色	10YR5/2 灰黄褐色	中・並	-	細・並	中・多	(15.5)	-	-	-	-	-	1/8			
16	2区東	SD05	弥生土器	横ナデ	横ナデ	10YR5/4に ぶい黄褐色	10YR6/4に ぶい黄褐色	中・多	-	細・多	中・多	-	-	-	-	-	-	1/8	未満 香東川 下流域産		
17	1区北	SD05	土師器	横ナデ	横ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	細・並	-	-	-	(15.0)	-	-	-	-	-	1/8	未満		
18	1区北	SD05	縄文土器	ハラケズリ	ハラミガキ	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	未満		
19	2区東	SD05	弥生土器	ハラミガキ	板ナデ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8			
20	2区東	SD05	弥生土器	(摩滅)	ハラケズリ, ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	(12.4)	-	(4.4)	-	-	-	1/8			
23	1区南	SD07	弥生土器	(摩滅)	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/8			
24	1区南	SD07	弥生土器	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y7/2 灰黄色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	(18.4)	-	-	-	-	-	1/8			
25	1区南	SD07	弥生土器	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	7.5YR6/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8			
26	1区南	SD07	弥生土器	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/3 浅黄褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8			

番号	地区区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)					残存率	備考			
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚	その他					
27	1区南	SD07	弥生土器	壺	ハラミガキ	板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
28	1区南	SD07	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
29	1区南	SD07	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
30	1区南	SD07	弥生土器	壺	(摩滅)	(摩滅)	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR6/4に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/8	
31	1区北	SD07	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5Y4/1 灰色	5Y4/1 灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/8	
32	1区北	SD07	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(22.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
33	1区南	SD07	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(20.1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
34	1区南	SD07	弥生土器	甕	ハラミガキ	(摩滅)	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(25.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
35	1区南	SD07	弥生土器	甕	ハラミガキ	板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR5/1 褐灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
36	1区南	SD07	弥生土器	甕	(摩滅)	ハラミガキ	10YR8/1 灰白色	10YR8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(35.8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
37	1区南	SD07	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
38	1区北	SD07	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	2.5Y7/3 浅黄色	粗・多	-	-	-	-	-	6.1	-	-	-	-	-	-	-	-	8/8	
39	1区南	SD07	弥生土器	甕	指オサエ	ハケ→ ハラミガキ	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y6/1 黄灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/8	
40	1区北	SD07	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	6.9	-	-	-	-	-	-	-	-	7/8	
44	北野 3区	SD41	弥生土器	壺	ハケ	ハケ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(13.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
45	北野 3区	SD41	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
46	北野 3区	SD41	弥生土器	甕	板ナデ→ ハラミガキ	板ナデ→ ハラミガキ	2.5Y7/2 灰黄色	7.5Y2/1 黒色	粗・多	-	-	-	-	(30.2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
47	北野 3区	SD41	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(15.8)	32.0	11.1	-	-	-	-	-	-	-	7/8	
48	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/2 灰黄褐色	N4/ 灰色	粗・多	-	-	-	-	(12.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
49	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ	板ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
50	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR5/6 明 赤褐色	7.5YR7/4に ぶい褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
51	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ・指オ サエ→ ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	(16.2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
52	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ →板ナデ	ハケ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(18.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
53	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(16.6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
54	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/6 褐色	7.5YR7/6 褐色	粗・多	中・少	-	-	-	(17.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚		
55	2区西・3区南	SD24	弥生土器	壺	ハケ	ハケ	10YR7/3に ぶい黄橙色	7.5YR7/6 橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
56	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ 指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	7.5YR8/3 浅黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4/8	
57	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
58	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR8/3 浅黄橙色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
59	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ→ 板ナデ→ ハラミガキ	10YR8/4 浅黄橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
60	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ→ ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/8 黄橙色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
61	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ (摩滅)	指オサエ	10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
62	3区南	SD24	弥生土器	壺	指オサエ →板ナデ	ハケ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未滿	
63	2区西	SD24	弥生土器	壺	(摩滅)	指オサエ	5YR7/6 橙色	10YR8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未滿	
64	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
65	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/6 橙色	7.5YR7/6 橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未滿	
66	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/8	
67	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR6/4に ぶい黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
68	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ ハラミガキ	指オサエ →ハケ	2.5Y7/2 灰黄色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
69	2区西	SD24	弥生土器	壺	板ナデ	指オサエ→ ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
70	2区西	SD24	弥生土器	壺	(摩滅)	板ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/4 浅黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
71	2区西・3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ, ハケ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
72	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
73	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/1 褐灰色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
74	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/4に ぶい黄橙色	5YR6/6 橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
75	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/4に ぶい黄橙色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
76	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR5/6 明褐色	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
77	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	7.5YR7/4に ぶい黄橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
78	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考	
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚			その他
79	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ 指オサエ→板ナデ (摩滅)	ハラミガキ	2.5Y7/2 灰黄色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	16.4	-	-	-	6/8	
80	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ (摩滅)	ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄橙色	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	細・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
81	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ (摩滅)	ハラミガキ	10YR8/1 灰白色	10YR5/1 褐灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(18.8)	-	-	-	1/8	
82	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR6/4に ぶい橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(16.2)	-	-	-	2/8	
83	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/3 浅黄橙色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(18.4)	-	-	-	1/8	
84	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR6/6 褐色	7.5YR6/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(16.9)	-	-	-	6/8	
85	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ (摩滅)	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(18.4)	-	-	-	2/8	
86	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/4 浅黄橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(18.0)	-	-	-	1/8	
87	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/3に ぶい橙色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
88	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ (摩滅)	板ナデ	7.5YR6/6 褐色	7.5YR7/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
89	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	2.5Y7/2 灰黄色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(16.6)	-	-	-	1/8	
90	3区南	SD24	弥生土器	壺	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ 板ナデ	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(17.6)	-	-	-	1/8未満	
91	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/4 浅黄橙色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
92	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/3に ぶい黄橙色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
93	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄橙色	5YR5/6明 赤褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
94	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(10.8)	-	-	-	3/8	
95	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/8 褐色	5YR6/8 褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(11.5)	-	-	-	3/8	
96	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 褐色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(24.4)	-	-	-	1/8	
97	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ→ ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 褐色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(22.0)	-	-	-	1/8	
98	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ (摩滅)	ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(19.2)	-	-	-	1/8	
99	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(12.9)	-	-	-	1/8	
100	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/3に ぶい橙色	7.5YR6/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(13.6)	-	-	-	2/8	
101	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR6/4に ぶい橙色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/8	
102	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ (摩滅)	ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(23.8)	-	-	-	1/8未満	

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考			
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚			その他		
103	2区西	SD24	弥生土器	壺	(摩滅)	(摩滅)	10YR8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8		
104	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ヘ 指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	5YR6/6 橙色	5YR5/6 明赤褐色	粗・多	中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
105	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ヘ ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/3 に ぶい黄橙色	2.5Y7/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
106	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR8/3 黄褐色	5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
107	2区西	SD24	弥生土器	壺	(摩滅)	指オサエ →ハケ	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
108	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	指オサエ	指オサエ	5YR7/4 に ぶい橙色	5YR7/4 に ぶい橙色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
109	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR7/3 に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
110	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
111	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y6/1 黄灰色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
112	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ 工、ハケ	10YR8/4 浅黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
113	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ、ハケ	指オサエ →板ナテ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR7/2 に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
114	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハケ	5YR7/8 橙色	2.5Y4/1 黄灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
115	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/3 に ぶい黄褐色	N4/ 灰色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
116	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ヘ ハラミガキ	板ナテ、ハ 板ナテ	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
117	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ →板ナテ	7.5YR8/1 灰白色	7.5YR8/1 灰白色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/8	
118	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ヘ ハラミガキ	指オサエ→ 板ナテ	2.5Y7/1 灰白色	7.5YR7/8 黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
119	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	板ナテ→ 指オサエ	10YR7/2 に ぶい黄褐色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
120	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ヘ ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	N3/ 暗灰色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
121	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ	板ナテ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
122	3区南	SD24	弥生土器	壺	板ナテ	指オサエ	10YR7/3 に ぶい黄褐色	2.5Y6/4 に ぶい黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4/8	
123	2区西	SD24	弥生土器	壺	板ナテ→ヘ ハラミガキ	板ナテ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7/8	
124	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ→ ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/1 灰白色	10YR7/3 に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
125	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4/8	
126	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ヘ ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/3 に ぶい黄褐色	10YR7/3 に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4/8	
127	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ	指オサエ	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y3/1 黒褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚		
128	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハケ	ハケ→ヘ ラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	細・少	-	-	96	-	-	-	6/8			
129	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ	ハケ	10R6/8赤 褐色	10YR5/1 褐灰色	粗・多	-	-	-	-	82	-	-	-	2/8			
130	2区西	SD24	弥生土器	壺	板ナデ→ヘ ラミガキ	ヘラミガキ	10YR8/3 浅黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	9.1	-	-	-	6/8			
131	3区南	SD24	弥生土器	壺	ハケ→ヘ ラミガキ	(摩滅)	25Y7/3 浅黄色	25Y6/3に ぶい黄色	粗・多	中・少	-	-	-	(10.4)	-	-	-	4/8			
132	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	板ナデ	指オサエ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR4/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	11.4	-	-	-	6/8			
133	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	壺	ヘラミガキ	指オサエ→ ヘラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	-	100	-	-	-	2/8			
134	2区西	SD24	弥生土器	壺	ヘラミガキ	板ナデ	10YR8/1 灰白色	25Y8/1 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	-	100	-	-	-	4/8			
135	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ→ ヘラミガキ	指オサエ→ 板ナデ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(10.8)	-	-	-	1/8			
136	2区西	SD24	弥生土器	壺	指オサエ・ ハケ→ヘ ラミガキ	指オサエ・ ヘラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	(12.0)	-	-	-	2/8			
137	2区西	SD24	弥生土器	壺	ヘラミガキ	ヘラミガキ	5YR7/6 褐色	5YR6/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	130	-	-	-	7/8			
138	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅)	ハケ	25Y8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	粗・少	細・少	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
139	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	7.5YR8/4 浅黄褐色	25YR7/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	(19.4)	-	-	-	1/8 未満			
140	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ・ ラミガキ	ヘラミガキ	25Y6/1 黄灰色	25Y6/1 黄灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
141	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	10R6/6赤 褐色	10R6/6赤 褐色	粗・多	-	-	-	-	(23.2)	-	-	-	1/8 未満			
142	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ→ヘ ラミガキ	ヘラミガキ	10YR5/2 灰黄褐色	25Y8/1 灰白色	粗・多	細・少	-	-	-	(17.6)	-	-	-	1/8			
143	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ヘラミガキ	指オサエ→ 板ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/4 浅黄褐色	粗・多	細・少	-	-	-	(25.2)	-	-	-	1/8 未満			
144	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ 板ナデ	指オサエ→ 板ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(20.0)	-	-	-	1/8			
145	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ	ヘラミガキ キ、板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	25Y3/1 黒褐色	粗・多	-	-	-	-	(22.6)	-	-	-	1/8 未満			
146	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ヘラミガキ	(摩滅)	7.5YR5/3に ぶい褐色	25Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(18.0)	-	-	-	1/8			
147	3区南	SD24	弥生土器	甕	ヘラミガキ	指オサエ→ ハケ	25Y8/2 灰白色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	(17.4)	-	-	-	1/8			
148	3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ヘラミガキ	指オサエ→ ハケ	10YR7/3に ぶい黄褐色	25Y7/2 灰黄色	粗・多	中・少	細・少	-	-	(18.3)	-	-	-	1/8			
149	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	板ナデ→ヘ ラミガキ	ヘラミガキ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
150	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ→ヘ ラミガキ	指オサエ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
151	3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ヘラミガキ	ヘラミガキ	25Y8/2 灰白色	7.5YR7/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	(26.5)	-	-	-	1/8 未満			
152	2区西	SD24	弥生土器	甕	ヘラミガキ	ヘラミガキ	10YR8/2 灰白色	25Y8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	(32.6)	-	-	-	1/8 未満			

番号	地区区	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							残存率	備考		
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高			底径	長さ
153	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	板ナデ	10YR8/2 灰白色	7.5YR7/6 橙色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
154	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/4に ぶい橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	粗・並	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
155	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハケ→ ハラミガキ	指オサエ →板ナデ	7.5YR6/4に ぶい橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	粗・少	粗・少	-	-	-	-	-	-	1/8	
156	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR6/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
157	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
158	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ 指 オサエ	指オサエ →ハケ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
159	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
160	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハケ・指 オサエ	指オサエ	7.5YR6/4に ぶい橙色	10YR7/4に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
161	3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR5/1 褐灰色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
162	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	(摩滅)	2.5Y4/1 黄灰色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
163	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	板ナデ	10YR4/1 褐灰色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
164	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ →板ナデ	2.5Y7/2 灰黄色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
165	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	板ナデ	7.5YR5/2 灰褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
166	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅)	板ナデ	2.5Y8/1 灰白色	5YR5/8明 赤褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
167	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ	指オサエ →ハケ	10YR7/3に ぶい黄褐色	5YR6/6 橙色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
168	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	2.5Y7/1 灰白色	5YR6/6 橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
169	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →ハケ	指オサエ →板ナデ	10YR5/2 灰黄褐色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	4/8	
169	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →ハケ	指オサエ →板ナデ	10YR5/2 灰黄褐色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	4/8	
170	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ →板ナデ	5YR7/8 褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
171	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR6/1 褐灰色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
172	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハケ	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
173	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハケ	10YR7/2に ぶい黄褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
174	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	2.5Y4/1 黄灰色	2.5Y7/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
175	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ	指オサエ →ハケ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							残存率	備考		
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高			底径	長さ
176	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →ハケ	指オサエ →ハケ	2.5Y5/1 黄灰色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	(19.6)	-	-	-	-	1/8	
177	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →ハケ	指オサエ →板ナデ	10YR7/2に ぶい黄橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	粗・少	(19.3)	-	-	-	-	1/8	
178	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ→ハ ラミガキ	ハラミガキ	7.5YR4/2 灰褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	(20.5)	-	-	-	-	1/8 未満	
179	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	板ナデ、指 オサエ	板ナデ	7.5YR4/2 灰褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(20.5)	-	-	-	-	5/8	
179	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	板ナデ、指 オサエ	板ナデ	7.5YR4/2 灰褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(20.5)	-	-	-	-	5/8	
179	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	板ナデ、指 オサエ	板ナデ	7.5YR4/2 灰褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(20.5)	-	-	-	-	5/8	
180	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	(摩滅)	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	(24.9)	-	-	-	-	1/8 未満	
181	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	ハケ、指 オサエ	10YR8/2 灰白色	10YR7/6 明黄褐色	粗・多	-	-	-	(32.8)	-	-	-	-	1/8 未満	
182	0	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
183	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ハラミガキ	板ナデ→ハ ラミガキ	10YR6/3に ぶい黄橙色	10YR8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	(35.6)	-	-	-	-	2/8	
184	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 橙色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	(34.6)	-	-	-	-	3/8	
184	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 橙色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	(34.6)	-	-	-	-	3/8	
185	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ →ハケ	10YR4/1 褐灰色	10YR5/1 褐灰色	粗・多	中・少	-	-	(27.1)	-	-	-	-	1/8 未満	
186	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →板ナデ	指オサエ→ ハラミガキ	7.5YR7/6 橙色	7.5YR7/6 橙色	粗・多	-	-	中・少	(39.4)	-	-	-	-	1/8 未満	
187	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ →板ナデ	10YR7/3に ぶい黄橙色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	(25.8)	-	-	-	-	1/8 未満	
188	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/4に ぶい黄橙色	2.5Y8/3 淡黄色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
189	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →板ナデ	板ナデ、指 オサエ	10YR7/2に ぶい黄橙色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	(24.8)	-	-	-	-	1/8	
190	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	板ナデ	7.5YR4/2 灰褐色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	(16.4)	-	-	-	-	1/8 未満	
191	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →板ナデ	板ナデ	10YR8/1 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	細・少	-	-	(48.0)	-	-	-	-	1/8 未満	
192	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅)	指オサエ→ ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	細・少	-	-	(18.6)	-	-	-	-	1/8	
193	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →板ナデ	指オサエ	10YR6/3に ぶい黄橙色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(23.4)	20.1	(8.0)	-	-	2/8	
194	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	細・少	-	-	(20.2)	-	-	-	-	1/8 未満	
195	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ	7.5YR6/4に ぶい黄褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	粗・少	(18.4)	-	-	-	-	1/8 未満	
196	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR4/1 褐灰色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	(20.0)	-	-	-	-	2/8	



番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚		
196	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR4/1 褐灰色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	(20.0)	-	-	-	-	-	2/8			
197	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅) 指オサエ	指オサエ →板ナデ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	(25.6)	-	-	-	-	-	1/8			
198	3区南	SD24	弥生土器	甕	(摩滅) 指オサエ	指オサエ →ハケ	5YR6/6 橙色	5YR6/6 橙色	粗・多	-	中・少	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
199	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	板ナデ	7.5YR4/2 灰褐色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	細・少	-	(20.4)	-	-	-	-	-	1/8			
200	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ	N2/黒色	10YR7/4に ぶい黄橙色	粗・多	粗・少	-	(22.8)	-	-	-	-	-	1/8			
200	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ	N2/黒色	10YR7/4に ぶい黄橙色	粗・多	粗・少	-	(22.8)	-	-	-	-	-	1/8			
201	3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →ハケ	ハケ	10YR8/4 浅黄褐色	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	粗・少	-	(20.8)	-	-	-	-	-	1/8 未満			
202	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ →ハケ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	(22.2)	-	-	-	-	-	1/8			
203	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅) 指オサエ	指オサエ →板ナデ	10YR8/3 浅黄褐色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	中・少	-	(18.4)	-	-	-	-	-	1/8 未満			
204	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	(摩滅) 板ナデ	7.5YR4/2 灰褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	(27.2)	-	-	-	-	-	1/8 未満			
205	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ →板ナデ	2.5Y5/1 黄灰色	2.5Y5/1 黄灰色	粗・多	-	-	(21.4)	-	-	-	-	-	1/8			
206	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ→ 板ナデ→ハ ラミガキ	7.5YR5/2 灰褐色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	(17.8)	-	-	-	-	-	1/8			
207	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ→ハ ラミガキ	指オサエ →ハケ	10YR5/3に ぶい黄褐色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	細・少	-	(26.8)	-	-	-	-	-	2/8			
208	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅) 指オサエ	指オサエ	5YR6/6 橙色	10YR8/4 浅黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
209	3区南	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ 板ナデ→ハ ラミガキ	10YR7/4に ぶい黄褐色	10YR6/1 褐灰色	粗・多	-	-	(20.8)	-	-	-	-	-	2/8			
210	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ →板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	5YR7/8 橙色	粗・多	-	-	(20.4)	-	-	-	-	-	1/8 未満			
211	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	ハケ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
211	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	ハケ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
212	2区西	SD24	弥生土器	甕	(摩滅) 指オサエ	板ナデ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR3/1 黒褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満			
213	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y7/1 灰白色	粗・多	細・少	-	(27.1)	-	-	-	-	-	2/8			
213	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y7/1 灰白色	粗・多	細・少	-	(27.1)	-	-	-	-	-	2/8			
214	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →ハケ	指オサエ →ハケ	7.5YR7/6 褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	(42.4)	-	-	-	-	-	1/8 未満			
215	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	指オサエ	10R5/6 赤色	N4/灰色	粗・多	-	-	(25.4)	-	-	-	-	-	2/8			
216	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	(21.4)	-	-	-	-	-	1/8			

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考		
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚			その他	
216	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→板ナデ →板ナデ	指オサエ →板ナデ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(19.6)	-	-	-	1/8 未満	
217	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ→板ナデ →板ナデ	ハラミガキ	7.5YR7/4に ぶい橙色	7.5YR7/4に ぶい橙色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	(33.2)	-	-	-	1/8 未満	
218	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(15.6)	-	-	-	1/8	
219	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	板ナデ	2.5Y8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
220	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	板ナデ (摩滅)	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(13.0)	-	-	-	1/8	
221	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ (摩滅)	指オサエ (摩滅)	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR6/1 褐灰色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	(15.2)	-	-	-	2/8	
221	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ (摩滅)	指オサエ (摩滅)	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR6/1 褐灰色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	(15.2)	-	-	-	2/8	
222	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハケ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(22.4)	-	-	-	1/8	
223	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR6/4に ぶい橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(18.8)	-	-	-	2/8	
223	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	7.5YR8/6 浅黄褐色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	(16.0)	-	-	-	2/8	
223	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	7.5YR8/6 浅黄褐色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	(16.0)	-	-	-	2/8	
223	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハケ	5YR7/6 褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	(18.7)	-	-	-	2/8	
224	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ (摩滅)	板ナデ (摩滅)	10YR7/2に ぶい黄褐色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	-	-	(18.2)	-	-	-	1/8 未満	
225	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ (摩滅)	板ナデ (摩滅)	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(17.9)	-	-	-	1/8 未満	
226	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/1 褐灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	14.4	-	-	-	7/8	
226	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/1 褐灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	14.4	-	-	-	7/8	
227	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ (摩滅)	ハラミガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(15.4)	-	-	-	1/8 未満	
228	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハラミガキ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR6/4に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(10.2)	-	-	-	3/8	
228	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハラミガキ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR6/4に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(10.2)	-	-	-	3/8	
229	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ (摩滅)	指オサエ (摩滅)	7.5YR6/6 褐色	7.5YR6/6 褐色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
230	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y5/2 暗灰黄色	10YR6/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(22.4)	-	-	-	1/8 未満	
231	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ (摩滅)	指オサエ (摩滅)	7.5YR6/3に ぶい褐色	7.5YR6/4に ぶい褐色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	(15.2)	-	-	-	1/8	
232	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ (摩滅)	指オサエ (摩滅)	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	-	-	(16.8)	-	-	-	1/8 未満	
233	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ →ハラミガキ	ハラミガキ →ハラミガキ	10YR4/1 褐灰色	10YR4/1 褐灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(15.2)	-	-	-	1/8	

番号	地区区西	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚		
234	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	板ナデ	10YR4/1 褐灰色	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	粗・少	-	-	(64)	-	-	-	4/8				
235	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	板ナデ	N3/暗灰色	N3/暗灰色	粗・多	-	-	-	66	-	-	-	8/8				
236	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハケ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR4/1 褐灰色	粗・多	粗・少	-	-	80	-	-	-	6/8				
237	3区南	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ → ハラミガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	86	-	-	-	5/8				
238	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	板ナデ	25Y8/1 灰白色	25Y8/1 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	95	-	-	-	7/8				
239	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	板ナデ→ ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	68	-	-	-	6/8				
240	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR5/1 褐灰色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	(84)	-	-	-	7/8				
241	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	指オサエ	7.5YR6/2 灰褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	78	-	-	-	6/8				
242	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	(摩滅)	10YR8/2 灰白色	10YR8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	85	-	-	-	5/8				
243	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ → ハケ	10YR8/3 浅黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	76	-	-	-	5/8				
244	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ → 板ナデ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	7.1	-	-	-	6/8				
245	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y7/2 灰黄色	10YR5/3に ぶい黄褐色	粗・多	粗・少	-	-	(68)	-	-	-	4/8				
245	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y7/2 灰黄色	10YR5/3に ぶい黄褐色	粗・多	粗・少	-	-	(68)	-	-	-	4/8				
246	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	粗・少	-	-	7.3	-	-	-	7/8				
247	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ → 板ナデ	指オサエ → 板ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	7.3	-	-	-	7/8				
248	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ, 板ナデ	2.5YR6/8 褐色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(84)	-	-	-	3/8				
249	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ	7.5YR6/3に ぶい褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	(87)	-	-	-	2/8				
250	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ → ハケ	5YR7/4に ぶい褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(86)	-	-	-	3/8				
250	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ → ハケ	5YR7/4に ぶい褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(86)	-	-	-	3/8				
251	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	7.5YR4/2 灰褐色	粗・多	粗・少	-	-	8.1	-	-	-	6/8				
251	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	ハラミガキ	10YR7/2に ぶい黄褐色	7.5YR4/2 灰褐色	粗・多	粗・少	-	-	8.1	-	-	-	6/8				
252	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ	5YR7/8褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	8.2	-	-	-	7/8				
253	2区西	SD24	弥生土器	甕	板ナデ	指オサエ → 板ナデ	7.5YR7/6 褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	8.2	-	-	-	2/8				
254	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR6/3に ぶい褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	7.1	-	-	-	5/8				
255	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ → 板ナデ	5YR6/4に ぶい褐色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	7.2	-	-	-	5/8				

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚		
256	2区西	SD24	弥生土器	甕	指オサエ →ハケ	指オサエ・ ハケ→ハ ラミガキ	10YR6/2 灰黄褐色	7.5YR6/4に ぶい橙色	粗・多	粗・少	-	-	(7.2)	-	-	-	3/8				
257	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	甕	(摩滅) 指オサエ→ ハラミガキ	ハケ・ハ ラミガキ	5YR7/6 褐色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	10.4	-	-	-	4/8				
258	2区西	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR5/1 褐灰色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	中・少	-	-	(20.1)	-	-	-	2/8				
259	2区西	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ→ ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	5YR7/6 褐色	5YR7/6 褐色	粗・多	中・少	-	-	(24.3)	-	-	-	1/8 未満				
260	3区南	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/6 明黄褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	中・少	-	-	(24.4)	-	-	-	1/8				
261	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	板ナデ	7.5YR6/4に ぶい橙色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	粗・少	-	-	(23.0)	-	-	-	4/8				
261	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	板ナデ	7.5YR6/4に ぶい橙色	2.5Y7/2 灰黄色	粗・多	粗・少	-	-	(23.0)	-	-	-	4/8				
262	3区南	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ・ ハケ→ハ ラミガキ	指オサエ	10YR8/3 浅黄褐色	5Y3/1オ リーブ黒色	粗・多	中・少	-	-	(25.2)	-	-	-	1/8 未満				
263	2区西	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ →ハケ	ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	(26.0)	-	-	-	1/8 未満				
264	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ →板ナデ	板ナデ	5YR6/8 褐色	5YR6/8 褐色	粗・多	-	-	-	(50.0)	-	-	-	1/8				
264	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ →板ナデ	板ナデ	5YR6/8 褐色	5YR6/8 褐色	粗・多	-	-	-	(50.0)	-	-	-	1/8				
265	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	粗・少	-	-	(12.0)	-	-	-	3/8				
266	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	(15.2)	-	-	-	2/8				
266	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	(15.2)	-	-	-	2/8				
267	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハケ	板ナデ	7.5YR7/4に ぶい橙色	7.5YR7/3に ぶい橙色	粗・多	-	-	-	(24.2)	-	-	-	1/8				
268	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	鉢	ハケ	指オサエ →板ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	(39.2)	-	-	-	1/8 未満				
269	2区西	SD24	弥生土器	鉢	板ナデ→ハ ラミガキ	(摩滅) 指オサエ	10YR4/1 褐灰色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	(16.3)	-	-	-	2/8				
270	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	鉢	ハケ・板ナデ →板ナデ	ハケ→ハ ラミガキ	5Y3/1オ リーブ黒色	N3/暗灰色	粗・多	中・少	-	-	(48.0)	-	-	-	2/8				
271	2区西	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ	板ナデ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	粗・並	-	-	(48.2)	-	-	-	1/8 未満				
272	2区西	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ→ ハラミガキ →板ナデ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	(46.6)	-	-	-	1/8 未満				
273	2区西	SD24	弥生土器	鉢	板ナデ	指オサエ →板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	粗・少	-	-	(26.8)	-	-	-	1/8 未満				
274	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハケ→ハ ラミガキ	(摩滅) 指オサエ	7.5YR7/6 褐色	7.5YR7/6 褐色	粗・多	粗・少	-	-	(19.8)	-	-	-	1/8				
275	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	5Y5/1 灰	5Y4/1 灰	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満				
276	2区西	SD24	弥生土器	鉢	ハラミガキ	指オサエ →板ナデ	7.5YR7/6 褐色	7.5YR7/6 褐色	粗・多	粗・少	-	-	(7.2)	-	-	-	2/8				

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚		
277	2区西	SD24	弥生土器	鉢	指オサエ	指オサエ	25Y8/2 灰白色	25Y8/3 淡黄色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	(5.3)	-	-	-	2/8	
278	2区西	SD24	弥生土器	高坏	ハケ 指オサエ → 板ナデ	ハケ → 板ナデ	25Y8/2 灰白色	25Y8/3 淡黄色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	(10.0)	-	-	-	3/8	
279	3区南	SD24	弥生土器	器種不明	指オサエ	ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	6/8	
280	2区西	SD24	弥生土器	蓋	ハラミガキ	ハラミガキ	25Y2/1黒	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	(19.7)	-	-	-	5/8		
281	2区西・ 3区南	SD24	弥生土器	蓋	ハケ	ハケ	25YR6/6 橙色	10YR7/3に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	6/8	
282	2区西	SD24	弥生土器	蓋	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	25Y8/1 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(6.6)	2/8	
283	2区西	SD24	弥生土器	蓋	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	5/8	
284	2区西	SD24	弥生土器	蓋	指オサエ → 板ナデ	指オサエ → 板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	6/8	
285	3区南	SD24	弥生土器	蓋	指オサエ	ナデ	25Y8/2 灰白色	25Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	6/8	
286	2区西	SD24	弥生土器	蓋	指オサエ	指オサエ	25Y8/2 灰白色	25Y8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	-	(10.7)	4.0	-	-	-	4/8	
287	2区西	SD24	土製品	紡錘車	ハラミガキ	ハラミガキ	25Y7/2 灰黄色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	5.4	5.4	1.0	8/8	
288	2区西	SD24	土製品	紡錘車	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/1 褐灰色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	5.4	5.2	1.3	8/8	
289	2区西	SD24	土製品	紡錘車	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	5.2	(3.0)	1.4	4/8	
290	2区西	SD24	土製品	紡錘車	-	-	7.5YR6/6 橙色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	3.9	3.7	1.6	7/8	
438	3区南	SD25	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・並	-	-	-	-	(16.6)	-	-	-	-	2/8	
439	3区南	SD25	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	25Y8/1 灰白色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
440	3区南	SD25	弥生土器	壺	(摩滅)	ハラミガキ	25Y7/1 灰白色	25Y4/1 黄灰色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
441	3区南	SD25	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ	25Y8/2 灰白色	25Y8/1 灰白色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	(4.0)	-	-	6/8	
442	3区南	SD25	弥生土器	壺	(摩滅)	(摩滅)	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/3に ぶい黄褐色	中・並	-	細・少	-	-	-	-	-	6.7	-	-	6/8	香東川 下流域産
443	3区南	SD25	弥生土器	蓋	ナデ	(摩滅)	5YR6/6 橙色	5YR6/6 橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	7/8	
444	3区南	SD25	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 橙色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	(16.2)	-	-	-	-	1/8未満	
445	3区南	SD25	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	細・少	-	-	-	-	(27.2)	-	-	-	-	1/8	
446	3区南	SD25	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	N3/暗灰色	10YR6/3に ぶい黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	(22.0)	-	-	-	-	1/8未満	
447	3区南	SD25	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR6/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	(21.8)	-	-	-	-	1/8未満	
448	3区南	SD25	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ → 板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	25Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	8.8	-	-	5/8	

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)						残存率	備考	
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚	その他				
448	3区南	SD25	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ →板ナデ	10YR7/3に ぶい黄橙色	25Y7/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	8.8	-	-	-	5/8		
449	3区南	SD25	弥生土器	鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR6/2 灰褐色	10YR5/1 褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(28.7)	-	-	-	1/8未満		
450	3区南	SD25・ SD26	土製品	紡錘車	ナデ	ナデ	2.5Y7/3 浅黄色	10YR7/3 浅黄色	粗・多	中・並	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	1.3	54.8	8/8	
451	3区南	SD25	土製品	紡錘車	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 橙色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・多	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	3.5	0.5	-	8/8	壺, または 甕の転用
455	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ →板ナデ	2.5Y7/3 浅黄色	10YR7/2に ぶい黄橙色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(21.2)	-	-	-	1/8		
456	3区南	SD26	弥生土器	壺	(摩滅)	(摩滅)	10YR8/3 浅黄褐色	10YR8/2 灰白色	粗・多	粗・並	-	-	-	-	-	-	-	(20.6)	-	-	-	1/8未満		
457	3区南	SD26	弥生土器	壺	(摩滅)	(摩滅)	10YR8/1 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	(19.2)	-	-	-	2/8		
458	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	細・並	-	-	-	-	-	-	-	(18.8)	-	-	-	5/8		
459	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR6/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(14.6)	-	-	-	2/8		
459	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR6/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(14.6)	-	-	-	2/8		
459	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR6/3に ぶい黄褐色	10YR6/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(14.6)	-	-	-	2/8		
460	3区南	SD26	弥生土器	壺	(摩滅)	(摩滅)	7.5YR7/6 褐色	10YR8/2 灰白色	細・少	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8		
461	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハケ→ ハラミガキ	指オサエ →板ナデ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	(28.7)	-	-	-	1/8未満		
462	3区南	SD26	弥生土器	壺	板ナデ	指オサエ →板ナデ	2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8		
463	3区南	SD26	弥生土器	壺	ナデ	板ナデ	10YR7/6 明黄褐色	10YR8/4 浅黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
464	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	(摩滅)	7.5YR6/8 褐色	10YR8/6 黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8		
465	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8		
465	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8		
465	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	10YR7/3に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8		
466	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
467	3区南	SD26	弥生土器	壺	(摩滅)	(摩滅)	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y5/1 黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
468	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 褐色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
469	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハケ→ ハラミガキ	指オサエ	2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8		
470	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	2.5Y4/1 黄褐色	2.5Y8/1 灰白色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8		
471	3区南	SD26	弥生土器	壺	ハラミガキ	板ナデ→ ハラミガキ	10YR7/4に ぶい黄褐色	10YR7/3に ぶい黄褐色	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	-	-	7.7	-	-	-	4/8		

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							残存率	備考		
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高			底径	長さ
472	3区南	SD26	弥生土器	鉢	指オサエ→ ハラミマガキ	ハラケズリ	25Y8/3 淡黄色	25Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	-	(31.4)	-	-	-	1/8	
473	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハケ (摩滅)	ハラミマガキ	25Y4/1 黄灰色	25Y4/1 黄灰色	粗・多	-	-	-	-	(20.0)	-	-	-	1/8	
474	3区南	SD26	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	10Y3/1オ リーゾ黒色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
475	3区南	SD26	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	10YR5/2 灰黄褐色	10YR7/2に ぶい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(15.2)	-	-	-	3/8	
476	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	ハラミマガキ	25Y7/3 浅黄色	25Y7/3 浅黄色	粗・多	-	-	-	-	15.5	-	-	-	1/8	
477	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	ハラミマガキ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
478	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	指オサエ→ ハラミマガキ	25Y8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(17.6)	-	-	-	2/8	
478	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	指オサエ→ ハラミマガキ	25Y8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(17.6)	-	-	-	2/8	
478	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	指オサエ→ ハラミマガキ	25Y8/2 灰白色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(17.6)	-	-	-	2/8	
479	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	指オサエ→ ハラミマガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(20.8)	-	-	-	3/8	
479	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	指オサエ→ ハラミマガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(20.8)	-	-	-	3/8	
479	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	指オサエ→ ハラミマガキ	10YR6/2 灰黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(20.8)	-	-	-	3/8	
480	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	ハラミマガキ	25Y6/2 灰黄色	25Y7/3 浅黄色	粗・多	-	-	-	-	(21.6)	-	-	-	2/8	
480	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	ハラミマガキ	25Y6/2 灰黄色	25Y7/3 浅黄色	粗・多	-	-	-	-	(21.6)	-	-	-	2/8	
481	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	ハラミマガキ	7.5YR7/4に ぶい橙色	25Y8/2 灰白色	粗・多	細・少	-	-	-	(20.8)	-	-	-	1/8 未満	
482	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	(摩滅)	10YR4/2 灰黄褐色	10YR5/2 灰黄褐色	粗・多	-	-	-	-	(22.0)	-	-	-	1/8	
483	3区南	SD26	弥生土器	甕	ハラミマガキ	板ナデ	10YR6/3に ぶい黄褐色	7.5YR6/4に ぶい橙色	粗・多	-	-	-	-	(19.0)	-	-	-	1/8 未満	
484	3区南	SD26	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	10YR3/2 黒褐色	10YR5/2 灰黄褐色	粗・多	中・少	-	-	-	(18.3)	-	-	-	1/8	
485	3区南	SD26	弥生土器	甕	ナデ	ナデ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
486	3区南	SD26	弥生土器	直口壺	ハラミマガキ	ハケ	10YR8/2 灰白色	7.5YR7/6 橙色	細・並	細・少	-	-	-	-	-	-	-	5/8	
487	3区南	SD26	弥生土器	甕	横ナデ	ハラケズ リ、横ナデ	7.5YR8/4 浅黄褐色	5YR6/6 橙色	粗・並	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
488	3区南	SD26	弥生土器	直口壺	(摩滅)	ハケ	10YR7/3に ぶい黄褐色	7.5YR7/4に ぶい橙色	中・少	細・少	細・並	細・少	-	-	-	-	-	1/8 未満	
489	3区南	SD26	弥生土器	高坏	横ナデ	横ナデ	10YR7/4に ぶい黄褐色	10YR7/4に ぶい黄褐色	細・少	細・少	細・並	細・多	-	-	-	-	-	1/8 未満	香東川 下流域産
507	0区	SR31	縄文土器	深鉢	ハラミマガキ	ハラミマガキ	10YR5/2 灰黄褐色	10YR3/1 黒褐色	粗・多	-	-	-	-	(18.5)	-	-	-	1/8 未満	
508	0区	SR31	縄文土器	浅鉢	ハラミマガキ	ハラミマガキ	5Y2/1 黒色	5Y2/1 黒色	中・並	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)					残存率	備考				
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚	その他						
509	0区	SR31	縄文土器	深鉢	ハラミガキ?	ハラミガキ	25Y6/3に おい黄色	25Y7/3 浅黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
510	0区	SR31	縄文土器	深鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	25Y7/2 灰黄色	N2/黒色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
512	0区	SR31	不明	不明	(摩滅)	(摩滅)	25Y7/3 浅黄色	25Y6/2 灰黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
513	0区	SR31	縄文土器	深鉢	ハケ	ハケ	10YR7/2に おい黄褐色	10YR6/3に おい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
515	1区南	SR01	縄文土器	深鉢	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR5/6 黄褐色	10YR6/3に おい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
516	1区南	SR02	弥生土器	高坏	ハラケズ り、横ナデ	横ナデ	10YR5/3に おい黄褐色	10YR4/3に おい黄褐色	中・少	細・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
517	3区南	SR04	弥生土器	甕	ハケ→横ナデ	ハケ→横ナデ	10YR7/3に おい黄褐色	10YR7/2に おい黄褐色	中・並	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
518	3区南	SR04	弥生土器	甕	横ナデ	横ナデ	10YR5/2 灰黄褐色	25Y4/1 黄灰色	粗・並	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
519	3区南	SR04	弥生土器	甕	回転ナデ	回転ナデ	10YR7/2に おい黄褐色	10YR8/2 灰白色	中・並	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
520	2区西	SR04	弥生土器	高坏	回転ナデ	ハラケズ り、板ナデ →回転ナデ	25Y7/3 浅黄色	25Y7/3 浅黄色	中・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/8	
521	3区南	SR04	弥生土器	高坏	ハケ	ハラケズ り、ハケ	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	中・並	粗・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
522	3区南	SR04	弥生土器	高坏	ハケ	ハケ→ハ ラミガキ	10YR7/3に おい黄褐色	75YR7/4に おい橙色	粗・多	粗・並	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
523	2区西	SR04	須恵器	杯	回転ナデ→回 転ハラケズリ	回転ナデ	N5/灰色	N5/灰色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
523	2区西	SR04	須恵器	杯	回転ナデ→回 転ハラケズリ	回転ナデ	N5/灰色	N5/灰色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8	
524	3区南	SR04	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	25Y7/2 灰黄色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
525	3区南	SR04	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	75YR6/2 灰褐色	75YR6/2 灰褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
526	3区南	SR04	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR5/1 褐灰色	10YR5/1 褐灰色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
527	3区南	SR04	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	5YR6/6 褐色	5YR7/6 褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
528	3区南	SR04	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	10YR7/2に おい黄褐色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
529	2区西	SR04	弥生土器	壺	ハラミガキ	ハラミガキ	25Y8/2 灰白色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
530	3区南	SR04	弥生土器	鉢	指オサエ →板ナデ	ハケ→横ナデ	25Y8/2 灰白色	25Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
531	3区南	SR04	弥生土器	鉢	ナデ?	ハラミガキ	75YR7/4に おい褐色	10YR7/2に おい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
532	3区南	SR04	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ →板ナデ	10YR6/3に おい黄褐色	10YR6/3に おい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
533	3区南	SR04	弥生土器	甕	ハラミガキ	指オサエ→ ハラミガキ	25Y7/3 浅黄色	25Y7/3 浅黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/8	
534	2区西	SR04	弥生土器	甕	ハラミガキ	板ナデ	10YR7/3に おい黄褐色	10YR7/3に おい黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	



番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土							法量 (cm)				残存率	備考				
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径	器高	底径	長さ	幅	厚			その他			
535	3区南	SR04	弥生土器	甕	ハケ	指オサエ→ ハケ→ハ ラミガキ	10YR5/1 褐灰色	25Y6/2 灰黄色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(17.2)	-	-	-	-	2/8		
536	3区南	SR04	弥生土器	甕	板ナデ	指オサエ →板ナデ	7.5YR6/4に ぶい橙色	10YR5/2 灰黄褐色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満	
540	3区南	SR03	土瓶山窯 系須恵器	椀	回転ナデ	回転ナデ	2.5Y4/1 黄灰色	10YR8/2 灰白色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(14.6)	-	-	-	-	2/8		
541	3区南	SR03	瓦器	椀	指オサエ	指オサエ	N4/灰色	N4/灰色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(4.7)	-	-	-	-	1/8		
542	3区南	SR03	瓦器	椀	ナデ	指オサエ	7.5Y6/1灰色	7.5Y6/1灰色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(4.8)	-	-	-	-	2/8		
543	2区西	SR03	不明	坏	回転ナデ	回転ナデ	浅黄褐色	2.5Y6/2 灰黄色	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8		
545	1区南	SX01	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	10R6/6赤 褐色	2.5YR7/4 淡赤褐色	粗・多	中・少	-	-	-	-	-	-	(26.5)	-	-	-	-	-	1/8		
547	2区西	SX02	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/6 褐色	10YR8/4 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(30.2)	-	-	-	-	-	1/8未満		
547	2区西	SX02	弥生土器	甕	ハラミガキ	ハラミガキ	7.5YR7/6 褐色	10YR8/4 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(30.2)	-	-	-	-	-	1/8未満		
548	3区南	SX02	弥生土器	甕	ハケ	ハラミガキ	10YR8/3 浅黄褐色	10YR8/3 浅黄褐色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(22.4)	-	-	-	-	-	1/8未満		
549	2区西	SX02	弥生土器	甕	(摩滅)	ハラミガキ	2.5Y8/1 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	(24.6)	-	-	-	-	-	1/8未満		
550	1区南	SD01	御厩系陶器	焙烙	回転ナデ	回転ナデ	10YR4/1 褐灰色	10YR6/3に ぶい黄褐色	細・並	細・並	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
551	1区北	SD03	御厩系陶器	焙烙	回転ナデ	回転ナデ	10YR4/2 灰黄褐色	2.5Y7/2 灰黄色	細・並	細・並	-	-	-	-	-	-	(38.0)	-	-	-	-	-	1/8未満		
552	2区西	SD22	須恵器	杯	回転ナデ	回転ナデ	10YR7/2に ぶい黄褐色	10YR7/1 灰白色	-	-	-	-	-	-	-	-	(10.4)	-	-	-	-	-	2/8		
553	2区西	SD20	御厩系陶器	焙烙	指オサエ →ハケ	板ナデ	5Y6/1灰色	N4/灰色	細・少	細・並	-	-	-	-	-	-	(42.2)	-	-	-	-	-	2/8		
554	0区	SX31	縄文土器	深鉢	(摩滅)	ハラミガキ	10YR8/2 灰白色	2.5Y8/3 淡黄色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
555	1区北	遺構外	須恵器	はそう	回転ナデ	回転ナデ	N6/灰色	N7/灰白色	-	-	-	-	-	-	-	-	(12.0)	-	-	-	-	-	1/8		
556	1区北	SD06	土師器	壺	ハケ→ハ ラミガキ	ハケ	2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y4/1 黄灰色	細・少	細・少	-	-	-	-	-	-	3.3	-	-	-	-	-	7/8		
557	1区南	遺構外	弥生土器	甕	(摩滅)	(摩滅)	2.5Y8/1 灰白色	10YR8/2 灰白色	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
559	2区西	SD24	弥生土器	壺	ナデ	ナデ	10YR7/4に ぶい黄橙	7.5YR8/4 浅黄橙	粗・多	粗・少	-	-	-	-	-	-	(14.4)	-	-	-	-	-	1/8		
560	2区西	SD24	弥生土器	壺	ハケ	指オサエ	10YR3/1 黒褐	10YR5/2 灰黄褐	中・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
561	2区西	SD24	弥生土器	甕	ナデ	ナデ	7.5YR7/3 にぶい橙	10YR8/2 灰白	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
562	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ナデ	7.5YR7/3 にぶい橙	10YR8/2 灰白	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
563	2区西	SD24	弥生土器	甕	ハケ	ハケ	2.5Y8/1灰白	10YR8/3 浅黄橙	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/8未満		
564	2区西	SD24	弥生土器	甕	ナデ	指オサエ	10YR8/2 灰白	10YR8/2 灰白	粗・多	細・少	-	-	-	-	-	-	(10.6)	-	-	-	-	-	1/8未満		

第20表 北野遺跡出土土製品観察表

番号	地区名	遺構名	種類	備考
565	2区西	SD24	粘土塊	分析試料
566	2区西	SD24	粘土塊	分析試料
567	2区西	SD24	粘土塊	分析試料
607	3区南	SD25	粘土塊	写真のみ
608	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
609	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
610	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
611	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
612	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
613	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
614	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
615	1区南	SD07	粘土塊	写真のみ
616	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
617	1区南	SD07	粘土塊	写真のみ
618	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
619	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
620	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ
621	2区西	SD24	粘土塊	写真のみ

第21表 北野遺跡出土石器観察表

番号	地区名	遺構名	石材	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	備考
21	1区北	SD05	サスカイト	石廬丁	5.2	11.4	1.1	7388	
22	1区南	SD07	砂岩	叩石	9.1	7.5	4.1	393.9	
41	1区南	SD09	サスカイト	石核	17.6	6.8	2.3	261.7	
42	1区南	SD09	サスカイト	石鏃	1.8	1.5	0.3	0.7	
43	1区南	SD09	サスカイト	スクレイパー	4.3	3.4	1.2	18.6	
291	3区南	SD24	サスカイト	石廬丁	7.45	4.5	1	40.18	
292	2区西	SD24	サスカイト	石廬丁	6.5	5.6	0.9	37.54	
293	3区南	SD24	サスカイト	石廬丁	8	4.3	0.7	24.29	
294	3区南	SD24	サスカイト	石廬丁	5.4	4.5	8	1.24	
295	2区西	SD24	サスカイト	石廬丁	4	4	0.75	11.13	
296	2区西	SD24	安山岩	石廬丁	3.7	3.9	0.7	10.06	
297	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	8.2	3.3	0.8	30.02	
298	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	7.8	3.6	0.7	15.58	
299	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	7.4	3.2	1	21.33	
300	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	8.4	2.3	0.9	10.99	
301	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.5	4.5	1.2	22.26	
302	3区南	SD24	サスカイト	スクレイパー	5.8	3.9	1.05	25.03	

番号	地区名	遺構名	石材	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	備考
303	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.7	5.1	0.9	2481	
304	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	6.7	5.8	1.3	4873	
305	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	6.1	3.5	1	1649	
306	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	6.3	3.9	0.9	2399	
307	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.9	4	0.6	1193	
308	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	2.1	1.65	0.4	1.36	
309	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	2.3	2.5	0.5	283	
310	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	2.9	1.6	0.4	2.16	
311	3区南	SD24	サスカイト	スクレイパー	2.5	3.3	0.8	4.9	
312	2区西・3区南	SD24	サスカイト	スクレイパー	3.3	3.2	0.4	5.45	
313	2区西・3区南	SD24	サスカイト	スクレイパー	3.7	1.9	0.3	3.05	
314	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	3.8	3	0.8	7.08	
315	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	3.8	2.9	0.5	5.69	
316	3区南	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.1	2.6	0.4	5.1	
317	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.1	3.4	0.7	8.51	
318	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.2	3.7	0.9	11.18	
319	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.35	2.8	0.5	5.94	
320	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.3	4.25	0.7	15.72	
321	2区西・3区南	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.7	3.4	0.5	7.12	
322	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	3.3	4.6	0.8	11.89	
323	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	4.2	1.5	0.6	3.26	
324	2区西	SD24	サスカイト	スクレイパー	3.8	2.2	0.4	4.7	
325	2区西	SD24	結晶片岩	スクレイパー	8.7	5.3	0.5	38.59	
326	2区西	SD24	サスカイト	加工痕のある剥片	5.9	3.6	0.9	17.35	
327	2区西	SD24	サスカイト	加工痕のある剥片	4.2	2.9	1	11.35	
328	2区西	SD24	サスカイト	加工痕のある剥片	2.5	1.6	0.3	1.13	
329	2区西	SD24	サスカイト	加工痕のある剥片	2.15	2.7	0.5	3.09	
330	3区南	SD24	サスカイト	加工痕のある剥片	2.5	2.8	0.55	5.21	
331	2区西	SD24	サスカイト	加工痕のある剥片	2.9	1.9	0.4	2.68	
332	2区西	SD24	サスカイト	使用痕のある剥片	6.6	4.6	0.6	20.28	
333	2区西	SD24	サスカイト	使用痕のある剥片	4.4	3.6	0.6	7.83	
334	2区西・3区南	SD24	サスカイト	使用痕のある剥片	4.8	3.4	0.6	10.57	
335	2区西	SD24	サスカイト	石礫	1.4	1.3	0.4	0.55	
336	2区西	SD24	サスカイト	石礫	1.85	1.25	0.2	0.42	
337	2区西	SD24	サスカイト	石礫	1.6	1.1	0.35	0.47	
338	2区西	SD24	サスカイト	石礫	1.5	1.1	0.25	0.27	
339	2区西	SD24	サスカイト	石礫	2.1	1.2	0.3	0.44	
340	2区西	SD24	サスカイト	石礫	2.15	1.5	0.3	0.79	

番号	地区名	遺構名	石材	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	備考
341	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2	1.4	0.2	0.36	
342	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	1.3	1.6	0.3	0.52	
343	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	1.4	1.8	0.3	0.62	
344	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.2	1.2	0.3	0.66	
345	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.1	1.35	0.3	0.84	
346	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	1.8	1.6	0.35	0.74	
347	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.1	1.6	0.3	0.87	
348	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.2	1.5	0.35	0.7	
349	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.35	1.3	0.5	1.31	
350	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.05	1.5	0.25	0.75	
351	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.4	1.7	0.3	0.77	
352	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.05	1.6	0.3	0.81	
353	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.1	1.3	0.25	0.63	
354	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.2	1.5	0.3	0.94	
355	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.3	1.45	0.35	1.3	
356	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.1	1.65	0.25	0.7	
357	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.5	1.6	0.3	1.03	
358	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.4	1.7	0.4	1.41	
359	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3	1.8	0.4	1.09	
360	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.1	1.9	0.4	1.68	
361	3区南	SD24	サスカイト	石鉢	2.15	1.75	0.4	1.74	
362	3区南	SD24	サスカイト	石鉢	2.4	1.95	0.4	1.01	
363	3区南	SD24	サスカイト	石鉢	3	1.8	0.4	1.26	
364	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.25	1.9	0.4	2.04	
365	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.2	2	0.55	2.67	
366	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.9	2.1	0.4	1.83	
367	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.15	2.25	0.4	1.7	
368	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.7	1.8	0.45	1.89	
369	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.2	1.9	0.2	0.81	
370	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.2	1.8	0.4	1.14	
371	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.2	1.15	0.4	1.15	
372	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.2	1.5	0.5	1.33	
373	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.3	1.65	0.3	1.25	
374	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.4	2.1	0.5	1.87	
375	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	2.7	0.95	0.4	1.24	
376	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.1	1.7	0.6	2.88	
377	3区南	SD24	サスカイト	石鉢	2.9	1.3	0.65	2.94	
378	2区西	SD24	サスカイト	石鉢	3.1	1.1	0.5	1.36	
379	2区西	SD24	結晶片岩	扁平片刃石斧	5.7	2.4	1.25	34.21	
380	2区西	SD24	蛇紋岩?	扁平片刃石斧	7.5	3.4	1.1	42.76	
381	2区西	SD24	結晶片岩	石棒	5.3	3.4	3.3	99.35	
382	2区西	SD24	凝灰岩	砥石	2.9	1.9	0.85	4.83	
383	2区西・3区南	SD24	安山岩	叩石	8.7	7.1	2.3	195.99	
384	3区南	SD24	砂岩	叩石	8.8	11.3	4	403.73	

番号	地区名	遺構名	石材	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	備考
385	2区西	SD24	砂岩	叩石	-	-	-	498.62	
386	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	3	3.2	0.8	4.01	
387	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	3.5	1.9	0.5	2.21	
388	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	4.8	2	0.5	6.48	
389	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	3.7	3.3	0.7	5.94	
390	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	4	3.5	0.45	6.79	
391	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	4.4	3.6	0.5	7.34	
392	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	4.1	3.4	0.8	14.98	
393	2区西・3区南	SD24	サヌカイト	剥片	4.6	2	0.7	5.83	
394	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	5	2.8	0.5	6.88	
395	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	5.8	2.6	0.6	8.73	
396	2区西	SD24	サヌカイト	剥片	5	4.8	1.1	30.7	
397	2区西・3区南	SD24	サヌカイト	剥片	5.1	3.1	0.6	8.18	
398	3区南	SD24	サヌカイト	剥片	5.6	3.6	1.1	25.72	
399	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.3	1.8	0.7	6.56	
400	2区西	SD24	サヌカイト	石核	5.9	2.2	1.5	17.77	
401	2区西・3区南	SD24	サヌカイト	石核	2.4	2.8	0.6	3.14	
402	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.9	2.3	1.7	19.73	
403	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.9	2.9	0.8	12.47	
404	3区南	SD24	サヌカイト	石核	3.9	2.6	1.4	20.83	
405	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.9	2.8	1.15	10.47	
406	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.1	3.1	1.05	7.74	
407	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.3	3	1.25	11.54	
408	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.4	3	1	10.85	
409	3区南	SD24	サヌカイト	石核	5.8	3.1	1.1	24.68	
410	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.6	3.1	1.4	17.74	
411	2区西	SD24	サヌカイト	石核	2.5	3.5	0.6	5.22	
412	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.6	3.2	1.4	12.12	
413	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4	3.6	0.9	13.44	
414	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.5	4	1	14.33	
415	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.1	3.5	1.7	20.97	
416	3区南	SD24	サヌカイト	石核	4.4	4.1	0.9	21.75	
417	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.3	4	1.2	21.11	
418	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.25	4.5	0.9	22.36	
419	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.7	4.45	1	19.98	
420	2区西	SD24	サヌカイト	石核	7.9	3.5	2.1	62.38	
421	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.7	4.7	0.85	15.97	
422	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.1	4.8	0.6	15.05	
423	3区南	SD24	サヌカイト	石核	4.5	4.5	1.25	33.53	
424	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.3	3.2	1.8	32.22	
425	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.7	3.5	1.1	21.76	
426	2区西	SD24	サヌカイト	石核	6.2	4.8	1.3	40.36	
427	2区西	SD24	サヌカイト	石核	3.8	5.1	1.05	25.11	
428	2区西	SD24	サヌカイト	石核	4.4	4.9	1.5	41.2	

番号	地区名	遺構名	石材	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	備考
429	2区西	SD24	サスカイト	石核	5.1	4.8	1.2	3101	
430	2区西・3区南	SD24	サスカイト	石核	5.1	4.9	1.6	3687	
431	2区西	SD24	サスカイト	石核	4.2	5.2	1.2	3031	
432	2区西・3区南	SD24	サスカイト	石核	5.7	5.6	1.3	5098	
433	2区西	SD24	サスカイト	石核	5.4	4.3	1.9	5624	
434	2区西	SD24	サスカイト	石核	3.9	6.3	0.8	2073	
435	2区西	SD24	サスカイト	石核	7.2	3.7	0.9	2474	
436	2区西	SD24	サスカイト	石核	7.1	3.8	2.3	6354	
437	3区南	SD24	安山岩	石核	12.7	5.9	2.1	2142	
452	3区南	SD25	サスカイト	スクレイパー	5.3	3.6	1	1826	
453	3区南	SD25	サスカイト	剥片	3.9	3	0.4	466	
454	3区南	SD25・SD26	安山岩	砥石?	7.3	4.5	0.9	5394	
490	3区南	SD26	安山岩	石剗丁	8.5	5.1	0.8	4491	
491	3区南	SD26	サスカイト	石鏃	2.3	1.8	0.3	1.29	
492	3区南	SD26	サスカイト	石鏃	1.8	1.8	0.4	1.13	
493	3区南	SD26	サスカイト	石鏃	1.95	1.6	0.45	1.18	
494	3区南	SD26	サスカイト	石鏃	2.2	1.9	0.3	1.26	
495	3区南	SD26	サスカイト	スクレイパー	8.7	4.8	0.9	3863	
496	3区南	SD26	サスカイト	スクレイパー	6.1	4.6	1.3	4538	
497	3区南	SD26	サスカイト	スクレイパー	4.2	2.5	0.7	564	
498	3区南	SD26	サスカイト	スクレイパー	5.6	4.3	0.8	2421	
499	3区南	SD26	サスカイト	石核	3.9	4.2	1.6	3044	
500	3区南	SD26	サスカイト	石核	5.9	3.2	1.4	2444	
501	3区南	SD26	サスカイト	石核	4.1	4.3	1.8	4347	
502	3区南	SD26	サスカイト	石核	11.3	6.4	3	21183	
503	3区南	SD26	サスカイト	石核	5.6	6.2	2.6	126.14	
504	3区南	SD26	サスカイト	石核	6.8	3.7	0.9	2859	
505	3区南	SD26	サスカイト	石核	5.2	1.3	1	8.29	
506	3区南	SD26	安山岩	砥石	14.4	5.7	1.9	237.53	
511	0区	SR31	サスカイト	スクレイパー	5.7	7.8	0.7	2999	
514	0区	SR31	サスカイト	スクレイパー	3.5	6	7	1585	
537	3区南	SR04	サスカイト	石鏃	2	1.6	0.35	0.99	
538	3区南	SR04	サスカイト	石鏃	3.3	2.4	0.7	5.76	
539	3区南	SR04	頁岩	石剗丁	9.2	3.6	0.9	4995	
544	2区西	SR03	サスカイト	石鏃	2.9	1.4	0.3	0.71	
546	1区南	SX01	サスカイト	石鏃	3	1.5	0.4	1.78	
558	1区南	遺構外	サスカイト	スクレイパー	4.1	8.45	0.6	2225	
568	2区西	SD24	サスカイト	剥片	3.2	2.2	0.5	3.36	
569	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.4	1.9	0.25	1.65	
570	2区西	SD24	サスカイト	剥片	4.05	4	0.6	9.56	
571	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.5	2.4	0.5	2.68	
572	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.2	2.8	0.5	3.24	
573	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2	2.5	0.3	1.31	
574	3区南	SD24	サスカイト	石核	3.2	2	0.8	4.25	

番号	地区名	遺構名	石材	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	備考
575	2区西	SD24	サスカイト	剥片	3	2.25	0.2	2.11	
576	2区西・3区南	SD24	サスカイト	剥片	3.7	4.2	1.4	15.29	
577	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.15	2.4	0.35	1.37	
578	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.3	2.6	0.2	1.65	
579	2区西	SD24	サスカイト	石核	4	2.5	0.7	6.55	
580	2区西	SD24	サスカイト	剥片	3.5	3.4	1	9.82	
581	2区西	SD24	サスカイト	剥片	3.4	4.5	1	10.64	
582	3区南	SD24	サスカイト	剥片	2.25	2.9	0.3	1.97	
583	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.2	2.5	0.2	1.65	
584	2区西	SD24	サスカイト	剥片	4.2	4.2	0.8	12.18	
585	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.7	2.3	0.4	2.29	
586	2区西	SD24	サスカイト	石核	2.3	2	0.5	2.94	
587	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.25	3.35	0.5	3.47	
588	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.7	4	0.6	4.29	
589	2区西	SD24	サスカイト	剥片	3.2	2.1	0.3	1.81	
590	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.3	3.2	0.45	2.69	
591	2区西	SD24	サスカイト	剥片	1.8	3.1	0.5	2.23	
592	2区西	SD24	サスカイト	剥片	3.6	2.75	0.3	2.74	
593	2区西	SD24	サスカイト	剥片	4.6	2.2	0.8	7.67	
594	2区西	SD24	サスカイト	剥片	1.75	3.2	0.7	4.4	
595	2区西	SD24	サスカイト	剥片	2.3	2.6	0.6	3.06	
596	2区西	SD24	サスカイト	石核	3.4	2.4	1.2	9.89	
597	2区西	SD24	サスカイト	剥片	3.2	1.6	0.5	2.47	
598	2区西	SD24	サスカイト	石核	1.7	1.6	0.4	0.73	写真のみ
599	2区西	SD24	サスカイト	石核	1.8	1.4	0.3	0.61	写真のみ
600	2区西	SD24	サスカイト	石核	1.5	1.5	0.5	0.78	写真のみ
601	2区西	SD24	サスカイト	石核	1.9	1.3	0.4	0.78	写真のみ
602	2区西	SD24	サスカイト	石核	1.6	1.3	0.2	0.41	写真のみ
603	2区西	SD24	サスカイト	石核	2.7	1.6	0.5	1.32	写真のみ
604	2区西	SD24	サスカイト	石核	1.6	1.2	0.2	0.88	写真のみ
605	2区西	SD24	サスカイト	石核	2.9	1.2	0.3	1.24	写真のみ
606	2区西	SD24	サスカイト	石核	2.1	1.5	0.4	1.42	写真のみ

第22表 鎌野西遺跡出土土器観察表

番号	地区名	遺構名	種類	器種	調整		色調		胎土						残存率	備考		
					外面	内面	外部	内部	石英・長石	赤色粒	角閃石	雲母	砂粒	口径			器高	底径
1	A区	SD01 ⑦	縄文土器	深鉢	-	-	2.5Y4/1 黄灰	2.5Y6/4 にぶい黄	中・多	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
2	A区	SD01 ④	弥生土器	壺	-	-	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/2 にぶい黄橙	粗・多	-	-	-	-	-	4.8	-	6/8	
4	A区	SD03 ①	弥生土器	高坏	-	-	10YR7/4 にぶい黄橙	10YR8/4 浅黄橙	中・少	中・並	細・少	中・並	-	-	(10.2)	-	6/8	
5	A区	SD03 ②	弥生土器	鉢	-	-	5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	中・並	-	細・少	細・多	-	-	-	-	1/8	
6	A区	SD03 ②	弥生土器	台付鉢	横ナデ	横ナデ	N2/ 黒	N2/ 黒	粗・並	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
16	C-2区	SD201	弥生土器	壺	横ナデ	横ナデ	10YR7/3 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	中・並	-	-	細・少	-	(14.1)	-	-	2/8	
17	C-2区	SD201	弥生土器	壺	ハケ→横ナデ	ハケ→横ナデ	2.5Y8/3 淡黄	2.5Y8/3 淡黄	細・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
18	C-2区	SD201	弥生土器	壺?	タタキ	ハケ	2.5Y8/2 灰白	7.5YR6/3 にぶい褐	細・少	-	-	-	-	3.7	-	5/8		
19	C-2区	SD201	弥生土器	甕	ハケ→横ナデ	指オサエ→ ハケ・横ナデ	10YR5/2 灰黄褐	2.5Y6/3 にぶい黄	中・少	-	細・並	中・多	-	(14.9)	-	-	2/8	
20	C-2区	SD201	弥生土器	甕	タタキ→ ハケ→横ナデ	指オサエ→ ハラケズ リ・横ナデ	2.5Y2/1 黒	10YR5/1 褐灰	中・並	-	細・少	中・多	-	(15.4)	-	-	3/8	
21	C-2区	SD201	弥生土器	甕	ハケ→横ナデ	指オサエ→ 横ナデ	10YR6/3 にぶい黄橙	10YR5/3 にぶい黄褐	中・少	-	細・少	細・多	-	-	-	-	2/8	香東川 下流域産
22	C-2区	SD201	弥生土器	甕	タタキ→ ハケ→横ナデ	ハラケズリ・ ハケ→横ナデ ハケ→横ナデ	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/3 浅黄	中・並	-	-	細・少	-	12.5	16.9	4.2	4/8	
23	C-2区	SD201	弥生土器	甕	タタキ→ ハケ→横ナデ	板ナデ→ ハケ→横ナデ	2.5Y7/3 浅黄	2.5Y7/3 浅黄	中・並	-	-	細・少	-	(9.6)	10.7	1.8	6/8	
24	C-2区	SD201	弥生土器	甕	ハケ→横ナデ	ハケ→横ナデ	10YR7/2 にぶい黄橙	10YR7/3 にぶい黄橙	中・少	-	-	-	-	(14.6)	-	-	1/8	
25	C-2区	SD201	弥生土器	甕	タタキ→ 横ナデ	横ナデ	2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/1 灰白	中・少	-	-	-	-	-	-	-	1/8	
26	C-2区	SD201	弥生土器	高坏	横ナデ	横ナデ	2.5Y6/2 灰黄	2.5Y6/2 灰黄	細・少	細・少	細・並	細・並	-	(14.8)	-	-	1/8	香東川 下流域産
27	C-2区	SD201	弥生土器	鉢	タタキ→ナデ	ハケ→板ナデ	2.5Y7/2 灰黄	2.5Y7/2 灰黄	中・並	-	-	細・少	-	10.9	5.9	-	8/8	
28	C-2区	SD201	弥生土器	鉢	タタキ→ナデ	ハケ	2.5Y7/3 浅黄	2.5Y8/3 淡黄	細・少	中・少	-	-	-	(9.4)	6.9	3.5	4/8	
29	C-2区	SD201	弥生土器	鉢	タタキ→ナデ	ハケ	2.5Y7/3 浅黄	2.5Y7/3 浅黄	粗・並	-	-	-	-	10.0	6.2	2.8	5/8	
30	C-2区	SD201	弥生土器	壺	指オサエ	ハケ?	7.5YR7/3 にぶい橙	10YR5/1 褐灰	粗・多	-	-	-	-	-	-	10.4	6/8	
33	C-2区	SD203	縄文土器	深鉢	ハケ	ハケ	2.5Y7/3 浅黄	2.5Y7/3 浅黄	粗・多	-	-	-	-	-	-	-	1/8 未満	
34	C-2区	SD203	弥生土器	壺	指オサエ→ ナデ	ナデ	10YR8/3 浅黄橙	10YR8/2 灰白	粗・多	-	-	-	-	-	-	11.0	5/8	



第23表 鎌野西遺跡出土石器観察表

番号	地区名	遺構名	材質	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重量 (g)	備考
3	C-2区	SD001	サスカイト	剥片	3.25	2.45	0.75	6.69	
7	C-2区	SD007	サスカイト	石鏃	3.5	1.45	0.45	2.05	
31	A区	SD201	サスカイト	加工痕のある剥片	-	-	0.4	4.42	
32	A区	SD201	砂岩	砥石	11.15	9.2	3.9	419.38	

第24表 鎌野西遺跡出土木器観察表

番号	地区名	遺構名	種類	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	備考
8	C-2区	SD201			27.8	10.4	0.7	
9	C-2区	SD201			15.4	10.3	0.9	
10	C-2区	SD201			7	4.7	0.7	
12	C-2区	SD201			5.5	8.7	0.9	
13	C-2区	SD201			11.7	5.7	1.7	
14	C-2区	SD201			6.8	4.8	-	
11-1	C-2区	SD201			7.8	10	0.8	
11-2	C-2区	SD201			6.7	10.2	0.8	
15-1	C-2区	SD201			11.7	4.7	1.1	
15-2	C-2区	SD201			9	7	-	
15-3	C-2区	SD201			5.9	6.9	-	
15-4	C-2区	SD201			16.7	8.6	0.9	





写真 5 鎌野西遺跡北野遺跡 遠景（南から）



写真 6 鎌野西遺跡北野遺跡 遠景（北から）



写真 7  
北野遺跡  
調査前状況  
2001年4月  
(南西から)



写真 8  
北野遺跡  
調査前状況  
2001年4月  
(北から)



写真 9  
北野遺跡  
3区東 作業状況  
(南から)



写真 10  
北野遺跡  
3区東 SD41  
(西から)



写真 11  
北野遺跡  
3区東 SD41  
弥生土器出土状況  
(西から)



写真 12  
北野遺跡  
3区南 1面全景  
(南から)



写真 13  
北野遺跡  
3区南 SD19・SR03  
(南東から)



写真 14  
北野遺跡  
2区西 1面完掘状況  
(北東から)



写真 15  
北野遺跡  
2区・3区南 2面全景  
(南から)



写真 16  
北野遺跡  
2区西・3区南 2面全景  
(北から)



写真 17  
北野遺跡  
2区西・3区南 2面全景  
(東から)



写真 18  
北野遺跡  
3区南 SD24  
弥生土器出土状況  
(南西から)



写真 19  
北野遺跡  
3区南 SD24  
遺物出土状況



写真 20  
北野遺跡  
3区南  
SD24、SR03・04 断面  
(南から)



写真 21  
北野遺跡  
3区南  
SD24、SR03・04 断面  
(南から)





写真 22  
北野遺跡  
3区南 SD26  
調査状況  
(北から)



写真 23  
北野遺跡  
3区南 SD26 断面  
(北から)



写真 24  
北野遺跡  
2区西 SX02 断面  
(南から)



写真 25  
北野遺跡  
2区西 SX02 完掘  
(南から)



写真 26  
北野遺跡  
2区西 調査区西壁  
SR03・04 断面  
(東から)



写真 27  
北野遺跡  
2区東 全景  
(北から)



写真 28  
北野遺跡  
2区東 SK12・13 断面  
(北から)



写真 29  
北野遺跡  
1区南 1面全景  
(北西から)



写真 30  
北野遺跡  
1区南 SB 群  
(東から)



写真 31  
北野遺跡  
1区南 SD03・04  
(東から)



写真 32  
北野遺跡  
1区南 2面全景  
(北から)



写真 33  
北野遺跡  
1区北 全景  
(西から)



写真 34  
北野遺跡  
1区南 SD07  
(西から)



写真 35  
北野遺跡  
1区北 SD07  
弥生土器出土状況  
(北から)



写真 36  
北野遺跡  
1区南 SD07 断面  
西から



写真 37  
北野遺跡  
1区北 SD05 断面  
(南から)



写真 38  
北野遺跡  
1区南 SD08 断面  
(南から)



写真 39  
北野遺跡  
1区南 SD11 断面  
(北から)



写真 40  
北野遺跡  
1区北 SK07  
(西から)



写真 41  
北野遺跡  
1区南 SR01 断面  
(西から)



写真 42  
北野遺跡  
1区南 調査区南壁  
(北から)

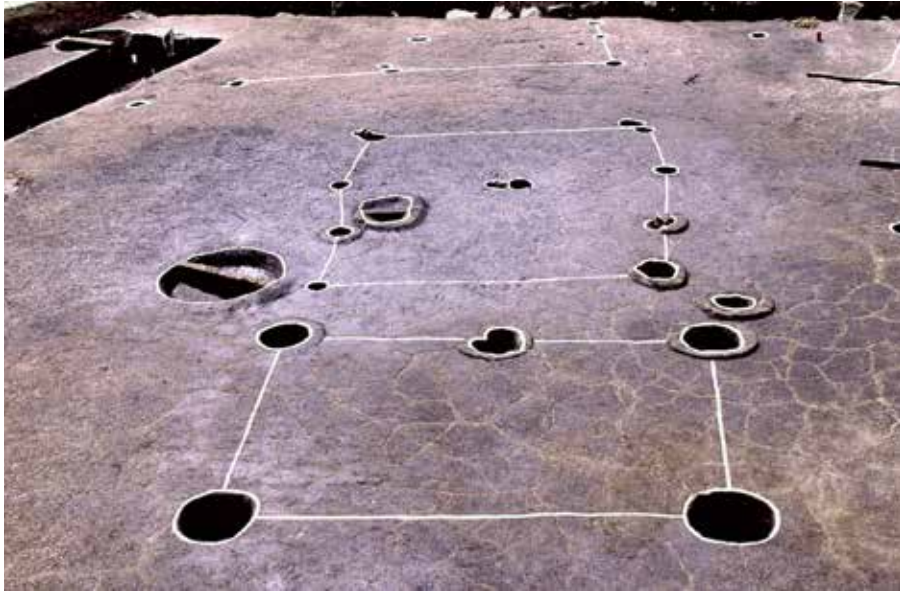


写真 43  
北野遺跡  
0区 SB 群  
(東から)



写真 44  
北野遺跡  
0区 全景  
(東から)



写真 45  
北野遺跡  
0区 全景  
(南から)





写真 46  
北野遺跡  
0区 SK31 断面  
(東から)

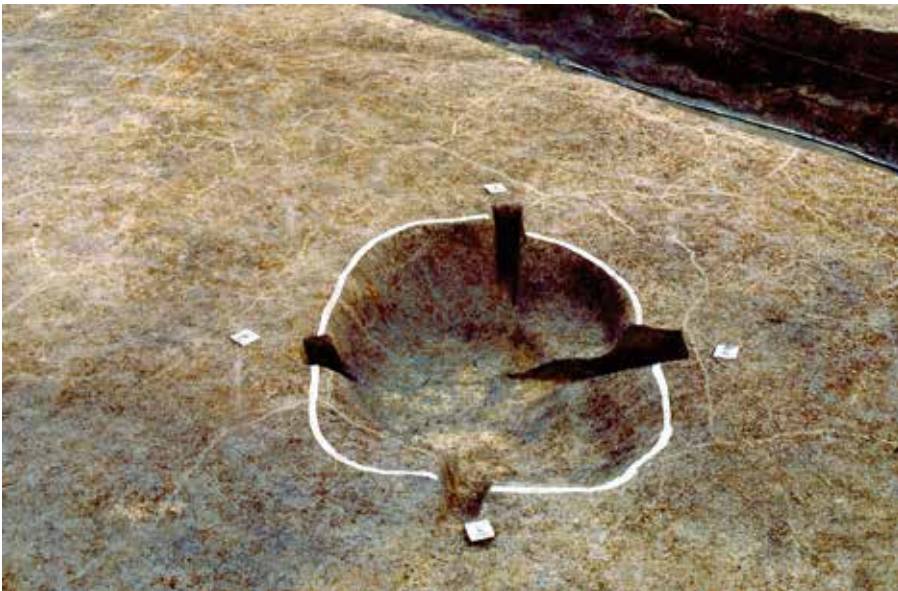


写真 47  
北野遺跡  
0区 SK31  
(南から)



写真 48  
北野遺跡  
0区 畦畔検出状況



写真 49  
北野遺跡  
0区 SN01 畦畔  
(西から)



写真 50  
北野遺跡  
0区 SN01 畦畔  
(北から)



写真 51  
北野遺跡  
0区 SN01 畦畔断面  
(南から)



写真 52  
北野遺跡  
0区 畦畔 断面  
(南から)



写真 53  
北野遺跡  
0区 南東部  
SN01 検出状況  
(東から)



写真 54  
北野遺跡  
0区 南東部 SN01 畦畔  
(南西から)



写真 55  
北野遺跡  
0区 SR01 断面  
(南から)



写真 56  
北野遺跡  
0区 SR01 断面  
(南から)



写真 57  
北野遺跡  
0区 SR01 断面  
調査区北壁  
(南から)



写真 58 北野遺跡出土遺物 1



写真 59 北野遺跡出土遺物 2



写真 60 北野遺跡出土遺物 3



写真 61 北野遺跡出土遺物 4





写真 62 北野遺跡出土遺物 5



写真 63 北野遺跡出土遺物 6



写真 64 北野遺跡出土遺物 7



写真 65 北野遺跡出土遺物 8



553



22



385



605

606



292



21



41

写真 66 北野遺跡出土遺物 9



291



293



294



295



380

379



381



506



437

写真 67 北野遺跡出土遺物 10



写真 68 北野遺跡出土遺物 11

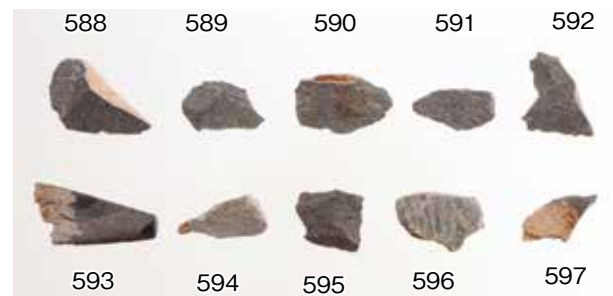
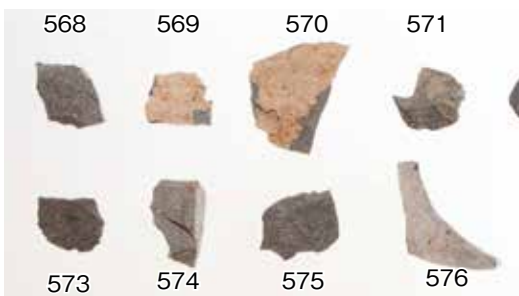
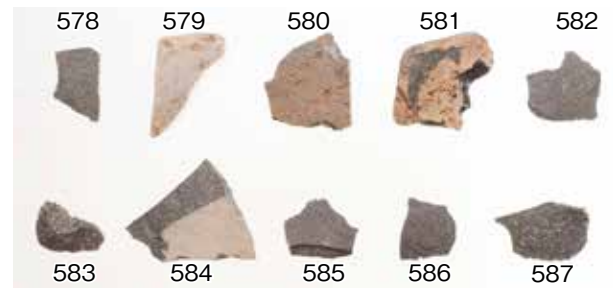
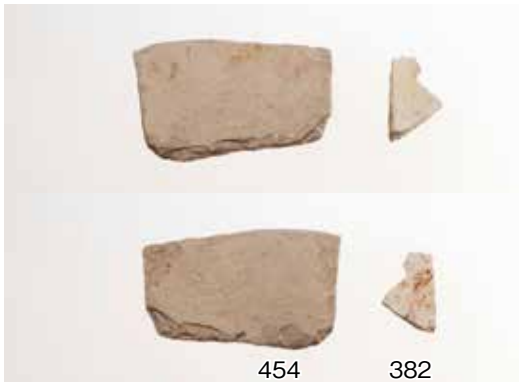
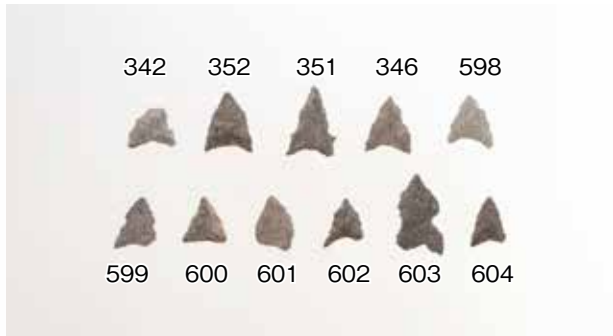


写真 69 北野遺跡出土遺物 12





写真 70  
鎌野西遺跡  
A区 全景 (南から)



写真 71  
鎌野西遺跡  
A区 SK001 断面  
(南から)



写真 72  
鎌野西遺跡  
A区 SD001 断面  
(北東から)



写真 73  
鎌野西遺跡  
A区 SD001 断面  
(北西から)



写真 74  
鎌野西遺跡  
A区 SD001,002 断面  
(北から)



写真 75  
鎌野西遺跡  
A区 SD002 断面  
(北から)



写真 76  
鎌野西遺跡  
A区 SD003 断面  
(東から)



写真 77  
鎌野西遺跡  
A区 SD006 断面  
(東から)



写真 78  
鎌野西遺跡  
A区 SD007 断面  
(東から)



写真 79  
鎌野西遺跡  
A区 東壁断面（西から）



写真 80  
鎌野西遺跡  
B区 全景（南西から）



写真 81  
鎌野西遺跡  
B区 SA101 断面



写真 82  
鎌野西遺跡  
B区 SD104 断面  
(北から)



写真 83  
鎌野西遺跡  
B区 SD105 断面  
(北から)



写真 84  
鎌野西遺跡  
B区 西壁断面 (東から)



写真 85  
鎌野西遺跡  
C区 全景 (北から)



写真 86  
鎌野西遺跡  
C区 SD201 (東から)



写真 87  
鎌野西遺跡  
C区 SD201 断面  
(東から)



写真 88  
鎌野西遺跡  
C区 SD201 断面  
(北東から)



写真 89  
鎌野西遺跡  
C区 SD201  
木器出土状況



写真 90  
鎌野西遺跡  
C区 SD202・203  
(北西から)



写真 91  
鎌野西遺跡  
C区 SD202 断面  
(北から)



写真 92  
鎌野西遺跡  
C区 北壁断面 (南から)



写真 93  
鎌野西遺跡  
C区 SX201 断面  
(北から)





写真 94  
鎌野西遺跡  
C区 西壁断面（東から）



写真 95  
鎌野西遺跡  
C区 東壁断面  
（北西から）



写真 96  
鎌野西遺跡  
D区 東壁断面（南から）



1



18



19



22



27



23



29



20

写真 97 鎌野西遺跡出土遺物 1



写真 98 鎌野西遺跡出土遺物 2

# 報告書抄録

ふりがな	きたのいせき かまのにしいせき							
書名	北野遺跡 鎌野西遺跡							
副書名	県道中徳三谷高松線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告							
巻次	第3冊							
編著者名	乗松真也(編)、辻 康男、辻本裕也、金井慎司、馬場健司、藤根 久、米田恭子、渡辺正巳							
編集機関	香川県埋蔵文化財センター							
所在地	〒762-0024 香川県坂出市府中町字南谷5001-4 Tel 0877-48-2191 Mail maibun@pref.kagawa.lg.jp							
発行機関名	香川県教育委員会							
発行年月日	2020年3月19日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積㎡	調査原因
		市町	遺跡番号					
きたのいせき 北野遺跡	かがわけんたかまつし 香川県高松市 みなにちよう 三谷町	37201		34° 16' 58"	134° 04' 27"	2001年4月1日 ～9月30日 2003年4月1日 ～7月31日	3,712㎡	道路改修
かまのにしいせき 鎌野西遺跡	かがわけんたかまつし 香川県高松市 みなにちよう 三谷町	37201		34° 16' 55"	134° 16' 55"	2001年5月1日 ～11月30日 2002年4月1日 ～1月31日 2003年4月1日 ～7月31日	2,888㎡	道路改修
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
北野遺跡	集落 水田	縄文時代	自然河川	縄文土器				
		弥生時代	水田 自然河川 溝	弥生土器、石器、焼成土塊				
		中世	水田?	須恵器、瓦器				
		近世	掘立柱建物 溝	陶器				
鎌野西遺跡	集落	縄文時代～ 弥生時代	自然河川 溝	縄文土器、 弥生土器、石器、木器				
		近世～	柵	なし				
要約	<p>北野遺跡、鎌野西遺跡は高松平野南部の扇状地上に立地する。</p> <p>北野遺跡では弥生時代前期前半の水田が確認された。水田は縄文時代晩期から継続する自然河川屈曲部の両岸に形成され、畦畔の形状は屈曲に影響を受けている。また、水路とみられる溝の肩部には弥生時代前期前半から後半の土器、石器が多量に廃棄されていた。このなかには土器焼成に伴う可能性のある焼成土塊も含まれる。</p> <p>鎌野西遺跡では弥生時代後期後半の水路と考えられる流路が検出された。水路廃絶後の堆積層からは鋤とみられる木器が出土した。</p>							

県道中徳三谷高松線建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告  
第3冊  
北野遺跡  
鎌野西遺跡

2020年3月19日

編集 香川県埋蔵文化財センター  
〒762-0024 香川県坂出市府中町字南谷 5001-4  
Tel 0877-48-2191 Fax 0877-48-3249  
発行 香川県教育委員会  
印刷 ワールド印刷株式会社